

地域資源を活用した地域主導型エコ環境づくり に関する調査研究

平成 23 年 3 月

高 岡 市

財団法人 地方自治研究機構

ごあいさつ

本市は、雨晴海岸・二上山、西山丘陵や小矢部川などの自然や旧北陸街道など、水と緑が織りなす美しく豊かな自然、長い歴史のなかで培われた薫り高い伝統と文化にあふれています。一方、近年、地球温暖化をはじめ複雑かつ広範囲に様々な問題が起きており、人類の生存基盤である地球環境が損なわれつつあります。

このような本市の恵み豊かな環境を、次の世代に引き継いでいくため、一人ひとりがグローバルな視点にたって、社会経済活動や人々の生活様式を見直し、環境への負荷の少ない持続可能な社会への転換が必要となっています。



高岡市では平成22年3月に「高岡市環境基本計画」を策定し、環境都市の理念として「健やかで美しく豊かな環境共生のまち」を掲げ、持続可能で活力ある「環境共生のまち高岡」の実現に向けた取り組みを行っております。

こうした中で財団法人地方自治研究機構のご協力をいただき、共同調査研究事業として、福岡町地域を対象に「環境モデル地区」の形成に向け、地域住民の皆様のエコ活動に関する意識や活動状況を調査し、「地域資源を活用した地域主導型のエコ環境づくり」のあり方や方向性について研究を深めてまいりました。本報告書には、地域主導のまちづくりの理念を「みんなで手をつなぐエコの町」福岡“ ”として掲げ、住民ワークショップやアンケート調査、ヒアリング調査を通して寄せられた多くのエコ活動の取り組みやアイデアが盛り込まれています。

環境問題は地球規模の問題ではありますが、市民一人ひとりの身近な問題でもあることを踏まえ、今後、報告書に盛り込まれている取り組みやアイデアをもとに、引き続きワークショップなどの住民参加・住民主体のプロセスを図りながら、十分検討を進めてまいりたいと考えております。

調査研究にあたりましては、本調査研究委員会やワークショップ等に参加いただいた各団体や福岡町地域の皆様をはじめ、ご協力いただいた市民の皆様に心から感謝を申し上げ、今後とも一層のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成23年3月

高岡市長 高橋正樹

はじめに

近年、環境対策、観光振興、地域産業の活性化、少子高齢化対策、地域コミュニティの活性化等の地方公団体が取り組むべき課題が複雑化・多様化してきている。また、住民に身近な行政は、地方公共団体が自主的かつ主体的に取り組むとともに、地域住民が自らの判断と責任において地域の諸課題に取り組むことが重要となってきた。

このため、当機構では、地方公共団体が直面している諸課題を多角的・総合的に解決するため、地方公共団体と共同して課題を取り上げ、全国的な視点と個々の地方公共団体の地域の実情に即した視点の双方から問題を分析し、その解決方策の研究を実施している。

本年度は5つのテーマを具体的に設定しており、本報告書は、このうちの一つの成果を取りまとめたものである。

近年、地球環境に配慮した「エコのまちづくり」に取り組む市町村や地域が増加している。この背景には地球規模で進行している地球温暖化があげられる。現在、人類は、森林などの自然が吸収できる2倍以上の量の二酸化炭素を排出しており、これが地球温暖化の大きな原因とされている。地球温暖化が進むと、地球の生態系が変化して、人類そのものの生存にまで深刻な影響が出ることが国連や科学者等から警告されている。現在、国際的な枠組みにより、世界各国が協調した環境問題への取り組みが行われているが、今後は、こうした取組を国レベルで行うだけでなく、家庭や地域社会などを舞台として、地域づくり・まちづくりのなかで取り組むことが重要となってきた。

本調査研究の調査団体である高岡市は、平成17年に旧高岡市と旧福岡町との合併により誕生し、現在、富山県西部北地域の中心的都市として新たなまちづくりを進めている。こうした新たなまちづくりの一環として、平成22年3月「高岡市環境基本計画」を策定し、環境に関わる諸計画と連携・整合を図りながら、環境に大きな負荷をかけない「健やかで美しく豊かな環境共生のまち」の実現を目指している。本調査研究は、環境都市の実現を地域社会が主導的に進めていくためのエコ環境づくりのあり方について、市内福岡町地域をモデル地区として検討したものである。

本研究の企画及び実施にあたっては、研究委員会の委員長及び委員をはじめ、関係者の方々から多くのご指導とご協力をいただいた。

また、本研究は、競艇の交付金による日本財団の助成金を受けて、高岡市と当機構が共同で行ったものである。ここに謝意を表する次第である。

本報告書が広く地方公共団体の施策展開の一助となれば幸いである。

平成23年3月

財団法人 地方自治研究機構
理事長 佐野 徹治

目 次

序章 調査の概要	3
1 調査の背景.....	3
2 調査の目的.....	4
3 調査研究の項目と方法.....	5
4 調査研究の体制.....	7
第1章 高岡市及び調査地域の概況	11
1 高岡市の概況.....	11
2 調査対象地域（福岡町地域）の概況.....	12
第2章 高岡市のエコ環境づくりの取組	25
1 高岡市総合計画の概要.....	25
2 高岡市環境基本計画の概要.....	26
3 エコ環境づくりの具体的な取組概要.....	27
第3章 福岡町地域の家庭におけるエコ活動の現状・意識	33
1 調査の概要.....	33
2 世帯属性.....	33
3 日常生活におけるエコ活動.....	35
4 地球環境やエコに対する考え方.....	38
5 福岡町地域のまちづくりに係る意識・意向.....	41
第4章 福岡町地域における各種団体のエコ活動の現状・意識	49
1 自治会アンケート調査.....	49
2 各種団体ヒアリング調査.....	69
第5章 先進地域におけるエコ環境づくりの取組	131
1 エコ環境づくりの動向.....	131
2 市町村におけるエコ環境づくりの取組.....	134
3 先進地域における取組.....	143

第6章 福岡町地域におけるエコ環境づくりの考え方・方向性	161
1 エコ環境づくりの現状と課題.....	161
2 「地域主導のエコまちづくり」の基本的考え方・目的.....	165
3 「地域主導のエコまちづくり」の視点.....	170
4 「地域主導のエコまちづくり」に向けた環境づくり.....	171
5 「地域主導のエコまちづくり」の展開方向.....	173
第7章 福岡町地域におけるエコ活動の取組イメージと条件	179
1 エコ活動の具体的な取組及び成果（住民ワークショップ結果）	179
2 福岡町地域における今後のエコ活動の取組イメージ.....	204
3 展開方向別にみた福岡町地域におけるエコ活動の取組アイデア.....	206
4 エコ活動を普及・定着させるための社会的支援のあり方.....	241
調査研究委員会等名簿.....	247

序章 調査の概要

序章 調査の概要

1 調査の背景

(1) 調査の背景

近年、深刻な地球環境悪化への対応が国際的な課題となっており、地域社会においても社会の構成員が一体となってエコ環境づくりの具体的な取組をはじめることが必要となってきた。

しかし、エコ環境づくりの推進が、CO₂削減をはじめ大きな社会的コストを伴うことから、地域活性化を阻害することなども指摘されており、エコ環境づくりの実現には、地域住民の理解と協力を確保するとともに、新たな産業創出等の地域活性化と連動した取組の重要性も指摘されている。

高岡市では、まちづくりの基本的プロジェクトの一つとして「環境共生のまちプロジェクト」の中に「高岡エコシティ・プロジェクト」を掲げ、住民発意のエコモデル地区の設定など、高岡ならではのエコ社会づくり、エコまちづくりを進めている。

(2) 高岡市のまちづくり（エコまちづくりの取組）

高岡市は、平成17年11月、旧高岡市と旧福岡町が合併し、新たなまちづくりをスタートした。合併後の平成19年9月、新市として初めての総合計画である「高岡市総合計画」を制定し、都市の将来像（目指すべきまちの姿）として、「水・みどり・人 光り輝く躍動のまち 高岡」を掲げている。

こうしたまちづくりのなかで、エコの取組については、高岡市の特性を活かし、快適で、恵み豊かな環境の保全及び創造に関する施策を体系的に推進するため、平成20年3月「高岡市環境指針」、平成21年3月「高岡市環境基本条例」、平成22年3月「高岡市環境基本計画」を策定している。

「高岡市環境基本計画」は、環境に関わる諸計画と連携・整合を図りながら、環境に大きな負荷をかけない「健やかで 美しく 豊かな環境共生のまち」を環境都市像として掲げ、市・事業者・市民等が共に協力して「環境共生のまち高岡」の実現を目指すこととなっている。

図表0-1 環境都市像実現のための環境目標

- I 環境への負荷の低減に取り組み、人々が健康で安心して暮らせるまち
- II 自然や生物との共生を図りながら、水辺や緑などを整備し、豊かな自然を守り育てるまち
- III 風格ある町並みを洗練させるとともに、身近な水や緑とのふれあいを大切にする、うるおいのある快適なまち
- IV 公共交通の利用、歩いて暮らせるまちづくりなどを推進し、地球環境への負荷の少ないまち
- V IからIV全ての目標を達成する手段として、環境教育・学習の推進、自主的な環境保全活動の促進などを図る

2 調査の目的

(1) 調査の目的

本研究では、高岡市福岡町地域をモデル地区として、循環型社会、地球環境に優しい市民生活の実現などに向け、地域のエコ資源の把握、地域住民のエコ環境づくりにかかる意向等を把握するとともに、誰もが住みたい・行きたい「エコモデル地区」の形成について検討する。

「エコモデル地区」の形成については、地域資源を活用した新たな産業創出、地域活性化も視野に入れ、地域住民や市民活動団体・地元企業等が主体となった地域主導型のエコ環境づくり（住民のエコ環境意識の涵養、エコ環境に係る人材育成、エコ産業形成）のあり方や方向性等について検討する。

(2) 調査の基本的考え方

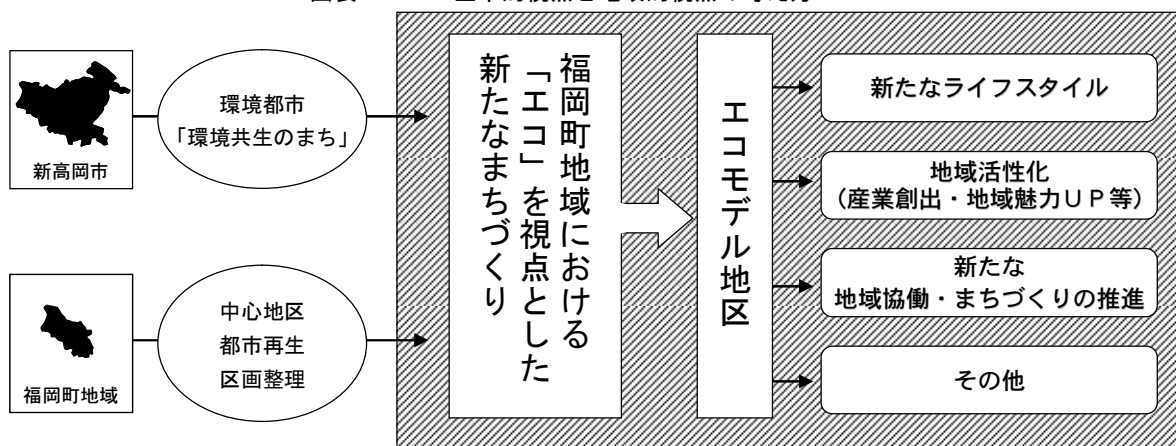
合併後の新高岡市におけるまちづくりの基本理念の一つである「環境共生のまち高岡」の実現に向け、「高岡市環境基本計画」に掲げる将来都市像、基本的考え方、環境配慮指針の具体化を検討する。

（全市的視点）

福岡町地域が進めてきたこれまでのまちづくりの経緯や成果・課題等を踏まえ、その延長線上に「エコモデル地区」の形成や地域活性化の方向性等について検討する。特に、中心地区の住民協働の取組、「福岡中央地区都市再生整備計画」が掲げる目標・事業と連動した「エコモデル地区」の形成について検討する。（地域的視点）

市民生活の視点から、市民誰もが取り組むことが可能で、一定の成果が得られる裾野が広いエコ活動について検討する。（市民生活の視点）

図表0-2 全市的視点と地域的視点の考え方



3 調査研究の項目と方法

(1) 調査研究の項目

調査の目的を踏まえ、調査項目として次の5項目を掲げた。報告書の各章は本項目にしたがい、取りまとめている。

- ① 高岡市及び調査地域の概況
- ② 高岡市のエコ環境づくりの取組について
- ③ 福岡町地域の家庭におけるエコ活動の現状・意識
- ④ 福岡町地域における各種団体のエコ活動の現状・意識
- ⑤ 先進地域におけるエコ環境づくりの取組
- ⑥ 福岡町地域におけるエコ環境づくりの考え方・方向性
- ⑦ 福岡町地域におけるエコ活動の取組イメージと条件

報告書の各項目（章）の概要は次のとおりとなっている。

① 高岡市及び調査地域の概況（第1章）

本町及び調査対象地域である福岡町地域の概況についてとりまとめた。

② 高岡市のエコ環境づくりの取組について（第2章）

高岡市のエコ環境づくりに係る市施策、取組状況等について整理した。

③ 福岡町地域の家庭におけるエコ活動の現状・意識（第3章）

平成22年8月に実施した「エコのまちづくりに関する福岡町地域世帯アンケート調査」結果から、福岡町地域の家庭（世帯）におけるエコ意識・意向、エコ活動の取組状況、今後の福岡町地域のまちづくりの方向等に係る実態及びニーズ等についてとりまとめた。

④ 福岡町地域における各種団体のエコ活動の現状・意識（第4章）

平成22年8～12月に実施した各種団体調査（ヒアリング調査、アンケート調査）結果から、福岡町地域に所在する各種団体のエコ活動の取組状況、この後のエコ活動に対する取組意向、福岡町地域のまちづくりの方向等について整理した。

⑤ 先進地域におけるエコ環境づくりの取組（第5章）

エコ環境づくりに係る全国動向を整理するとともに、福岡町地域で導入及び展開が可能な、①先端的・先進的なエコまちづくり、②多様な市民参加が可能なエコまちづくり、③地域活性化と連動したエコまちづくりの3つの類型に基づき、具体的な取組事例についてとりまとめた。

⑥ 福岡町地域におけるエコ環境づくりの考え方・方向性（第6章）

福岡町地域において住民主導のエコ活動、エコのまちづくりが展開されていくための環境づくりの考え方・方向性について提示した。

⑦ 福岡町地域におけるエコ活動の取組イメージと条件（第7章）

第6章で示した考え方・方向性に基づき、住民参加型のワークショップにおける検討結果に基づき、具体的な取組のイメージと条件について提示した。

(2) 調査研究の方法

調査項目について明らかにするため、下記の調査を行った。

図表0-3 調査研究の方法

調査研究方法	調査方法	摘要
世帯意識調査	アンケート調査	<ul style="list-style-type: none"> ●調査対象：平成22年7月末現在、住民基本台帳に登録している福岡町地域の全世帯（悉皆調査）、平成22年7月末現在4,156世帯。 ●調査内容：地球環境やエコについての意識・意向、エコ活動に係る取り組みの実態・意向、福岡町地域のまちづくりに係る意識・意向、世帯属性、自由記入回答。 ●調査方法：福岡町地域自治会連合会を通じ、配布。返信用封筒による郵送。平成22年8月～9月実施。
各種団体調査	ヒアリング調査	<ul style="list-style-type: none"> ●調査対象：平成22年9月末現在、福岡町地域に立地する、まちづくり団体、事業所、農林水産系団体、学校。 ●調査内容：団体（組織）属性、エコに関する取組（事業活動、社会貢献活動、エコ活動）、福岡町地域の今後のまちづくり、その他。 ●調査方法：事務局（高岡市、地方自治研究機構）担当者による訪問聴取調査。平成22年8月～10月実施。
各種団体調査	アンケート調査	<ul style="list-style-type: none"> ●調査対象：平成22年8月末現在、福岡町地域自治会連合会に所属する単位自治会54団体の代表等の役員。 ●調査内容：自治会の概要、自治会活動におけるエコの取組、福岡町地域のまちづくりに係る意向、自由記入回答。 ●調査方法：福岡町地域自治会連合会を通じ、単位自治会役員（代表等）に配布。返信用封筒による郵送。平成22年8～10月実施。
ワークショップ	グループ別ワークショップ	<ul style="list-style-type: none"> ●調査対象：18歳以上の福岡町地域の市民。 ●調査内容：里山保全コース、エコな暮らし10ヶ条コース、地域資源（エコ）を活用したまちづくりコース、エコに配慮した地産地消のまちづくりコース。 ●調査方法：平成22年11～12月実施。
事例調査	ヒアリング調査	<ul style="list-style-type: none"> ●調査対象：京都府亀岡市、埼玉県飯能市、長野県飯田市。 ●調査内容：地域概況（環境問題・課題、住民意識、まちづくりの経緯等）、環境施策に係る基本理念、計画、主要（重点）施策、行政体制等の状況、環境施策に係る取組の経緯、主要環境施策の内容（①事業経緯、②問題点・課題、③効果・成果、④事業費、⑤推進体制）等。 ●調査方法：事務局（市、機構）が訪問聴取調査。平成23年1月実施。

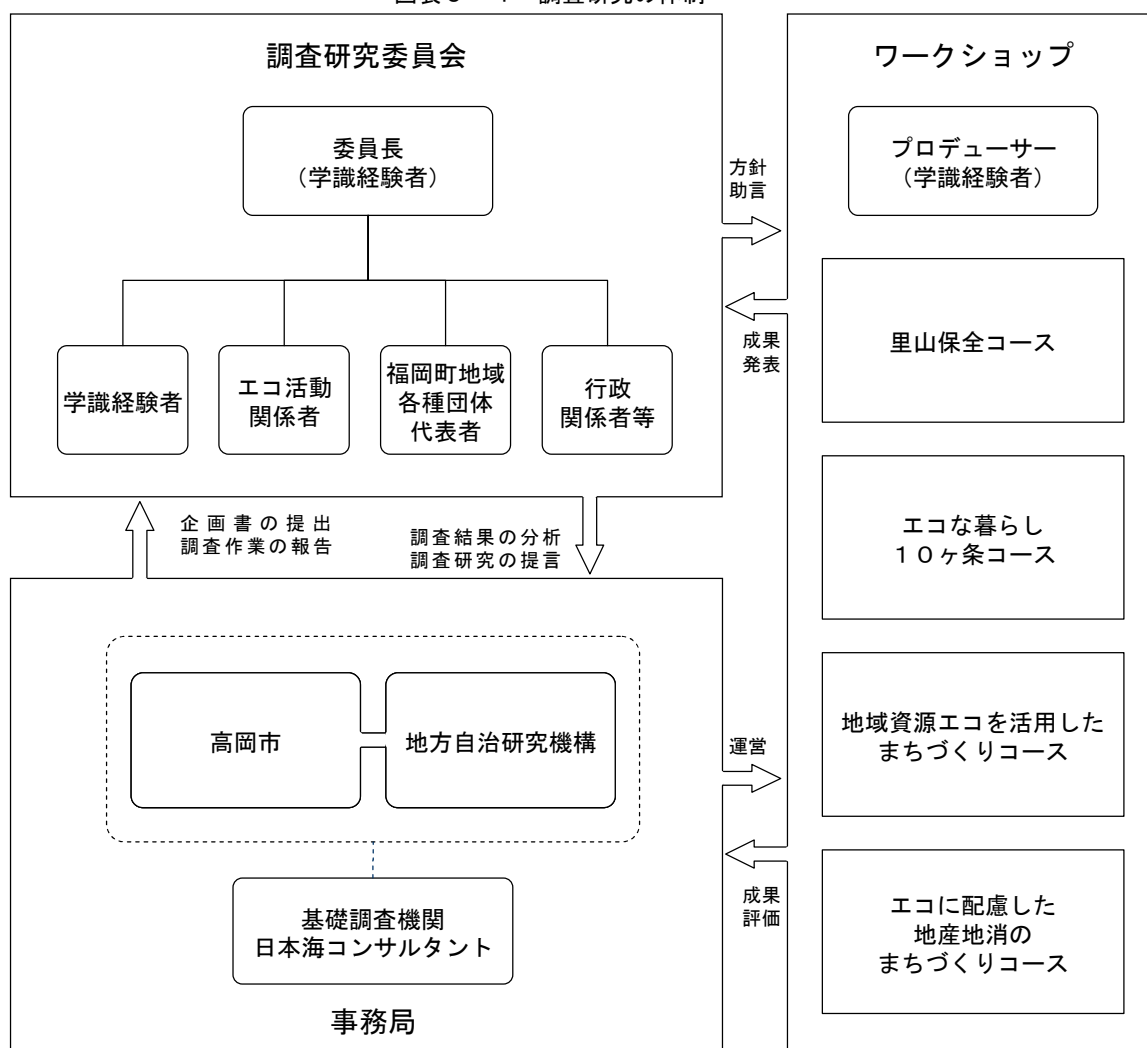
4 調査研究の体制

学識者、エコ活動関係者、福岡町地域各種団体代表者、行政関係者等で組織する「地域資源を活用した地域主導型エコ環境づくりに関する調査研究委員会」（委員長：伊藤裕夫氏 富山大学芸術文化学部教授）を設置し、調査結果の分析及び調査研究結果の提案の検討を行った。委員会は、3回（7月、11月、2月）開催した。

また、福岡町地域におけるエコ活動の具体的な導入や展開について検証するため、地域住民等が参加する4つのコースからなるワークショップを設置し、4回（11～12月）開催した。ワークショップの企画運営については、富山大学地域連携推進機構の協力により碓谷勝氏（富山大学 地域連携推進機構 地域づくり・文化支援部門研究員）をプロデューサーとして委嘱し、各ワークショップのプログラム作成や成果の講評等を得た。

事務局は、高岡市、地方自治研究機構で構成し、委員会での審議に必要な資料収集、調査研究の具体的な方法について検討を行った。調査研究の一部については、基礎調査機関・株式会社日本海コンサルタントに委託して実施した。

図表0-4 調査研究の体制



第1章 高岡市及び調査地域の概況

第1章 高岡市及び調査地域の概況

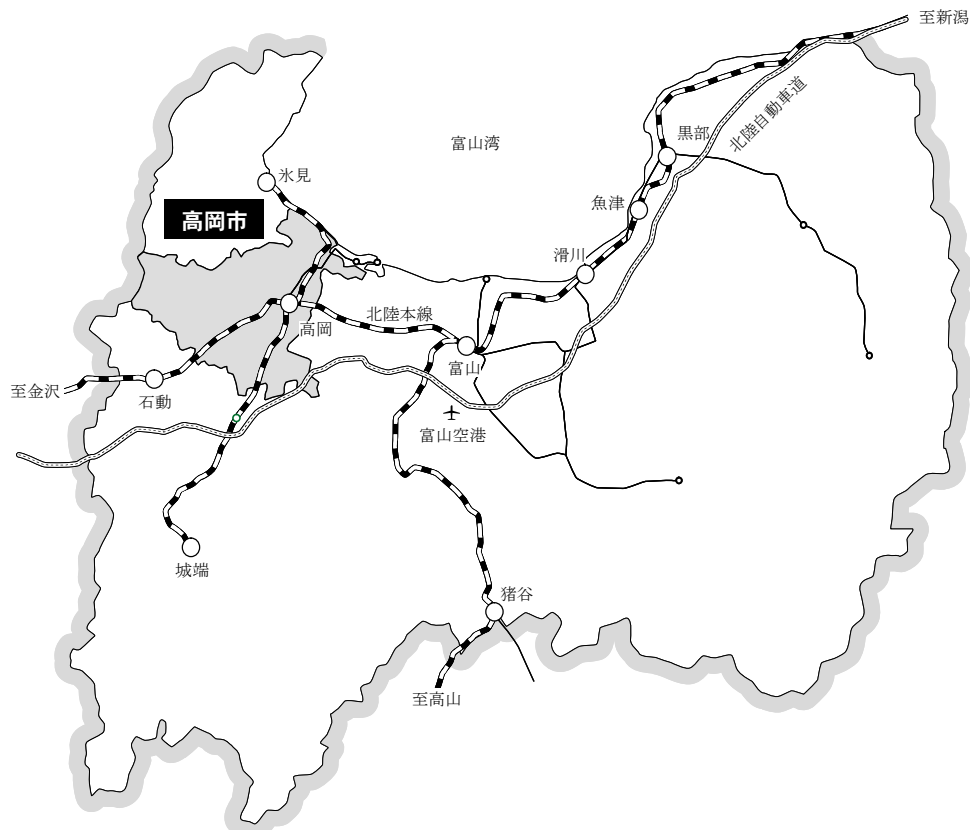
1 高岡市の概況

本市は、平成17年11月、旧高岡市と旧福岡町の合併により誕生した。富山県の北西部に位置し、北は氷見市に接し、東は射水市、北西は石川県、西は小矢部市、南は砺波市に接している。市内の西側は山間地域で二上山とこれに連なる西部丘陵があり、東側は庄川・小矢部川によって形成された平野部からなっている。面積は209.42km²。東西約24.5km、南北約19.2kmで、富山県全体の約5%を占めている。

本市の沿革をみると、慶長14年(1609年)、加賀藩第2代藩主・前田利長によって高岡城が築かれたことが開町の年とされ、以来、高岡銅器、高岡漆器や菅笠などの特産を生み出す優れた生産技術や技能を有する都市として発展し、平成21年には開町400年を迎えた。また、本市の北部・伏木地区には奈良時代、越中の国府がおかれ、万葉歌人 大伴家持が越中国守として赴任して、多くの万葉秀歌を残すなど、古来からの歴史・文化の足跡も色濃く残している。雨晴海岸・二上山、西山丘陵や散居村など、我が国を代表する美しい自然・景勝地を有するほか、国宝瑞龍寺をはじめ重要文化財の勝興寺、そして古い町並みや高岡古城公園などの歴史的・文化的資産が数多く残されている。

このように、本市は、富山県西部の中核都市として発展してきた。平成26年度には、北陸新幹線の開業が予定され、市内に北陸新幹線新高岡駅(仮称)の開設により、新たな発展が期待されている。

図表1-1 高岡市の位置



資料：高岡市資料等を基に作成

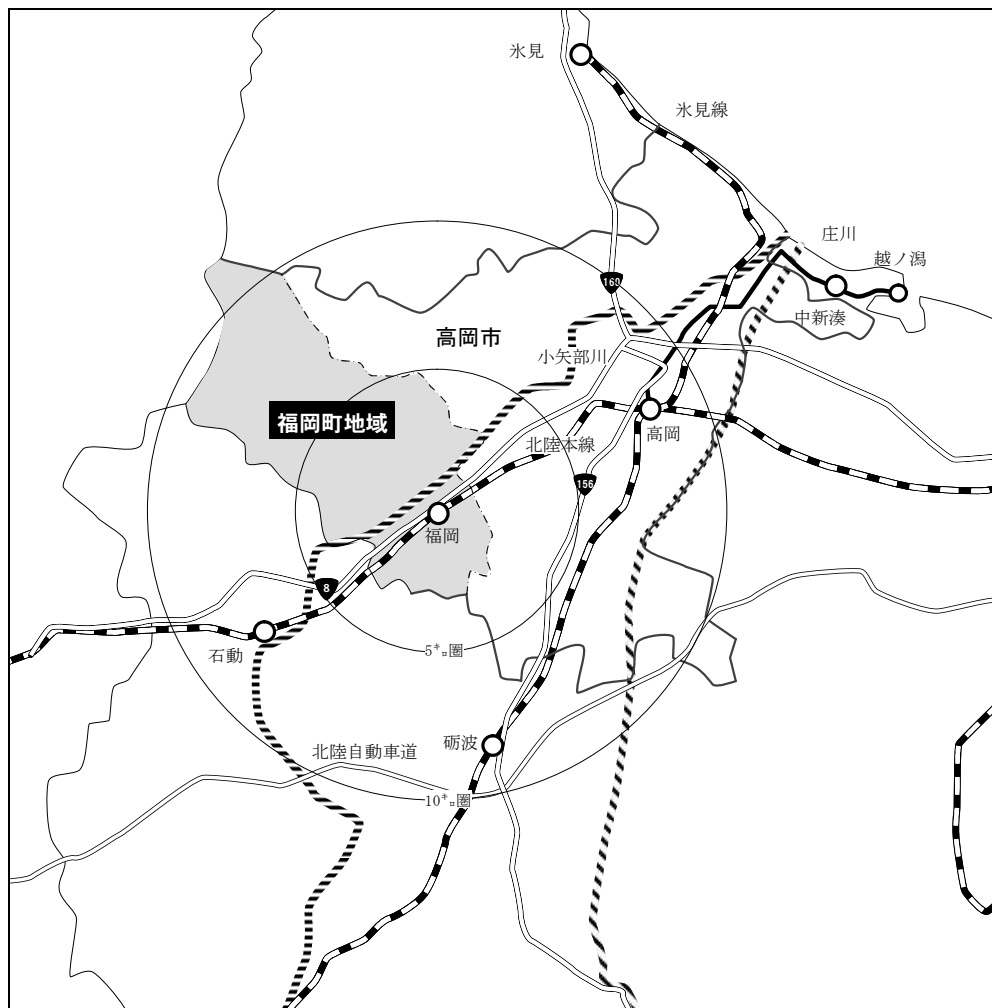
2 調査対象地域（福岡町地域）の概況

(1) 地勢・沿革

高岡市福岡町地域は市（県）北西端部に位置し、面積は 58.76 km²。北西側約 41 km² は山間地域を構成し、北西に向け次第に標高を高め、多様な自然、地勢を有する地域となっている。山間部は、豊かな山林資源、水源を有し、自然共生型の里山等の山村文化が継承されている。また、平野部の中央を北東に一級河川小矢部川が流下し、良質な水資源等を活かした水稲、菅田、養鯉など環境共生型の産業が発展してきた。また、市街地には桜の名所として知られる岸渡川が流れるなど、住民が日常生活のなかで自然にふれあう機会が整備されている。また、東西を国道 8 号線、北陸本線が通過し、中心地区は J R 福岡駅が設置されている。

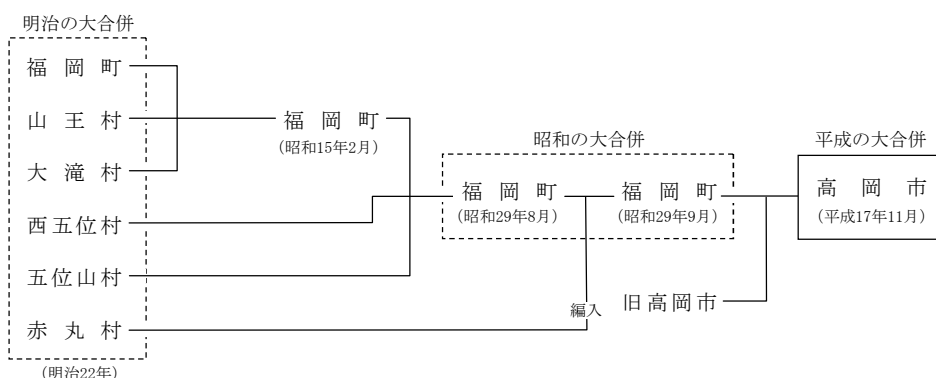
本地域の沿革をみると、明治初期は新川県に属し、明治 17 年（1884）に郡制がしかれ、砺波郡福岡町が設置された。明治 22 年（1889）4 月 1 日、市町村制の施行により旧福岡町・山王村・大滝村・西五位村・五位山村・赤丸村が誕生。その後、昭和 15 年（1940）2 月 11 日に旧福岡町・山王村・大滝村の 1 町 2 村が合併し、昭和 29 年（1954）8 月 1 日には西五位村・五位山村の 2 村が合併、さらに同年 9 月 15 日に赤丸村を編入して現在の福岡町が誕生した。

図表 1-2 福岡町地域の位置



資料：高岡市資料等を基に作成

図表1-3 福岡町地域（旧福岡町）の沿革

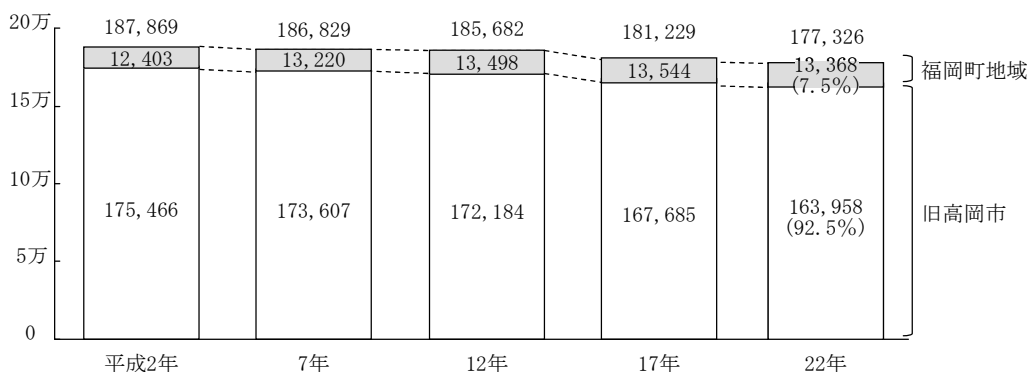


資料：高岡市資料、福岡町「福岡町史」（平成16年2月）等を基に作成

(2) 人口・世帯

平成22年現在の高岡市の人口は17万7,326人（住民基本台帳人口）。このうち、福岡町地域の人口は1万3,368人、市総人口の7.5%を占めている。高岡市の人口が緩やかな減少傾向にあるなかで、福岡町地域の人口は平成17年までは増加傾向を示し、平成19年を境に減少に転じている。これに対して世帯数は、核家族化等の影響により大きな増加傾向を示しているため、1世帯当たり世帯人員は平成2年の4.0人から、平成22年には3.2人にまで縮小してきている。

図表1-4 福岡町地域の人口の推移



資料：平成2～17年は総務省統計局「国勢調査」（各年分）、平成22年は住民基本台帳数値

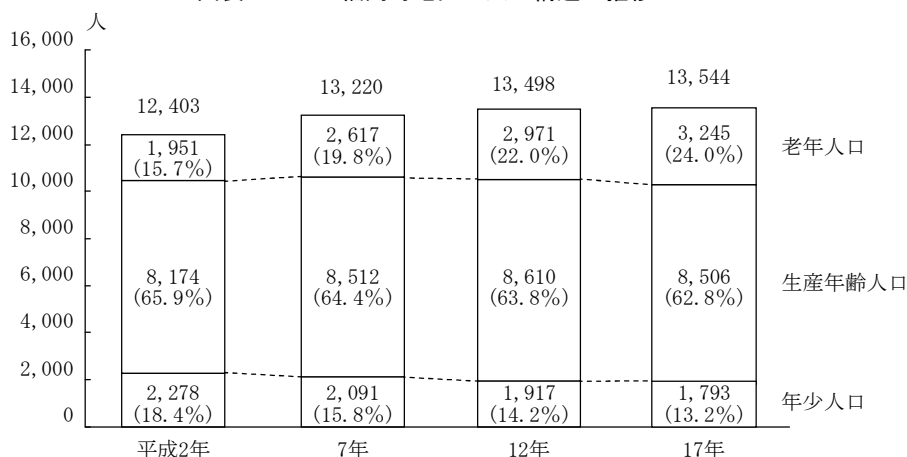
図表1-5 福岡町地区の総人口・世帯数・1世帯当たり人員の推移

区分	総人口	男性	女性	世帯数	1世帯当たり人員
平成2年	12,403	6,024	6,379	3,108	4.0
7	13,220	6,374	6,846	3,426	3.9
12	13,498	6,486	7,012	3,781	3.6
17	13,544	6,502	7,042	3,956	3.4
22	13,368	6,499	6,869	4,164	3.2

資料：平成2～17年は総務省統計局「国勢調査」（各年分）、平成22年は住民基本台帳数値

また、福岡町地域の人口構造をみると、少子高齢化の進展がみられ、65歳以上の老年人口は人口・割合ともに増大し、反対に年少人口、生産年齢人口は低下してきている。

図表 1-6 福岡町地区の人口構造の推移



資料：総務省統計局「国勢調査」(各年分)

(3) 産業

福岡町地域では、戦前までは農林水産業が基幹産業として発展してきたが、戦後の高度経済成長とともに農業の兼業化が進むとともに、アルミ関連会社等の工業が町の中心産業として変化してきた。現在、アルミ関連会社を中心とした金属製品は、福岡町地域の出荷額の61%、就業者数の51%（平成13年、従業員4人以上の事業所）を占め、地域の雇用や税収を支えている。しかし、近年は長引く不況の影響で低迷しており、平成元年以降1,000億円を超えていた町の製造品出荷額は、平成10年を境に減少に転じている。

(4) 地域資源

① 養鯉

福岡町地域の養鯉業は、慶応2年大和の国郡山から種鯉を数匹、矢部地区へ移入し養殖を始めたのが元祖とされ、豊富な地下水を利用した養殖により、全国的にも養鯉の主要生産地の一つに数えられている。

② 菅笠

福岡町地域の菅笠づくりは、江戸時代、加賀藩の奨励により発展を続け、現在も全国シェアの90%を占め「笠の福岡」として知られている。近年は、飾りものに、雲板、しめかざり等、観光みやげものとして1尺～3寸豆笠各種、ミニワラジ、菅俵等の民芸品が作られ全国各地で好評を博している。

③ つくりもんまつり

五穀豊穡を感謝して地蔵まつりに供えられる秋の収穫物が、長い歳月を経て姿を変え「つくりもん」となり、県内外から11万人もの観光客が集まる、全国的に知名度を有する地域行事となっている。

季節の野菜や果物、自然の草花を利用して趣向を凝らした作品は、地域住民や関係団体等による自主的な運営・参加によって創作されており、その年の話題や行事をテーマに時代性を映し、素朴でユーモラスな庶民芸術として親しまれている。

④ その他

市の無形文化財である雅楽の歴史は、文久元年（1861）に遡る。保持者である「洋遊会」は、富山県民会館の落成式での舞楽上演、最近では第11回国民文化祭への出演や二度にわたる英国公演を果たすなど、脈々とその活動が引き継がれている。また、全国の大学生を対象とした少人数による創作ダンスコンクールがふくおか総合文化ホール（Uホール）をメイン会場として「Art.M」（アーティスティックムーブメント）として開催されおり、期間中には、参加する学生を民泊で受け入れるなど、福岡町地域の事業として定着している。平成12年（2000）に完成したミュゼふくおかカメラ館は、カメラ展示や写真展を通し新しい文化の拠点施設としての役割を果たしている。

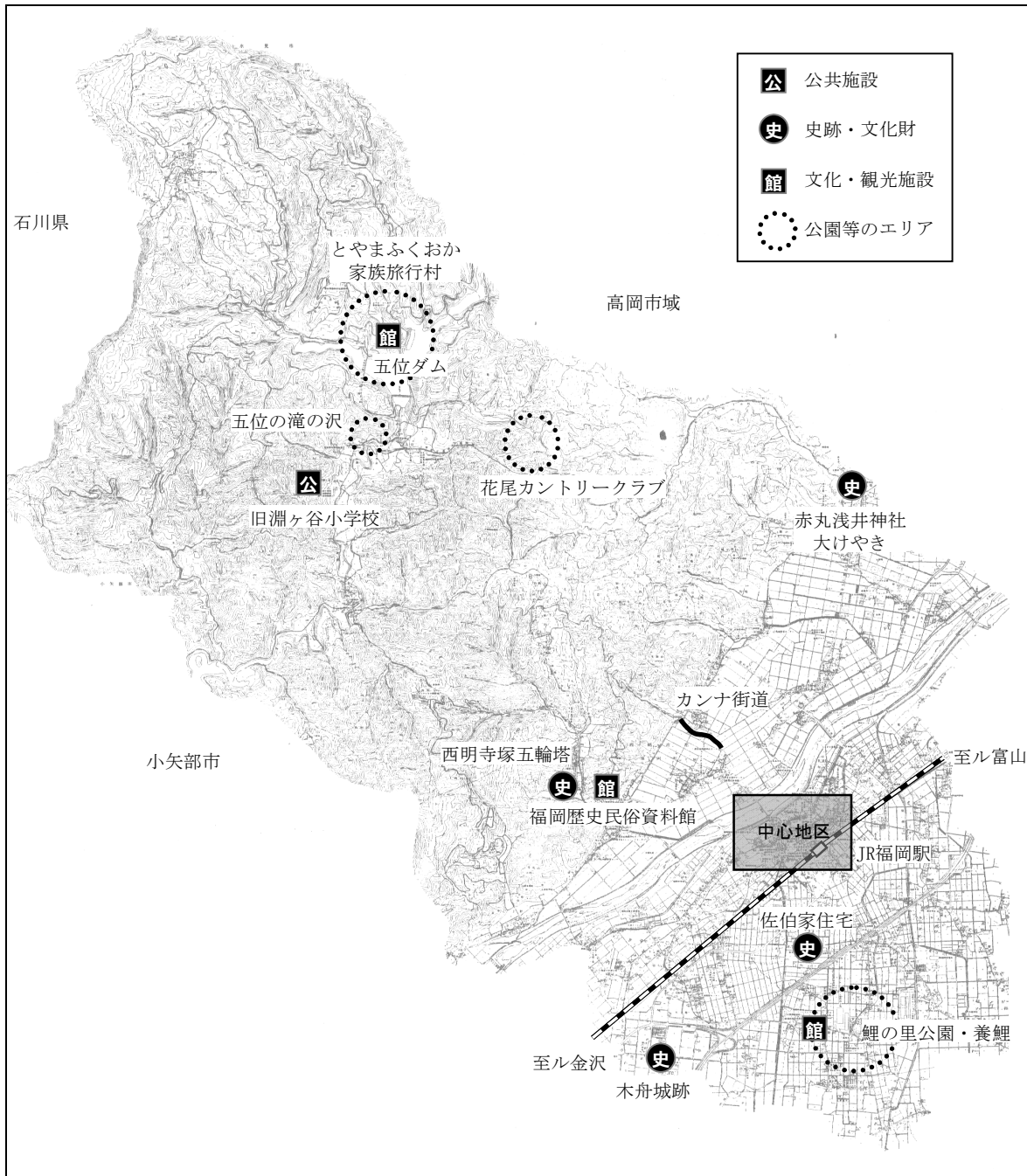
図表 1-7 福岡町地域の主な地域資源の状況

	区分	概要
自然や生態系	養川・岸渡川・桜並木・せせらぎ公園土屋親水公園など	岸渡川は、福岡町の市街地の付近を流れ、流域の両岸には、約 1,000 本のソメイヨシノが植えられており、春は花見客で賑わう。
	とやまふくおか家族旅行村（五位ダム・山ぼうし）	五位ダム湖畔に広がる自然の中で手軽に利用できる野外レクリエーション施設。バーベキュー場、ローラースケート場、マウンテンバイク、ファミリーゴルフ、宿泊温泉施設など多彩にある。
	西山丘陵	西山丘陵は、小矢部市域から高岡市域まで小矢部川左岸に連なる丘陵。横穴墓群などの古墳群や赤丸城跡・鴨城跡などの山城跡等が密集する。
	赤丸浅井神社・大けやき	参道は、約 200m にわたって市指定天然記念物 樹齢 400 年を超える老杉もみられる杉並木となっている。また、境内には県指定天然記念物、樹齢 1000 年以上の大けやきの神木がある。
	五位の滝の沢	子撫川の浸食により渓谷美を造っている。落差 2 m の階段状に落ちる滝として名勝の一つとなっている。美しい風景と澄んだ水が流れる音は涼やかで心地よい。付近は蛍の生息地として知られる。
	カンナ街道	山岸集落のカンナの植栽は、地域で取り組みを始めてから 26 年が経つ。
	養鯉・鯉の里公園	矢部地区は福岡町の特産物である鯉の産地。鯉の里公園（平成 15 年開園）の池では、さまざまな錦鯉の品種を楽しめる。資料館が併設されている。
風景	菅干し、菅笠づくり	菅笠（すげがさ）は、400 年以上の歴史を持つ福岡町の伝統的な特産品（全国シェアは 90% 以上）。「越中福岡の菅笠製作技術」は国重要無形民俗文化財に指定されている。後継者づくりが課題となっている。
	旧北陸街道・町並み景観・殿様清水・島田邸・長安寺など	旧北陸街道沿道周辺は、菅笠問屋の面影を偲ばせる静かな町並みとなっており、地域の憩いの場や、伝統芸能などの文化活動の拠点となっている。
	西明寺塚五輪塔	北陸では 15 世紀以降に五輪塔が活発に造られたとされているが、西明寺塚五輪塔は鎌倉時代 13 世紀ごろに造られたとされる貴重なものである。（市指定文化財）
文化・伝統・歴史	景岸焼	明治期に隆盛した景岸焼は明治初期に篠田茂三郎が福岡町市街地を流れる岸渡川ほとりで開窯し、1878 年パリで開催された万国博覧会に出品し銅賞を獲得した。後継者が無く 1 代で廃窯した。三組大鉢は、市指定文化財。
	雅楽・雅楽の館	雅楽は、江戸時代末期に福岡町に伝わったとされ、市無形文化財に指定（伝統芸能：雅楽）されている。雅楽の館は、昭和初期に昔ながらの工法で移築した菅笠問屋「滝家」をそのまま活用し、雅楽で使われる楽器や装束を展示。
	前句	前句は、室町時代末期から江戸時代にかけて連歌から分離し、加賀藩の金沢から県西部に広まり、越中の地で独特の発展を遂げた。
	アーティストックムーブメント	大学生の創作ダンス全国大会「Art.M」として福岡町に定着している。多くの学生を地域住民が民泊で受け入れている。
	卓球など	県内で初めての卓球専門スポーツ少年団を設立するなど、卓球競技が盛んである。毎年、福岡卓球協会の福岡オープン大会を開催している。
	佐伯家住宅	明和 5 年（1768）、旧川崎村（現南砺市上川崎）から移築した。当時を含め 3 度の拡張を経て江戸時代末期の姿に復元された豪農の邸宅。茅葺の主屋やひさし、棧瓦葺のおろしなどに当時の建築様式がみられる。（国指定重要文化財）
	つくりもんまつりなどイベントや祭事・行事	300 余年の伝統を持つ「つくりもんまつり」は、五穀豊穡を感謝して行われる地蔵祭りが起源とされる。毎年 9 月 23 日・24 日に福岡町市街地で開催。野菜や果物、草花を利用して趣向を凝らした地域住民の作品「つくりもん」は、その年の話題や行事をテーマにして時代を色濃く映し出す。素朴でユーモラスな庶民芸術。
	つくりもん市・朝市	冬季以外は毎月カメラ館前通りで、朝市を開催している。
	竹笛	福岡町伝統の新月乃笛として有名
	宝性寺跡	市指定文化財。
木舟城跡	石黒太郎光弘が、寿永 3 年（1184）に築城したと伝えられる平城の城跡。県指定史跡になっている。織田对上杉、前田対佐々の覇権争いの舞台となった。天正 13 年（1585）の大地震により壊滅。近年の発掘調査により遺構が明らかになった。	

区分		摘要
施設等	公営バス	昭和47年に民間のバス路線廃止の代替として運行を始めた。山間地をはじめとした地域の交通弱者の足となっている。
	エコ企業（リサイクル産業など）	福岡町地域やその周辺には、アルミ関連工場、リサイクル企業等がある。
	花尾カントリークラブ	昭和52年に緑豊かな西山地区にオープンしたゴルフ場。
	福岡歴史民俗資料館	建物（旧福岡町役場）は、大正13年（1924）壽原（すはら）英太郎氏が旧福岡町に寄贈したもの。公会堂として建てられた石造風洋館で、正面はロマネスク風石柱飾となっている。埋蔵文化財はじめ、生活に密着した用具、農具、藩政時代の古文書などが展示。
	福岡駅・福岡観光物産館	福岡観光物産館は、平成12年に整備されJR福岡駅舎の外に産業物産品・特産品の展示や多目的ホールを備えている。外観は木造和風で大きな三角屋根が特徴的である。
	旧淵ヶ谷小学校	平成14年度より休校となっているが、地域のシンボリック的存在であったことから活用策が検討されている。
	B&G海洋センター	体育館と温水プールを有するスポーツ施設。また、隣接してナイター照明を完備したテニスコートや公園、小矢部川の堰堤はランニングロードとして市民に活用されている。
	ふくおか総合文化センター（Uホール）	図書館、文化ホール、アリーナ、フィットネスジムなどを備えた複合施設。
	ミュゼふくおかカメラ館	常設展示としてクラシックカメラやその仕組み・歴史を紹介するとともに、企画展として写真展等を開催している。建物の設計は安藤忠雄建築研究所。平成12年に開館。

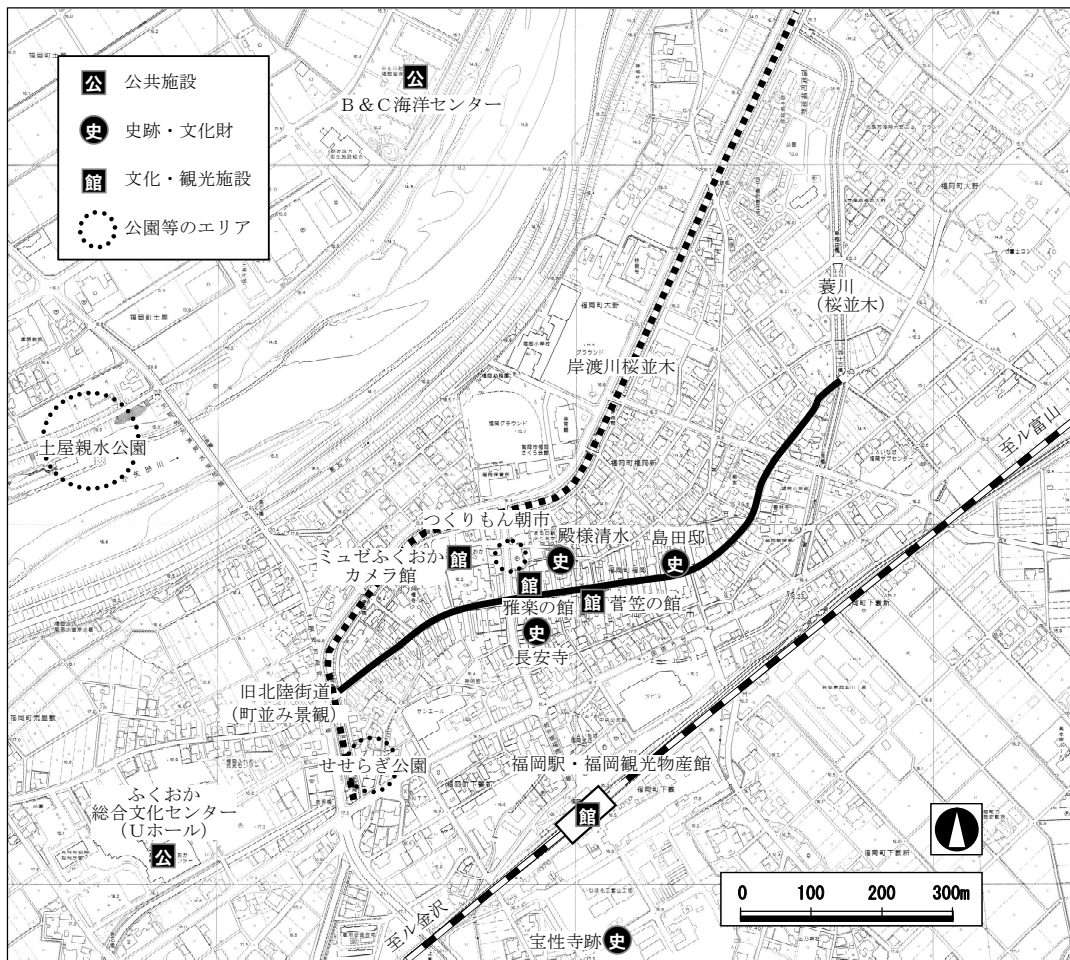
資料：高岡市

図表 1-8 福岡町地域の地域資源の状況



資料：高岡市

図表1-9 中心地区の地域資源の状況



資料：高岡市

(5) まちづくりの取り組み・課題

ア 福岡中央地区都市再生整備計画の概要

J R福岡駅北側には、旧北陸街道（県道岡笹川線）、国道8号、（都）駅前通り線を軸とした中心市街地（既成）が形成されているが、定住人口の減少、少子高齢化の進行、商業活力の低下、まちの顔としての魅力の不足など様々な問題をかかえている。

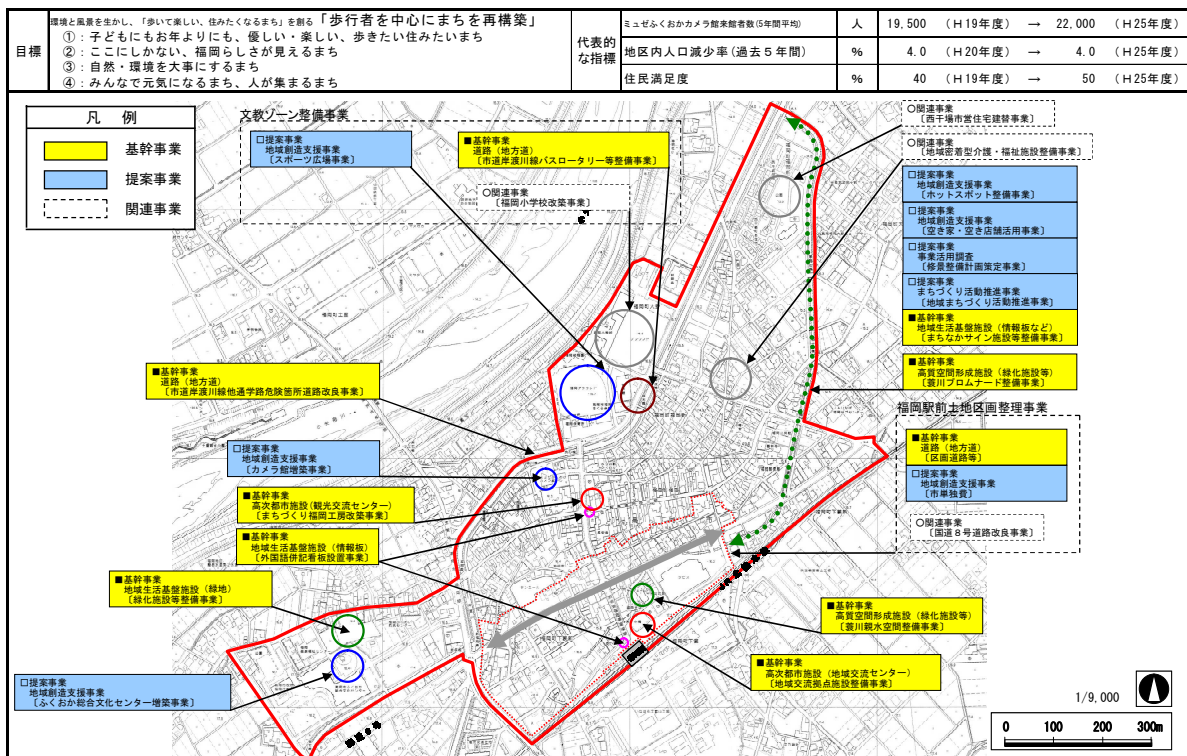
そのため、福岡地域の歴史、文化、自然環境等の特性を活かした個性あふれる元気なまちづくりを目指し、まちづくり住民懇談会（平成19年～）・住民アンケートの実施（平成20年）、有識者や住民による検討委員会を開催して、住民ニーズを把握しながら、福岡中央地区都市再生整備計画（第1期）をまとめ、平成21年度から事業着手している。

国道8号や駅前広場を含むJ R福岡駅直近地区において、福岡町の玄関口にふさわしい賑わいあふれる市街地の拠点の再生を図るとともに、住み続けられる安心安全のまちづくりをめざし、福岡駅前土地区画整理事業を進めている。

一方、旧北陸街道沿線は長安寺・西福寺・神明宮・八幡宮・島田邸・殿様清水等の歴史的資源や、ミュゼふくおかカメラ館、まちづくり福岡工房、雅楽の館等の文化交流施設が集積しており、福岡固有の伝統・文化・歴史を活かしたまちづくりを進めている。

- 福岡中央地区 旧福岡町中心市街地活性化基本計画区域、福岡駅前土地区画整理事業区域を含む、J R福岡駅～岸渡川周辺区域約58ha
- 計画期間 平成21年度～平成25年度（第1期）

図表1-10 福岡中央地区都市再生整備計画 整備方針概要図



イ 福岡駅前土地区画整理事業の概要

福岡駅周辺地区の活性化の基盤づくりとして、国道8号線の拡幅整備、駅前線や福岡駅前広場の交通結節機能の強化、生活道路や公園等、公共公益施設の整備、居住環境の改善など総合的なまちづくりを進め、安全で安心して住み続けられるまちづくりを進めている。

- 施行面積 約 11.1 h a
- 施行期間 平成 19 年度～平成 30 年度

図表 1-11 福岡駅前土地区画整理事業設計図



第2章 高岡市のエコ環境づくりの取組

第2章 高岡市のエコ環境づくりの取組

1 高岡市総合計画の概要

(1) 高岡市総合計画基本構想(平成19～33年度)の概要

合併後の新高岡市の行政運営の総合的な指針として「高岡市総合計画基本構想」が平成19年に策定された。

図表2-1 高岡市総合計画基本構想の概要

将来都市像 「水・みどり・人 光り輝く躍動のまち 高岡」	
まちづくりの目標	摘要
飛越能 86 万人のふれあいと交流のまち	「もてなしの心」をはぐくみ、高速交通網の整備を背景に広域観光など都市間連携・交流を積極的に推進し、環日本海時代における県西部の拠点都市にふさわしい魅力あふれる元気なまちづくりを目指します。
水・緑につつまれ安心して暮らせるやすらぎのまち	すべての市民が元気に満ちあふれ、庄川、小矢部川、雨晴海岸や二上山、西山丘陵などの水・緑が織りなす豊かな自然につつまれ、快適な住環境のなかで安心して暮らせるまちづくりを目指します。
心豊かな人をはぐくみ万葉と前田家ゆかりの歴史と文化をたのしむまち	生涯にわたって心豊かな人を次代の担い手としてはぐくみ、市民が誇る万葉と前田家ゆかりの薫り高い歴史と文化を21世紀の新たな潮流の中で継承・発展・発信していくまちを目指します。
ものづくりの技と情熱がつくり出すにぎわいのまち	ものづくりの技が生きる銅器、漆器、菅笠などの伝統産業、未来を拓くアルミ、機械、化学などの先端産業及び地域の特性を活かした農林水産業の持続的発展、魅力あふれる商業の振興に努め、活力ある産業都市を目指します。
みんなで考えみんなでつくるみんなのまち	新しい時代にふさわしい市民に開かれた市政を実現し、市民参加と協働の取組みのもと個性あるまちづくりを進め、近隣自治体と連携しながら広域行政を積極的に推進します。

(2) 高岡市総合計画基本計画(平成19～23年度)の概要

基本計画は、総合計画基本構想(平成19～33年度)に掲げる都市の将来像「水・みどり・人光り輝く躍動のまち高岡」を実現するため、基本構想の5つのまちづくりの目標ごとに、今後5年間(平成19～23年度)の具体的な取り組み(施策・事業)を示している。平成23年度の計画年度完了に伴い、基本計画の進捗状況を踏まえたうえで、市の内外の新しい動き、大きく変化を続ける時代の潮流や複雑・多様化する住民ニーズにも的確に対応し、計画的な行政の運営を図るための指針となる「総合計画第2次基本計画・実施計画」の策定に現在取り組んでいる。

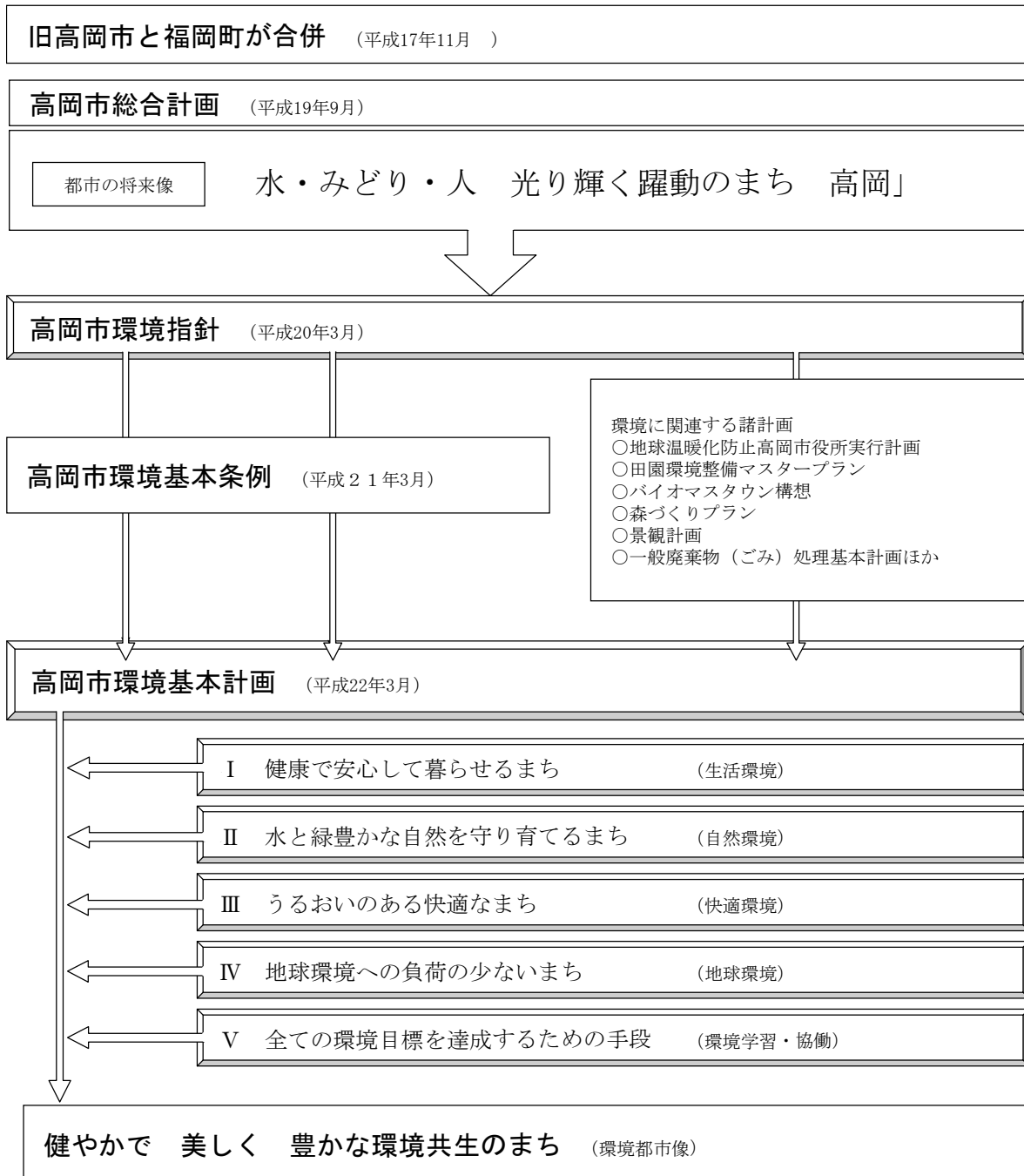
図表2-2 高岡市総合計画基本計画(平成19～23年度)の概要

区分	摘要
土地利用方針	住宅・商業・工業地、農業地、自然的土地利用方針、市街地での土地流動化の促進、幹線道路沿いや市街地近接地域での計画的な土地利用など、具体的な方針を提示
財政の見通し	計画の実効性を確保するため、今後5カ年の財政見通しを試算するとともに、社会経済情勢や市民ニーズをしっかりと把握しながら計画を推進。
リーディングプロジェクト	重点的・先導的に取り組む計画を6つのリーディングプロジェクトとし、関連する施策・事業を、市民と行政との協働で推進。6つのリーディングプロジェクトは、①交流の基盤づくり、②歴史と出会う、③まちなかの活性化、④安全・安心の環境づくり、⑤子どもたちが健やかに育つ、⑥産業の振興と雇用・定住促進。

2 高岡市環境基本計画の概要

「高岡市環境基本計画」は平成22年3月に策定。環境都市像として「健やかで美しく豊かな環境共生のまち」を掲げ、①生活環境、②自然環境、③快適環境、④地球環境、⑤環境学習・協働の5分野の取組の指針等を定めている。

図表2-3 高岡市環境基本計画の地位づけ



資料：高岡市資料を基に作成

3 エコ環境づくりの具体的な取組概要

(1) 生活環境保全の分野

さわやかな大気、清らかな水質や汚染のない土壌など、良好な環境の保全を図るため、下水道の整備などを推進している。

図表 2-4 生活環境保全分野の取組

区分	摘要
生活環境保全	○ 自動車排ガスの排出抑制等のため、エコドライブの普及を県・市・事業者協働で実施している。

(2) 自然環境保全の分野

二上山・西山丘陵などの山、雨晴海岸などの海、庄川・小矢部川などの川、ホテルなど貴重な動植物の保全や、自然観察などを通じた自然との適切なふれあいを促進している。

図表 2-5 自然環境保全分野の取組

区分	摘要
生物多様性の確保など	○ 生物多様性の確保など貴重な自然の保全に向け、関係者が一体となり、自然に配慮した用水路の整備に努めている。21年度 魚道・魚巣ブロック、魚巣・小動物這い上がりスロープ、小動物這い上がりスロープ
森林や農地などの保全	○ 森林や農地などの保全に向け、関係者が一体となり、里山整備事業を実施している。 ○ 市民参加型の森づくり事業を促進している。 ○ 炭焼き体験教室、里山とのふれあい教室、竹炭づくり体験を関係者の協力を得て、実施している。 ○ 里山交流センターを住民主体で運営している。 ○ 農村における景観形成・生活環境保全活動に取り組んでいる。(21年度市内で各団体が農地・水・環境保全活動に取り組んだ。) ○ 環境に配慮した農業の振興や、農業の担い手の育成・確保に努めている。(地元生産農作物販売額約520百万円) ○ たかおか地産地消推進ネットワークが設立され、地産地消の推進に取り組んでいる。 ○ バイオマス・堆肥などを活用した、環境にやさしい農業に取り組む農業者(エコファーマー)が普及しており、環境にやさしい農業の技術向上にも寄与するものと考えられる。 ○ 良質なバイオマスの利活用をさらに進めていくため、畜産関係者やJA等が一体となって、家畜排泄物やもみがらなどから良質の堆肥を製造する施設を整備し、環境にやさしい農業を推進するとともに、地産地消の推進にも努めている。
自然とのふれあいの推進	○ 関係者が一体となり、自然とのふれあいの場の整備や、グリーンツーリズムの推進など、自然とのふれあいの機会の提供に努めている。(グリーンツーリズム参加人数は、計約23,000人) ○ 農業センター学童等体験農園：市民園芸講習会、児童農業体験等の企画を実施し、利用者の増加につながっている。 ○ 農業センターふれあい広場：花苗フェスタ等の祭りの企画により、利用者の増加に繋がっている。 ○ とやま福岡家族旅行村：地元の素材を活かした料理教室など新しい企画に努めている。 ○ 高岡市自然休養村アツパレハウス：グリーンツーリズムの内容充実に努め、そば打ち教室、燻製づくり体験など新たなメニューの開発を行っている。 ○ 栃丘竹の子まつり：人と人とのふれあいと自然体験の醍醐味を満喫することで、中山間地域の活性化に寄与している。 ○ 地域住民の参加による遊歩道の整備：加茂西山丘陵整備・管理協力が協働で遊歩道の整備を行っている。 ○ 自然観察会の実施：二上まなび交流館や、小矢部川に学ぶ会が、関係者の協力のもと、自然観察会を実施している。

(3) 快適環境創造分野

快適環境創造分野は、豊かな緑の想像、水辺空間の創造と活用、美しいまちづくりの3つの方向で推進されている。

図表 2-6 快適環境創造分野の取組

区分	摘要
豊かな緑の創造	<ul style="list-style-type: none"> ○ 身近な緑を活かした美しいまちづくりに市民ぐるみで努めている。 ○ 21年度は、生垣緑化支援、地域緑化推進事業、花壇整備事業等。
水辺空間の創造と活用	<ul style="list-style-type: none"> ○ 水を活かした公園の整備や環境配慮型用水路整備のほか、とやまの名水についての周知に努めている。 ○ ビオトープ千鳥の森が関係者の協力で維持されている。
歴史的文化的資産の保存と活用	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域の歴史文化を活かした快適な環境を形成するため、山町筋重要伝統的建造物群保存地区対策事業を実施。 ○ 住民参加のもと、歴史的な町並みや建造物の保全・活用についての啓発を展開。 ○ 環境を特色とした新しい観光都市づくりに向け、万葉まつりやなべまつりなどのイベントにおける環境配慮のほか、铸物など産業文化など、ものづくりの心にふれる産業観光を関係者の協力のもと実施。
美しいまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ○ 美しいまちづくりを進めるため、美化実践運動、美化重点地区・美化協定の締結、美化ボランティア登録等を促進。 ○ まちを美しくする運動：市内全域で地域住民の参加協力による側溝、下水等の汚泥清掃や散乱ごみの回収等の美化運動を実施するとともに、不法投棄防止のためのパトロールや立看板等の設置、チラシの配布等を行い、美化意識の向上を図り、美しい住みよいまちづくりの実現に努めている。 ○ 川をきれいにする運動：市街地を流れる千保川をはじめ、中小河川、用排水路などを清らかな流れにするために、河川流域のごみ等の投棄防止と清掃活動を推進し、環境美化を維持 ○ 山や公園をきれいにする運動：市の観光地である二上山や各地域の公園の除草、清掃活動を実施し、緑豊かな自然環境ときれいで憩いのある公園を維持。 ○ 雑草をなくする運動：ごみの不法投棄や衛生害虫の発生しやすい雑草の繁茂地等を市内全域にわたって調査するとともに、所有者及び管理者に対して雑草の刈り取り、不法投棄防止等の管理徹底を要請し、市民生活を向上。 ○ 玄関先のボランティア運動：各家庭や事務所の玄関はもとより、道路や周辺の清掃・除草等をお願いし、市民、事業者、行政が一体となって、環境美化に努めている。 ○ 海岸をきれいにする運動：海岸の自然景観を保つとともに、行楽、海水浴客等の美化意識の向上を図るために地域各種団体の協力を得て、海岸に打ち上がるごみや散乱するごみ等を除去し、能登半島国定公園の玄関口としての観光地にふさわしい景観の維持に努めている。 ○ 空き缶ゼロ運動：空き缶等の散乱を防止し、美化意識の向上を図るために市内全域での空き缶回収活動を実施する一方、パトロール活動による啓蒙活動を強化している。また重点路線(国道8、415号)を定め、空き缶の投げ捨て防止等のモラルの向上を呼び掛けている。 ○ 体験キャンペーン：JR高岡駅周辺の路上に付着しているガムの除去活動を実施し、当該地区の環境美化を図るとともに、参加者や通行人の環境美化に対する意識を涵養。 ○ 環境美化重点地区の指定：JR高岡駅周辺や、高岡を代表する観光地・歴史的景観を持つ町並み及び公園等の公共施設を有する中心市街地など、8地区を指定し、美化意識の啓蒙普及を進めている。 ○ 環境美化協定の締結(アダプトプログラム)：定期的・継続的に市民美化活動を実践する公共的団体と環境美化協定を締結し、清掃用具の貸与や、傷害保険の加入、助成金の支給、ごみの回収等の支援を実施。現在40地域

(4) 地球環境保全の分野

地球環境保全分野としては、地球環境問題への対応（低炭素社会づくり）、循環型まちづくりの推進（循環型社会づくり）、歩いて楽しい魅力あるまちづくりなどを推進している。

図表 2-7 地球環境保全分野の取組

区分	摘要
地球環境問題への対応（低炭素社会づくり）	<ul style="list-style-type: none"> ○ CO2 排出削減に向けた取組みを促進。 ○ 住宅用太陽光発電システム普及に向け、導入支援を実施。平成 23 年度まで出力計 2,000kW の目標に向け、順調に推移。 ○ ノーレジ袋などエコなライフスタイルの普及に向け、消費者グループなどによる活発な活動が行われている。 ○ 住民協働で海岸清掃を実施している。 ○ 電気自動車普及に向け、急速充電器を設置し、利用者を支援している。 ○ CO2 吸収源となる森林の整備について、森林所有者や森林ボランティアの協力を得て、整備事業を実施している。 ○ 林業の振興のため、地元の木材の利用に努めている。
循環型まちづくりの推進（循環型社会づくり）	<ul style="list-style-type: none"> ○ 循環型まちづくりの推進のため、省資源・リサイクル対策の推進や、廃棄物適正処理の推進に努めている。 ○ 廃木質や廃食油といった、「バイオマス」を活用した事業などを実施している。 ○ バイオマスを活用するモデル事業では、民間企業で廃木質をチップ化しボイラー等の燃料として安定供給するための施設を整備し、圏域内工場等への供給を図っている。 ○ 廃食油を活用する事業では、民間企業で、学校給食等の廃食油を回収し、バイオディーゼル燃料（BDF）を製造するプラントを整備しました。製造した燃料は、ごみ収集車等の燃料として活用している。19 年度からは、一般家庭等からのわりばしや廃食油の回収拠点を市内に設け、低炭素社会への意識啓発にも努めている。
歩いて楽しい魅力あるまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ○ 歩いて楽しい魅力あるまちづくりを進めるため、中心市街地の活性化、環境に配慮したイベントの実施、自転車の利用促進、快適な公共トイレの充実、公共交通機関の利用促進などに努めている。 ○ 歩いて楽しい魅力あるまちづくりの推進するため、中心市街地の活性化や魅力ある商業空間づくり、路面電車万葉線やコミュニティバスなど地域公共交通機関の利用促進、観光地を周遊するバス事業の推進、環境配慮型の街路灯などの設置等を実施 ○ レンタサイクル、コミュニティサイクルを推進。拠点は JR 高岡駅前（高岡駅内観光案内所）、瑞龍寺前（まちの駅たかおか）、大仏前（坂下小路）、古城公園（三の丸茶屋）、山町筋（おみやげの室崎）、末広町（町衆スタジオ）、御旅屋通（わろんが）、JR 高岡駅南口（ビジネスイン高岡）

(5) 全ての目標を達成するための手段

環境教育・学習、環境経営、消費者教育等の取組が推進されている。

図表 2-8 全ての目標を達成する手段の取組

区分	摘要
全ての目標を達成するための手段	<ul style="list-style-type: none"> ○ 環境教育・環境学習の取組を支援。（こどもエコクラブ活動の支援） ○ 環境経営の取組を支援（市内のエコショップ、エコ事業所） ○ 環境に配慮した消費者教育を充実（消費者グループ連絡会学習会の支援、たかおかエコ活動を進める市民の会の支援）

第3章 福岡町地域の 家庭におけるエコ活動の現状・意識

第3章 福岡町地域の家庭におけるエコ活動の現状・意識

1 調査の概要

福岡町地域の家庭におけるエコ活動の現状・意識等を把握するため、「エコのまちづくりに関する福岡町地域世帯アンケート調査」（アンケート調査）を実施した。調査の概要は下記のとおりとなっている。

図表3-1 調査の概要

区分	摘要
調査対象	平成22年7月末現在、住民基本台帳に登録している福岡町地域の全世帯（悉皆調査）、平成22年7月末現在4,156世帯。
調査項目	(1) 地球環境やエコについての意識・意向 (2) エコ活動に係る取り組みの実態・意向 (3) 福岡町地域のまちづくりに係る意識・意向 (4) 世帯属性 (5) 自由記入回答
調査方法	(1) 配布方法など 福岡町地域自治会連合会を通じ、自治会役員などが市広報紙「市民と市政9月号」の配布と併せて配布、市ホームページ掲載など (2) 回収方法 返信用封筒による郵送（※返送先は福岡総合行政センター 福岡駅前まちづくり推進室） (3) 配布（郵送）物 ・アンケート調査票 ・返信用封筒
実施時期	平成22年8月～9月
回収状況	配布票数4,036票（8月末現在、自治会加入世帯）、回収票数1,183票、有効回収票数1,183票、回収率29.3%（有効回収票ベース）

2 世帯属性

調査では福岡町地域の全世帯を対象とした。調査対象世帯の属性として、①地区、②家族形態、③世帯主の職業、④住宅の種類、⑤居住年数について調査した。

(1) 地区

調査対象世帯（回答世帯）の地区については、「福岡地区」（28.8%）と「山王地区」（25.2%）の2地区が多く、回答世帯の半数以上を占めている。以下、「大滝地区」（16.3%）、「西五位地区」（15.8%）、「五位山地区」（4.9%）、「赤丸地区」（8.9%）となっている。

(2) 家族形態

調査対象世帯（回答世帯）の世帯規模については、1世帯平均が3.7人、最も規模が大きな世帯は10人となっている。全国平均（2.6人）、高岡市平均（2.8人）と比較して、福岡町地域は平均世帯規模が大きくなっている。

世帯規模別にみると、「5人以上世帯」（29.6%）が最も多く、以下、「3人世帯」（23.1%）、「2人

世帯」(22.7%)、「4人世帯」(20.6%)が続く。「1人世帯」(3.9%)の割合は低くなっている。家族形態については、「二世帯(夫婦と子ども、親と夫婦など)」(42.4%)が最も多く、以下、「三世帯(親と夫婦と子どもなど)」(25.0%)、「夫婦のみ」(20.8%)、「一人暮らし」(6.6%)となっている。

(3) 世帯主の職業

世帯主の主たる職業については、仕事をしている人が69.0%、仕事をしていない人が28.3%となっている。仕事をしている人では、「会社員・公務員」(46.8%)が最も多く、以下、「自営業」(10.2%)、「農林漁業」(8.2%)、「パート・アルバイト」(3.8%)となっている。仕事をしていない人では「無職(専業の主婦・主夫を除く)」が22.6%、「主婦・主夫」が5.7%となっている。

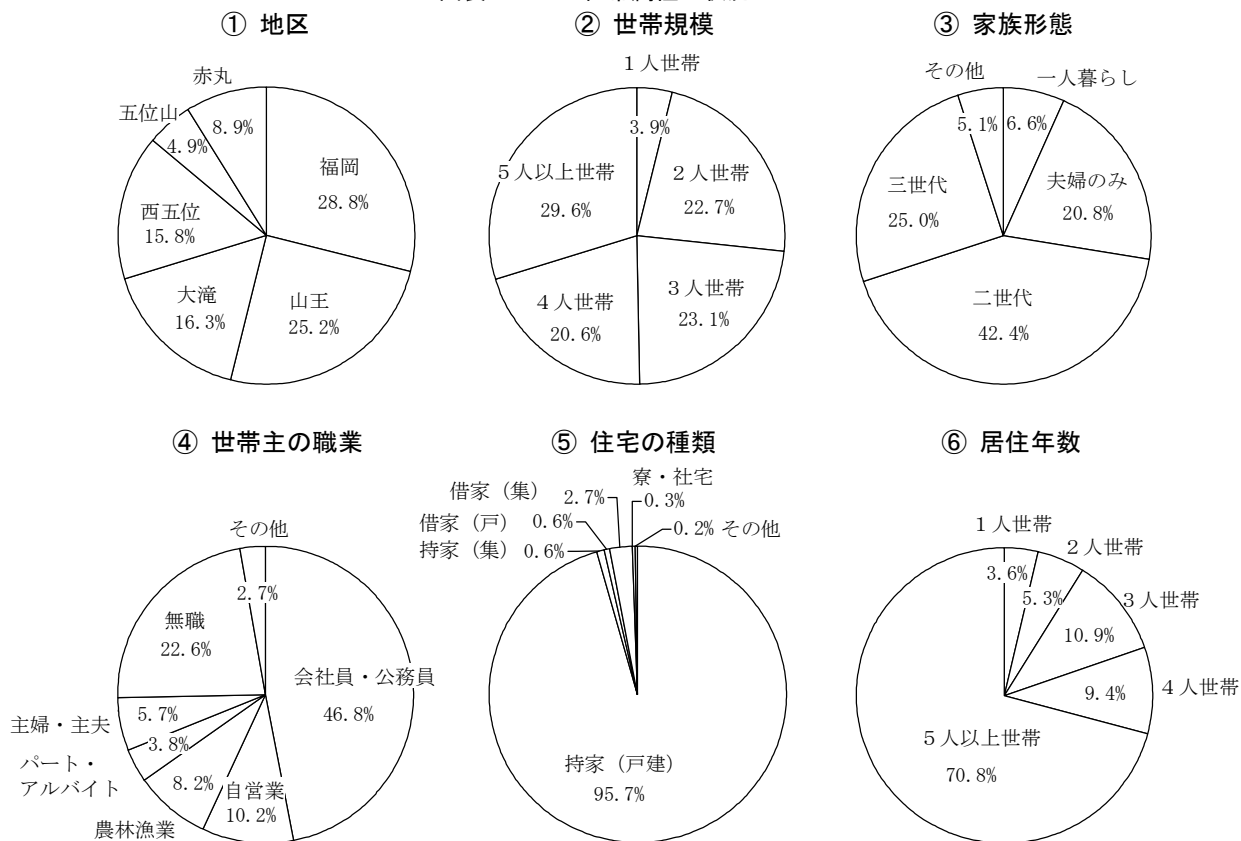
(4) 住宅の種類

調査対象世帯の住宅の種類については、「持ち家(一戸建)」(95.7%)が最も多く、以下、「借家(集合住宅)」(2.7%)、「持ち家(集合住宅)」(0.6%)、「借家(一戸建)」(0.6%)が続く。

(5) 居住年数

福岡町地域の居住年数については、「31年以上」(70.8%)が最も多く、以下、「11～20年」(10.9%)、「21～30年」(9.4%)が続く。

図表3-2 世帯属性の状況



3 日常生活におけるエコ活動

エコ活動はさまざまな取り組みがみられるが、地域住民が積極的に取り組み、そして一定の効果をあげるためには、エコ活動事態が日常生活と密接に結びついている必要がある。こうした点に鑑み、「高岡市環境基本計画」では、市民誰もが取り組むことができる環境活動を“環境配慮指針”として掲げている。調査では、環境配慮指針として掲げられた項目のなかで、市民のエコ活動に密接な 24 の取組をとりあげて調査した。

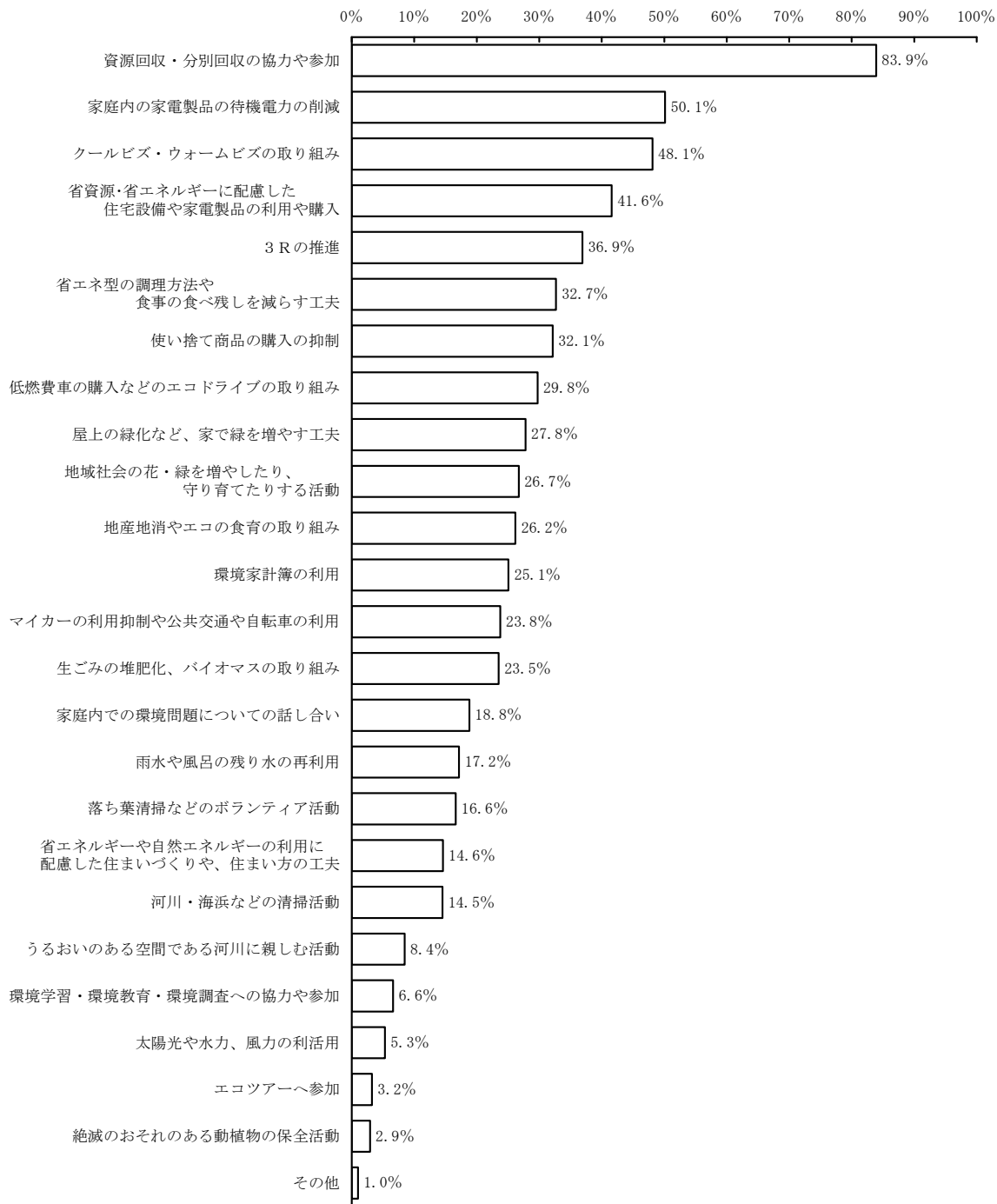
(1) エコ活動として取り組んでいるもの

回答者の 92.1%が何らかのエコ活動に取り組んでいると回答。平均すると 1 世帯当たり 6.7 種のエコ活動に取り組んでいる。最も多くの世帯で取り組まれているものは、「資源回収・分別回収の協力や参加」(83.9%)。以下、「家庭内の家電製品の待機電力の削減」(50.1%)、「クールビズ・ウォームビズ(日本の季節・気候に合わせた衣服の軽装化)の取り組み」(48.1%)、「省資源・省エネルギーに配慮した住宅設備や家電製品の利用や購入」(41.6%)が続く。図表 3-3

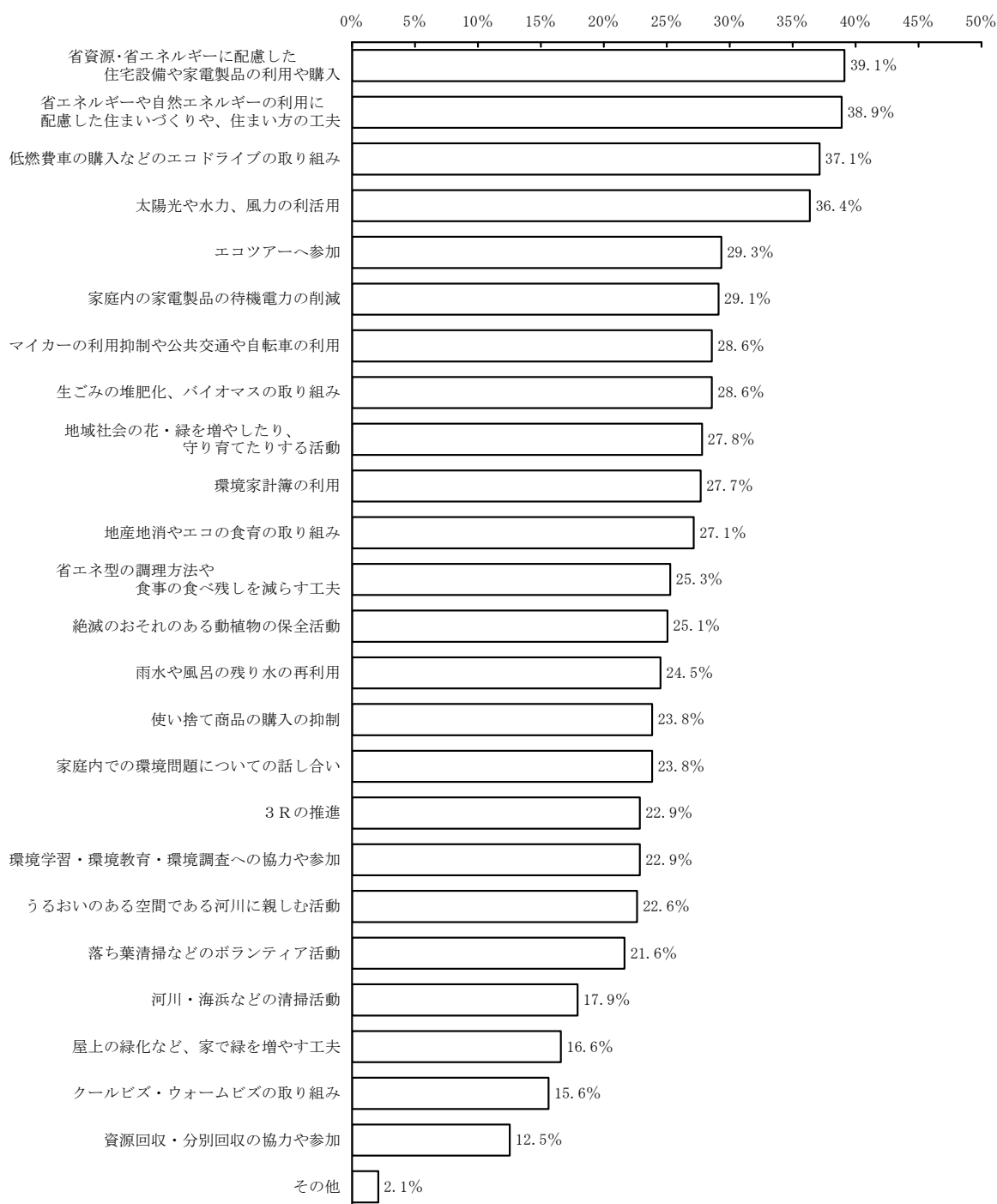
(2) エコ活動として今後取り組みたいもの

エコ活動として今後取り組みたいものについては、「省資源・省エネルギーに配慮した住宅設備や家電製品の利用や購入」(39.1%)が最も多く、以下、「省エネルギーや自然エネルギーの利用に配慮した住まいづくりや、住まい方の工夫」(38.9%)、「低燃費車の購入などのエコドライブの取り組み(アイドリングストップなど環境にやさしい自動車などの運転)」(37.1%)、「太陽光や水力、風力の利活用」(36.4%)が続く。図表 3-4

図表 3-3 エコ活動として取り組んでいるもの（複数回答結果）



図表3-4 エコ活動として今後取り組みたいもの（複数回答結果）

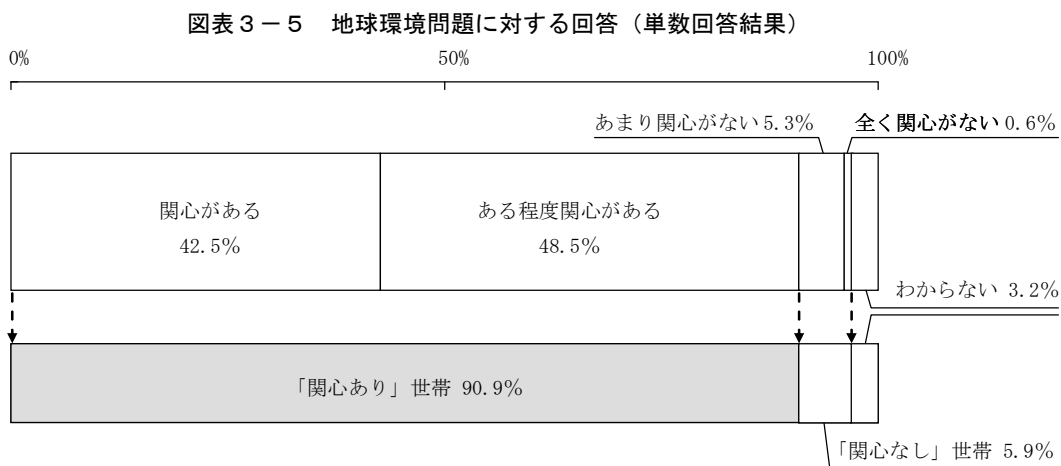


4 地球環境やエコに対する考え方

近年、地球温暖化などの地球環境に対する社会的関心は大きくなってきている。福岡町地域でも自治会活動における取り組み、NPOなどのまちづくり組織による活動など、多くの活動が展開されてきている。調査では、地球環境やエコに対する考え方として、①地球環境問題に対する関心、②地球環境の変化の内容、③地球環境の変化と生活スタイルの関係、④エコに配慮した生活スタイルの取組、⑤家庭でのエコの取組、⑥エコについての問題点・課題について調査した。

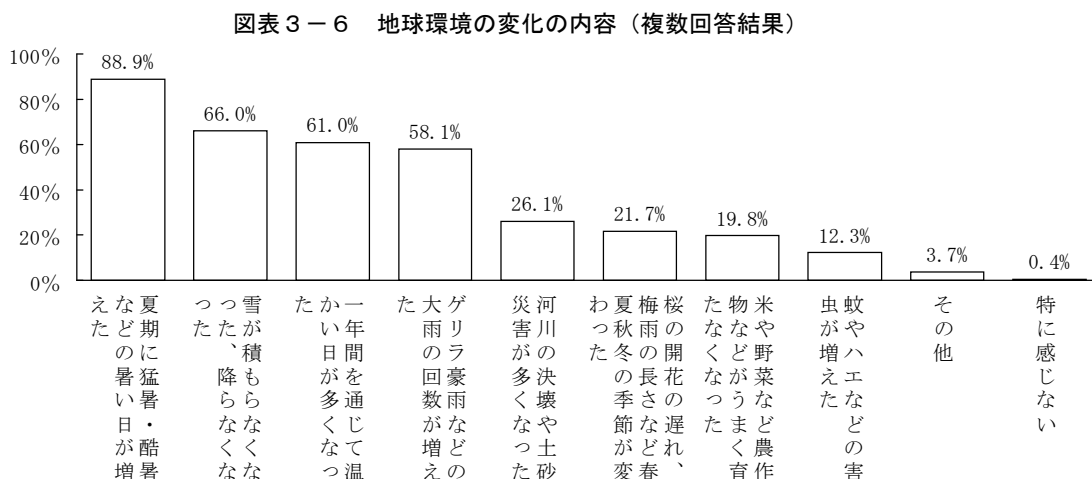
(1) 地球環境問題に対する関心

何らかの関心を有する世帯が90.9%（「関心がある」(42.5%)と「ある程度関心がある」(48.5%)の計)、関心がない世帯が5.9%（「あまり関心がない」(5.3%)、と「全く関心がない」(0.6%)の計）となっている。



(2) 地球環境の変化の内容

「夏期に猛暑・酷暑などの暑い日が増えた」(88.9%)が最も高く、以下、「雪が積もらなくなった、降らなくなった」(66.0%)、「一年間を通じて温かい日が多くなった」(61.0%)、「ゲリラ豪雨などの大雨の回数が増えた」(58.1%)となっている。

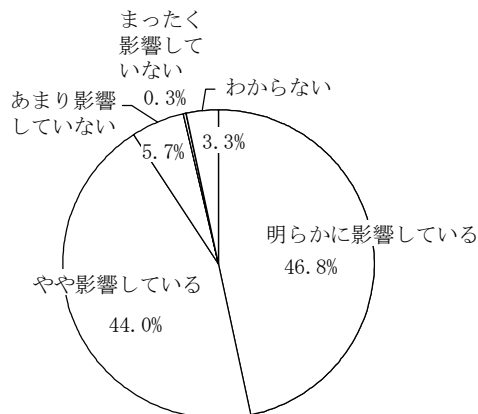


(3) 地球環境の変化と生活スタイルの関係

地球環境の変化と人間の生活スタイルの関係については、「明らかに影響している」が46.8%、「やや影響している」が44.0%となっており、何らかの影響があると考える世帯が90.7%を占めている。

反対に、「あまり影響していない」は5.7%、「まったく影響していない」0.3%となっており、影響がないと考える世帯は5.9%を占めている。

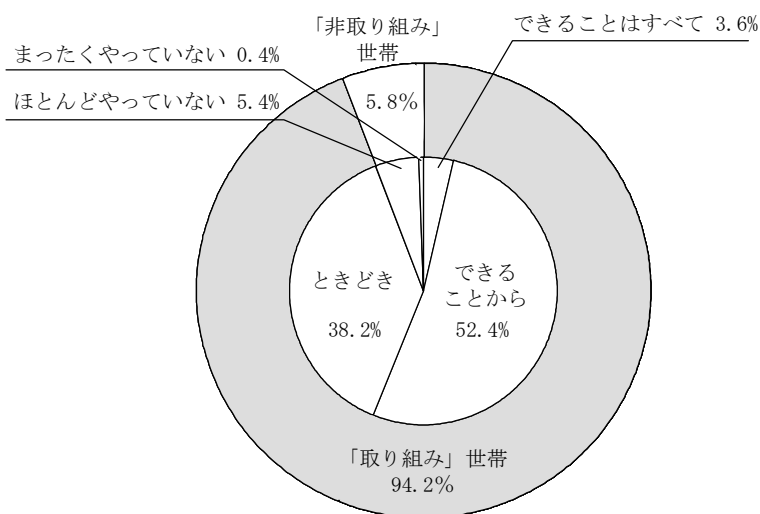
図表3-7 生活スタイルの関係（単数回答結果）



(4) 日常生活におけるエコ活動の取組

何らかの取り組みを既に行っている世帯は94.2%。このうち、「生活のさまざまな面に可能なかぎり取り入れ、できることはすべてやっている」世帯は3.6%、「生活の一部に取り入れ、できることからやっている」世帯は52.4%、「気がついた時にときどきやっている」世帯は38.2%。

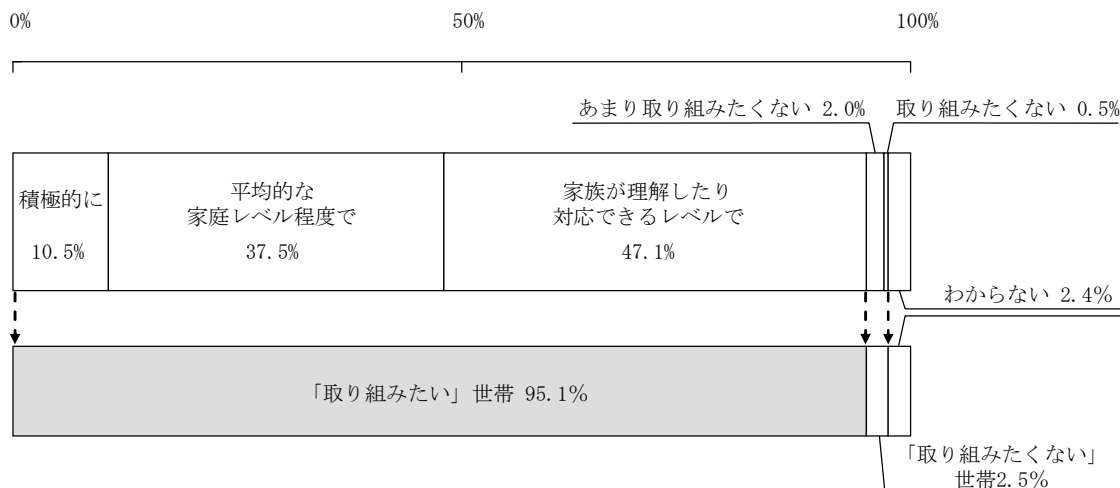
図表3-8 現在のエコ活動の取組（単数回答）



(5) 今後のエコ活動の取組

今後の意向については、取り組みたい世帯が95.1%で、「家族が理解したり、対応できるレベルで取り組みたい」(47.1%)が最も多く、以下、「平均的な家庭レベル程度に取り組みたい」(37.5%)、「積極的に取り組みたい」(10.5%)となっている。取り組みたくない世帯が2.5%。

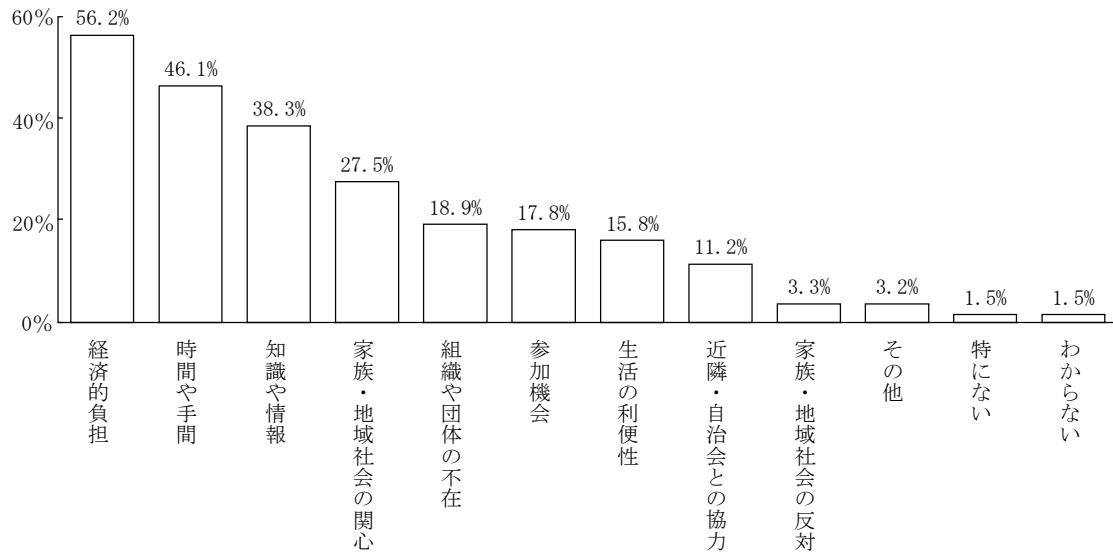
図表3-9 エコ活動に対する取組の意向（単数回答結果）



(6) エコの取組についての課題

エコ活動に取り組む上での課題については、「新たな家電製品を購入したりなど、余計な出費や経済的負担が伴う」(56.2%)が最も多く、以下、「家事や仕事で忙しいため、時間や手間がかかるものは取り組みにくい」(46.1%)、「環境やエコについての知識や情報が不足している」(38.3%)が続く。

図表 3-10 エコ活動に取り組む上での課題（複数回答結果）

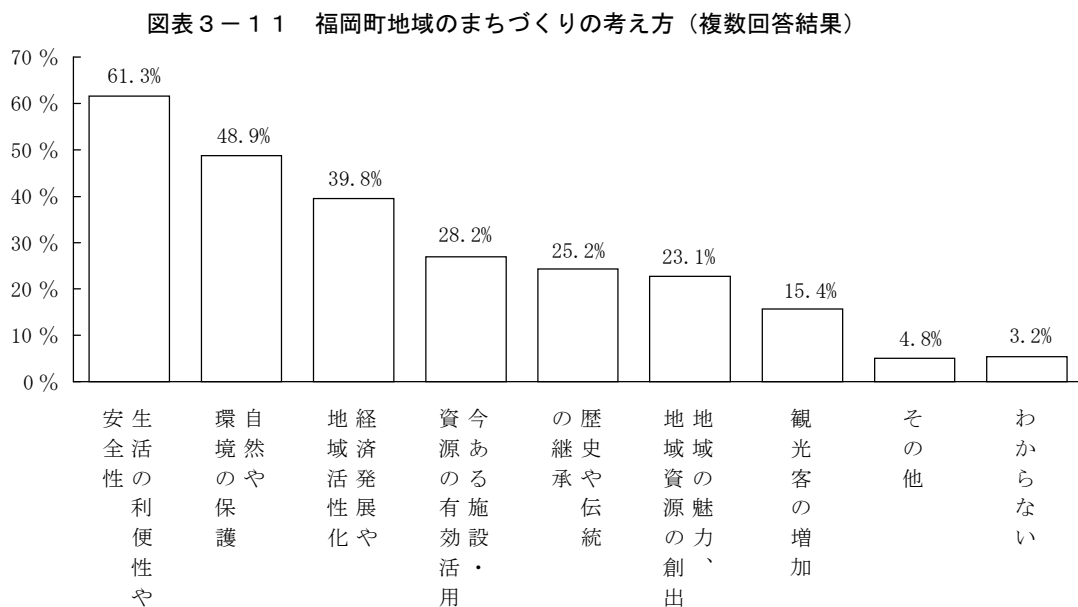


5 福岡町地域のまちづくりに係る意識・意向

福岡町地域は、総人口約 1.4 万、面積 58.76km²。地域の約 3 割が平野部、約 7 割が山間部で形成され、住宅地域、工業地域、農村地域、山間地域など多様な性格の有り、地域固有の有形・無形の豊富な地域資源を有している。こうした地域資源などを活用し、旧福岡町時代から今日まで、独自のまちづくりを展開してきたが、近年は少子高齢化、特に山間部での急速な高齢世帯の増加、中心市街地の活性化などの課題を有している。調査では、今後の福岡町地域のまちづくりについて、①まちづくりの考え方、②「環境モデル地区」の考え方、③「環境モデル地区」への参加・協力、④参加・協力したい活動、⑤参加・協力できない理由、⑥地域資源の評価と活用、⑦「エコの町づくり」についてアイデア・意見、⑧「エコの町づくり」の将来像について把握した。

(1) まちづくりの考え方

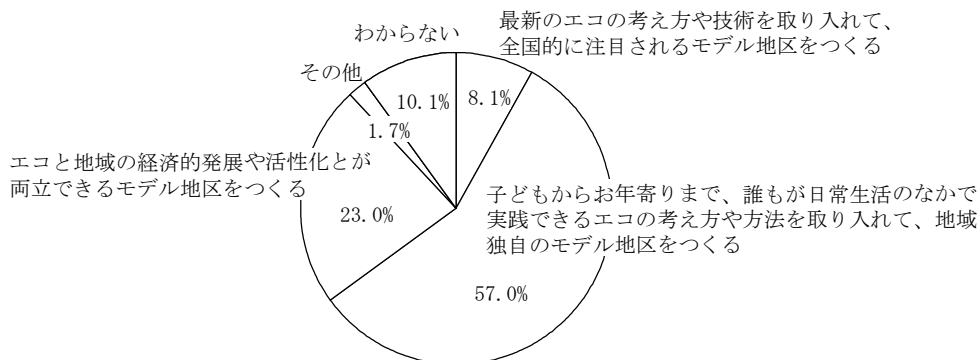
福岡町地域の今後のまちづくりの考え方については、「地区住民の生活の利便性や安全性を重視した取り組み」(61.3%) が最も多く、以下、「福岡町地域の自然や環境を保護する取り組み」(48.9%)、「福岡町地域の経済発展や地域活性化に結びつく取り組み」(39.8%) が続く。



(2) 「環境モデル地区」の考え方

福岡町地域で取り組む環境モデル地区の考え方については、「子どもからお年寄りまで、誰もが日常生活のなかで実践できるエコの考え方や方法を取り入れて、地域独自のモデル地区をつくる」(57.0%)が最も多く、以下、「エコと、地域の経済的発展や活性化とが両立できるモデル地区をつくる」(23.0%)、「最新のエコの考え方や技術を取り入れて、全国的に注目されるモデル地区をつくる」(8.1%)が続く。

図表 3-12 環境モデル地区の考え方



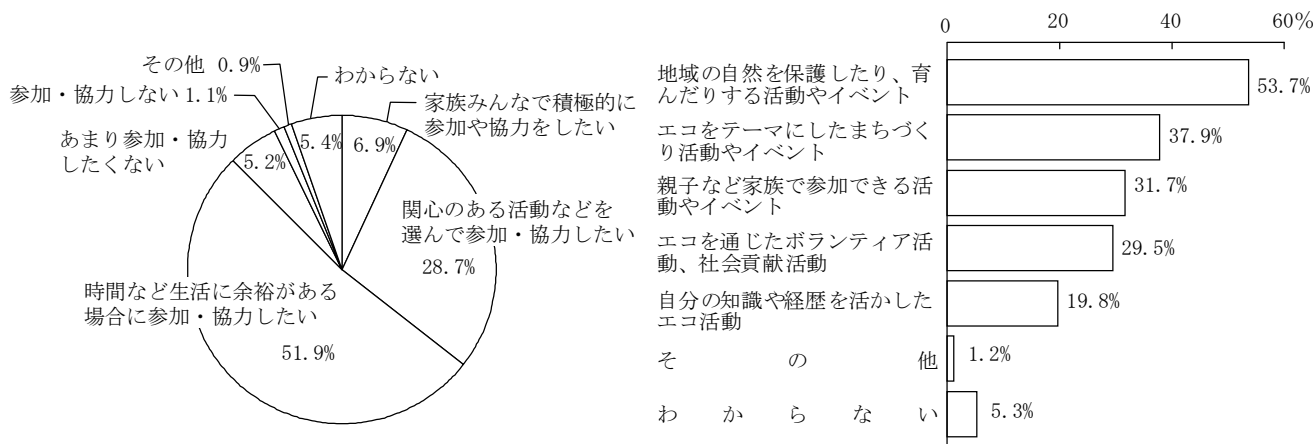
(3) 「環境モデル地区」への参加・協力

環境モデル地区の形成に係る活動や取り組みへの参加・協力については、参加・協力したい世帯は87.5%、参加・協力したくない世帯は6.3%となっている。

参加・協力したい世帯については、「時間など生活に余裕がある場合に参加・協力したい」(51.9%)が最も多く、以下、「関心のある活動などを選んで参加・協力したい」(28.7%)、「家族みんなで積極的に参加や協力をしたい」(6.9%)が続く。

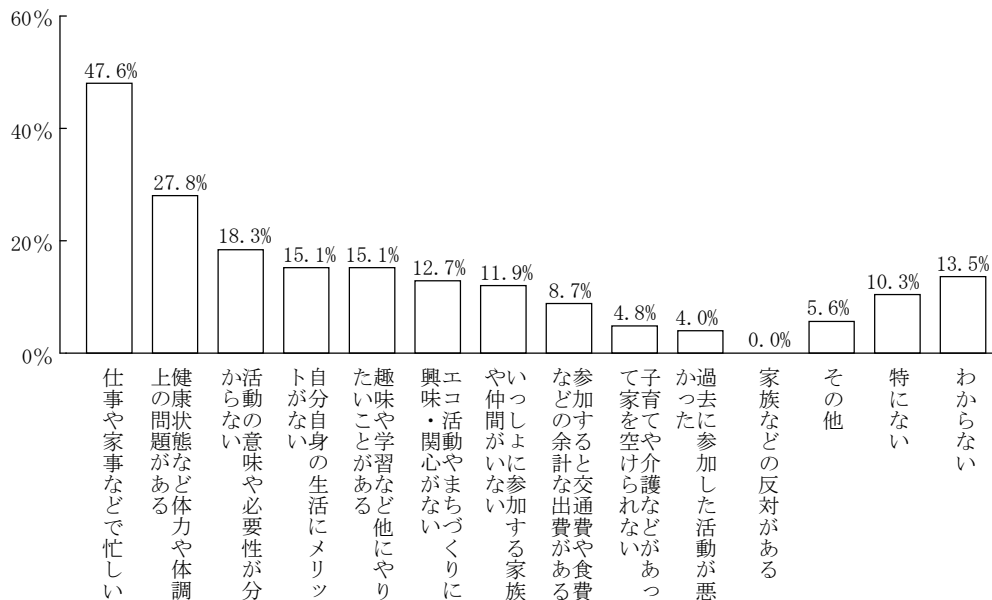
参加・協力の意向のある世帯(87.5%)が、実施してみたい活動については、「地域の自然を保護したり、育んだりする活動やイベント」(53.7%)が最も多く、以下、「エコをテーマにしたまちづくり活動やイベント」(37.9%)、「親子など家族で参加できる活動やイベント」(31.7%)が続く。

図表 3-13 環境モデル地区をつくるためのエコ活動への参加意向及び参加したい活動



反対に、参加・協力したくない世帯（6.3%）が、参加・協力したくない理由については、「仕事や家事などで忙しい」（47.6%）が最も多く、以下、「健康状態など体力や体調上の問題がある」（27.8%）、「活動の意味や必要性が分からない」（18.3%）が続く。

図表3-14 環境モデル地区をつくるためのエコ活動への参加する上での課題



(4) 地域資源の評価と活用

福岡町地域は、さまざまな独自の地域資源を有している。こうした地域資源をまちづくりやエコ活動のなかで活用していくことが極めて重要である。そこで、福岡町地域の主要な30の資源をとりあげ、活用面におけるこれまでの満足度と今後の重要度についてそれぞれ調査した。

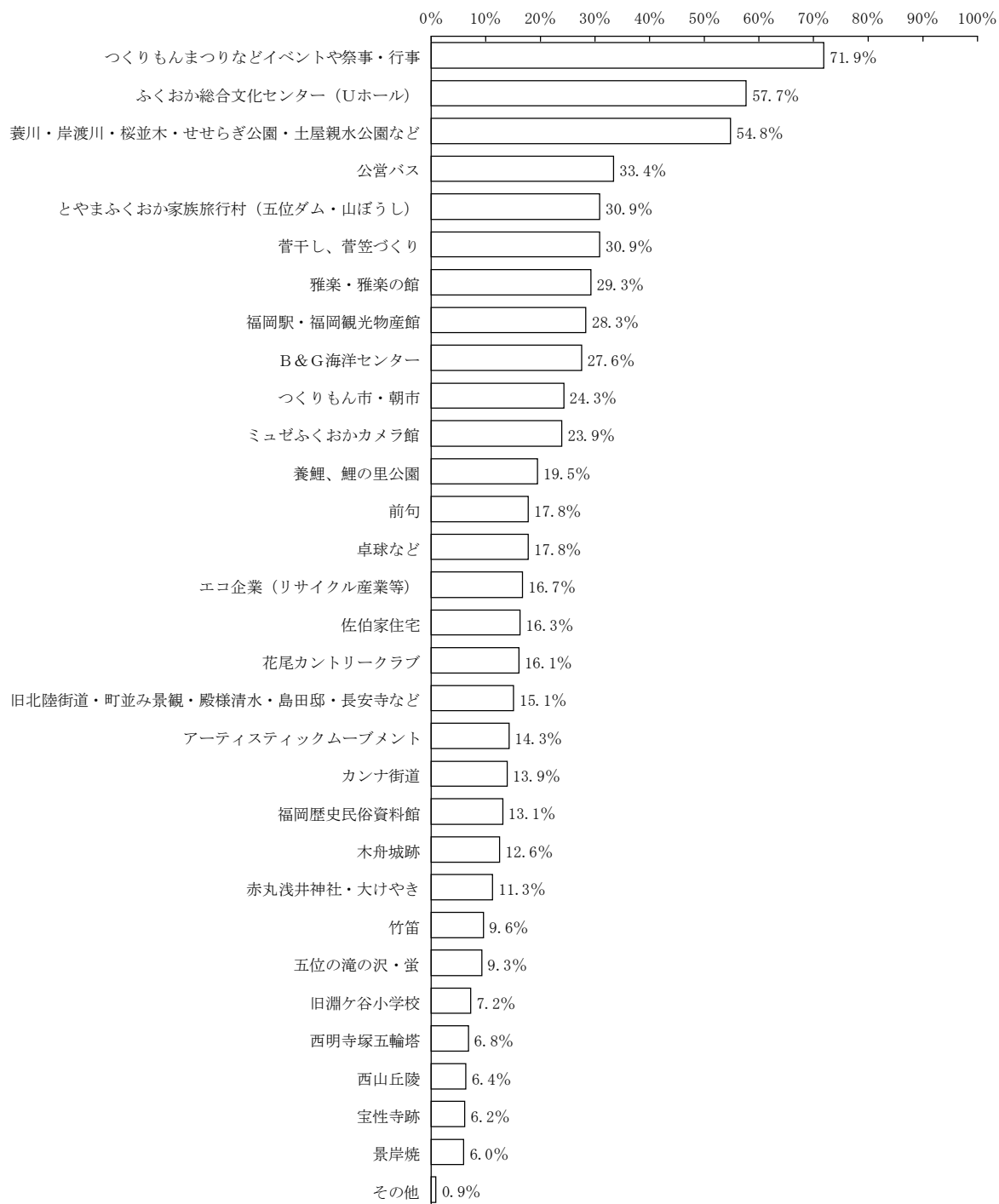
ア 満足度

まちづくりなどにおける地域資源の活用面での満足度については、「つくりもんまつりなどイベントや祭事・行事」（71.9%）が最も高く、以下、「ふくおか総合文化センター（Uホール）」（57.7%）、「蓑川・岸渡川・桜並木・せせらぎ公園・土屋親水公園など」（54.8%）が続く。図表3-15

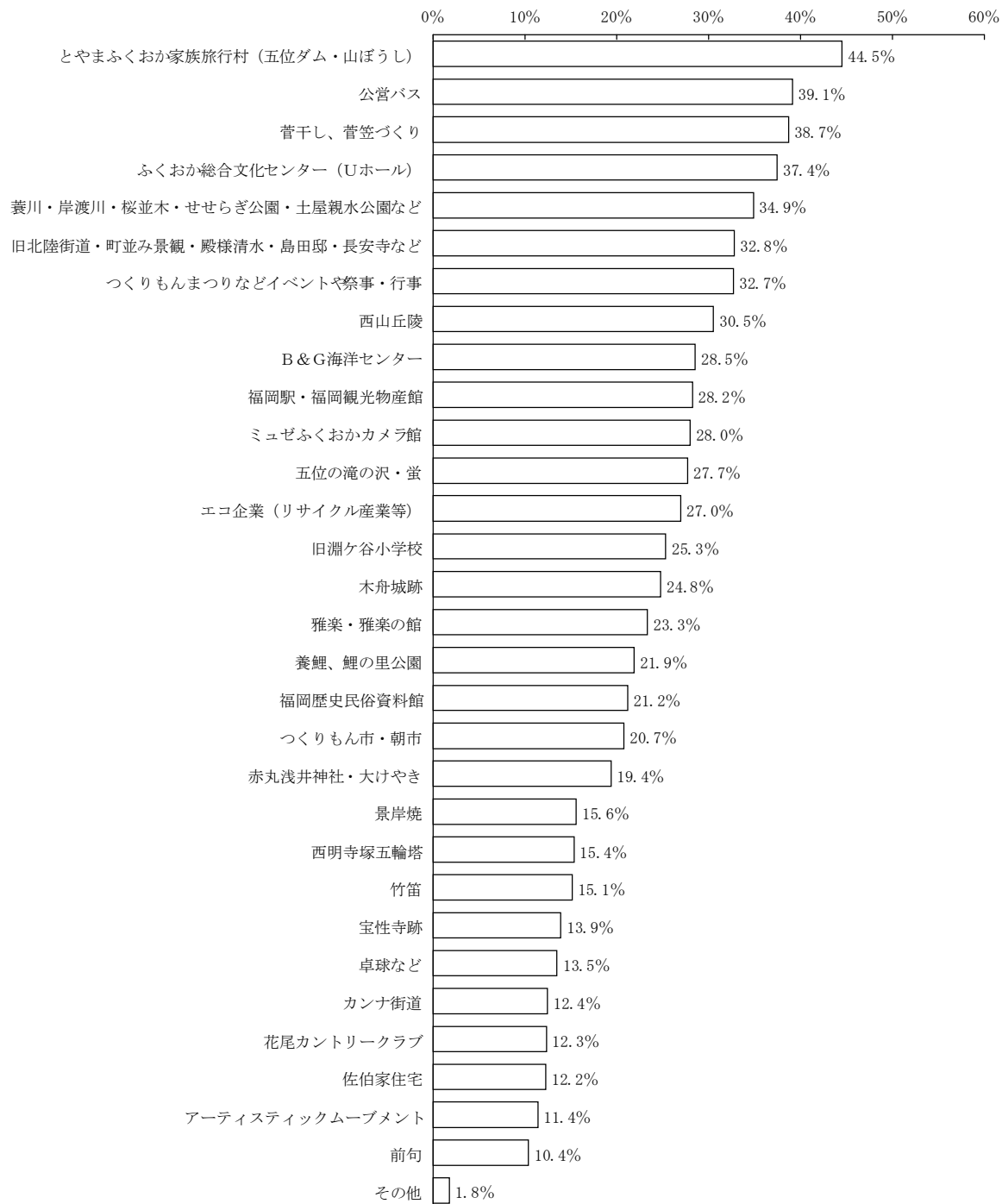
イ 重要度

今後の地域資源の活用面での重要度については、「とやまふくおか家族旅行村（五位ダム・山ぼうし）」（44.5%）が最も高く、以下、「公営バス」（39.1%）、「菅干し、菅笠づくり」（38.7%）、「ふくおか総合文化センター（Uホール）」（37.4%）が続く。図表3-16

図表3-15 地域資源の評価と活用 —満足度— (複数回答結果)



図表3-16 地域資源の評価と活用 —重要度— (複数回答結果)



第4章 福岡町地域における 各種団体のエコ活動の現状・意識

第4章 福岡町地域における各種団体のエコ活動の現状・意識

1 自治会アンケート調査

(1) 調査の概要

持続可能で活力ある「環境共生のまち高岡」の実現を目指すため、基礎的コミュニティである自治会におけるエコ活動の取組や今後の取組意向などを把握することを目的にアンケート調査を実施した。調査の概要は下記のとおりとなっている。

図表4-1 調査の概要（アンケート調査）

区分	摘要
調査対象	平成22年8月末現在、福岡町地域自治会連合会に所属する単位自治会53団体の代表等の役員。
調査項目	(1) 自治会の概要 (2) 自治会活動におけるエコの取組 (3) 福岡町地域のまちづくりに係る意向 (4) 自由記入回答
調査方法	(1) 配布方法：福岡町地域自治会連合会を通じ、単位自治会役員（代表等）に配布 (2) 回収方法：返信用封筒による郵送（※返送先は福岡総合行政センター 福岡駅前まちづくり推進室） (3) 配布（郵送）物：アンケート調査票、返信用封筒、エコのまちづくり案内資料チラシ
実施時期	平成22年10月
回収状況	配布票数53票、回収票数50票（団体）、回収率94.3%

(2) 自治会のエコ活動

ア 自治会組織の状況

① 世帯数・班数・組織（加入）率

加入世帯数は、矢部自治会の280世帯から、花尾自治会の14世帯までとなっており、1団体当たりの平均世帯数は76.6世帯となっている。班数は、上叢自治会（17班）が最も多く、清水町自治会が最も少なくなっており、1団体当たりの平均班数は6班となっている。組織（加入）率は不明を除きすべての団体で90%以上となっており、このうち100%の団体が40団体を占めている。

図表4-2 団体数・班数・組織（加入）率の状況

(自治会回答)

No	団体名	世帯数	組(班)数	組織率(%)	No	団体名	世帯数	組(班)数	組織率(%)
1	表元町自治会	54	4	90	26	開群自治会	35	4	100
2	西町自治会	34	3	100	27	木舟自治会	102	7	100
3	堀川町自治会	51	3	100	28	大滝自治会	254	16	100
4	中央通自治会	50	3	98	29	本領自治会	153	12	100
5	中町自治会	26	3	100	30	荒屋敷自治会	114	9	100
6	清水町自治会	17	1	100	31	上野自治会	31	3	100
7	桜木町自治会	26	5	100	32	上向田自治会	54	5	100
8	大蔵町自治会	38	2	100	33	下向田自治会	43	4	100
9	早稲田町自治会	45	3	100	34	土屋自治会	152	13	100
10	西千場自治会	120	9	93	35	鳥倉自治会	28	3	100
11	旭町自治会	66	4	-	36	加茂自治会	37	6	100
12	新栄町自治会	47	4	-	37	馬場自治会	23	5	100
13	末広町自治会	56	6	-	38	西自治会	(19)	(2)	-
14	中島町自治会	36	4	100	39	三日市自治会	158	11	100
15	下叢町自治会	73	6	100	40	西明寺自治会	39	4	100
16	大野自治会	62	5	100	41	栃丘自治会	21	3	100
17	大野新自治会	72	5	93.5	42	小野自治会	44	3	100
18	下老子自治会	243	7	100	43	五位自治会	34	8	100
19	一步二歩自治会	202	13	100	44	沢川自治会	42	5	100
20	西川原島自治会	51	6	100	45	向野自治会	90	7	100
21	小伊勢領自治会	75	8	-	46	川原自治会	149	9	100
22	江尻自治会	54	4	100	47	古村自治会	62	5	100
23	上叢自治会	212	17	100	48	鞍馬寺自治会	32	4	100
24	叢島自治会	25	3	-	49	舞谷自治会	27	5	100
25	矢部自治会	280	12	100	50	花尾自治会	14	2	100

※()内の数字は市で記入

② エコ担当組織・担当者など

エコ担当組織・担当者を設置している自治会数は、以下の通り。

図表4-3 エコ担当の組織・担当者の状況

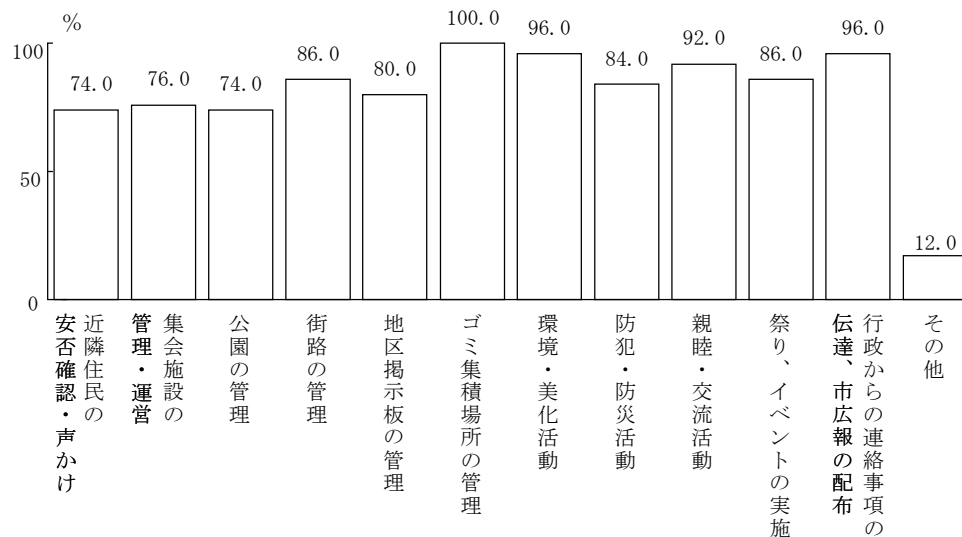
No	団体名	エコ担当組織・担当者
1	表元町自治会	環境：防犯、美化
2	西町自治会	環境厚生部長
3	堀川町自治会	保健衛生
4	中央通自治会	自治会長が保健委員、衛生委員を兼務
5	中町自治会	美化推進委員
6	清水町自治会	会長、副会長
7	桜木町自治会	廃棄物減量等推進員および美しい町づくり推進員、地域福祉活動員、環境美化推進員、交通指導員
8	大蔵町自治会	役員8名全員が、当番制で、資源の分別回収、ゴミ回集場所の清掃・管理に当たっている。
9	早稲田町自治会	保健衛生委員、美化推進委員
10	西干場自治会	美化推進委員
11	旭町自治会	環境保健部長
12	新栄町自治会	担当役員、会長・副会長
13	末広町自治会	廃棄物減量
14	中島町自治会	美化推進委員、保健衛生部長
15	下蓑町自治会	美しい町作り部会
16	大野自治会	廃棄物減量推進委員、美しいまちづくり推進委員
17	大野新自治会	会長、副会長
18	一步二歩自治会	衛生委員
19	小伊勢領自治会	全体役員会
20	江尻自治会	保健衛生委員
21	上蓑自治会	廃棄物減量推進員 グリーンキーパー
22	蓑島自治会	自治会長
23	矢部自治会	自治会執行役員、環境部会長
24	開穂自治会	農村環境保全向上協議会
25	木舟自治会	自治会員全員
26	本領自治会	環境保全隊（隊長）、耕栄会（会長）
27	荒屋敷自治会	役員会
28	上野自治会	中山間地域活動
29	上向田自治会	環境を守る会
30	下向田自治会	資源保全向上活動協議会、下向田里山を守る会
31	土屋自治会	花と水土里の郷土屋クラブ、環境整備委員会
32	馬場自治会	吉岡農園、馬場集落資源保全組合
33	三日市自治会	福祉・環境・保健委員会
34	西明寺自治会	環境委員会（委員長、委員4名）、里山改善委員会（＝県の緑の森再生整備事業）会長、副会長、相談役、委員（地権者全員含め全自治会員）
35	五位自治会	環境パトロール、グリーンキーパー、廃棄物原料等推進員及び美しいまちづくり推進員
36	鞍馬寺自治会	鞍馬寺環境保全会代表、副代表、総務担当、会計、事業推進員、衛生委員、環境美化推進員、環境パトロール員、森林組合総代、「山」の管理者等
37	舞谷自治会	広範囲に考えて全体で担当している
38	古村自治会	エコ担当

イ 自治会活動におけるエコの取組

① 主たる自治会活動

自治会の主たる活動は、「ゴミ集積場所の管理（ゴミ分別、不法投棄監視）」（100%）と最も多く、「環境・美化活動（江ざらい、一斉清掃、リサイクル・廃品回収活動）」（96.0%）、「行政からの連絡事項の伝達、市広報の配布」（96.0%）、「親睦・交流活動（旅行、敬老会等）」（92.0%）が続く。

図表 4-4 主たる自治会活動（MA）



② 主要な年間行事

各自治会の主要な年間行事についてみると、役員会、総会のほか、各地域の課題や特性に応じたさまざまな地域活動が展開されている。このうち、河川・堤防の江浚い・草刈、地域美化（公園清掃、道路清掃等）等の環境系の活動も含まれている。

図表 4-5 主要な年間行事の状況（FA）

No	団体名	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
1	表元町自治会	<ul style="list-style-type: none"> ○ 観桜会、神明宮境内清掃 ○ 福岡地域公民館体育振興会総会 ○ 岸渡川堤防草刈、福岡地区防犯組合総会 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 夏の交通安全運動、福岡くらしっく街道の役員会 ○ 町内のレクリエーション(グラウンド、ゴルフ) ○ つくりもんまつり作品制作、神明宮境内清掃 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 福岡地区敬老会開催 ○ 福岡地区除排雪促進合同部会開催 ○ 福岡くらしっく街道の役員会 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 左義長実施、自治会総会 ○ 寺子屋サロン活動報告 ○ 福岡地域自治会長会議
2	西町自治会	<ul style="list-style-type: none"> ○ 花見、神明宮境内清掃 ○ 春の全国交通安全運動街頭指導 ○ 岸渡川堤防草刈り、神明宮境内清掃 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 福岡地区清掃美化運動 ○ 福岡地区体育祭 ○ 神明宮の清掃、秋の全国交通安全運動指導、つくりもんまつり 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 秋の親睦会 ○ 福岡地区敬老会 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 定期総会、新年会、左義長

No	団体名	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
3	堀川町自治会	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「春の交通安全運動」街頭指導、岸渡川花見会 ○ 自治会対抗ソフトボール大会参加 ○ 岸渡川堤草刈り 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「夏の交通安全県民運動」街頭指導、町清掃美化運動参加、自治会対抗ソフトボール大会参加 ○ 高岡市総合防災訓練参加、福岡地区体育祭参加 ○ つくりもんまつり、つくりもん出展、「秋の全国交通安全県民運動」参加 	<ul style="list-style-type: none"> ○ めだか会 ○ 「年末交通安全県民運動」街頭指導 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新年会・総会 ○ 婦人部新年会
4	中央通自治会	<ul style="list-style-type: none"> ○ 春の交通安全運動(街頭指導)、岸渡川周辺環境美化活動 ○ 懇親会(花見) ○ 岸渡川草刈 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 福岡駅前地区清掃美化活動 ○ 神明宮清掃、福岡地区体育祭 ○ 福岡町つくりもんまつり、秋の交通安全運動(街頭指導) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 福岡地区敬老会実行委員会。懇親会(つくりもん慰労会) ○ 福岡地区敬老会 ○ 懇親会(各班単位) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 総会、左義長 ○ 神明宮清掃
5	中町自治会	<ul style="list-style-type: none"> ○ 春季祭礼、美化運動、役員会 ○ 自主防災組織、防災訓練 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 役員会 ○ 秋季祭礼、美化活動、つくりもんまつり 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 秋季レクリエーション(小旅行) ○ 役員会 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新年総会 ○ 麻雀大会
6	清水町自治会	<ul style="list-style-type: none"> ○ 殿様清水小公園清掃、町内役員会、春の交通安全運動街頭指導、町内春の研修会 ○ 福岡八幡宮清掃 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 粗大ごみ集積、福岡地域清掃美化運動 ○ 町内役員会、清水町孟盆会(地藏尊)、福岡地区体育祭 ○ 福岡地区わがまち防災訓練、福岡八幡宮清掃、町内役員会、殿様清水小公園清掃、秋の交通安全運動街頭指導、つくりもんまつり協力(1年おき) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 殿様清水小公園清掃 ○ 町内役員会 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 総会、役員会、新年会 ○ 町内役員会、町内親睦麻雀大会
7	桜木町自治会	<ul style="list-style-type: none"> ○ 花見の会、春の交通安全運動 ○ ソフトボール大会 ○ 岸渡川堤草刈り・清掃、葉まき、八幡宮境内草むしり 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 駅前美化清掃 ○ 納涼祭、運動会、リバーサイドフェスタ、ラジオ体操 ○ 秋の交通安全運動、歩こう会、八幡宮境内草むしり、巡回補導 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自治会研修会(秋の旅行) ○ 年末交通安全運動 ○ 歩こう会、敬老会 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新年会(総会)、出初式、左義長
8	大蔵町自治会	<ul style="list-style-type: none"> ○ 廃品回収 ○ 交通安全運動協力 ○ レクリエーション 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 廃品回収、側溝清掃 ○ 地藏法要・防災訓練 ○ 除草(八幡宮・児童公園)、交通安全運動協力 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 交通安全運動協力 ○ 廃品回収、町内清掃 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 総会、新年会
9	早稲田町自治会	<ul style="list-style-type: none"> ○ 町内清掃、観桜会 ○ 公園清掃 ○ 岸渡川・蓑川堤防草刈り、八幡宮清掃 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 公園清掃 ○ 納涼祭、公園清掃 ○ つくりもんまつり出品、早稲田お休み処運営 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 八幡宮清掃 ○ 慰安会 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 総会・新年会
10	西千場自治会	<ul style="list-style-type: none"> ○ 町内美化 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 納涼祭 		
11	旭町自治会	<ul style="list-style-type: none"> ○ 観桜会 ○ 資源回収 ○ 環境整備(蓑川の草刈り、壺園周辺清掃、町内清掃) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 研修会 ○ 体育祭 ○ つくりもん 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 環境整備 ○ 資源回収 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 定期総会 ○ 資源回収

No	団体名	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
12	新栄町自治会	<ul style="list-style-type: none"> ○ 春の交通安全運動に参加 ○ 道路愛護・ゴミ入れ箱(カゴ)の清掃、塗装 	<ul style="list-style-type: none"> ○ レクリエーションの実施(定期)6月下旬～ ○ 秋の交通安全運動に参加、「つくりもんまつり」に協力 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 役員会 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 総会 ○ 役員会
13	末広町自治会	<ul style="list-style-type: none"> ○ 交通安全運動、花見 ○ レクリエーション(ハイキング等) ○ 朝間ソフトボール参加、河川清掃、公園清掃、江ざらい、薬剤散布 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 福岡地区美化活動参加、夏の交通安全運動、ナイターソフトボール参加 ○ 地区運動会参加、河川清掃、つくりもんまつり出展製作 ○ 秋の交通安全運動参加、つくりもんまつり出展 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 老人懇親レクリエーション ○ 年末交通安全運動 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 定期総会
14	中島町自治会	<ul style="list-style-type: none"> ○ 福祉マップづくり、ゴミ集積場所の管理とゴミ収集当番、ふれあい公園の清掃作業(3月～12月) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ゴミ集積場所の管理とゴミ収集当番、ふれあい公園の清掃作業(3月～12月) ○ 地藏法要 ○ つくりもん参加 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ゴミ集積場所の管理とゴミ収集当番、ふれあい公園の清掃作業(3月～12月) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 総会、新年会、ゴミ集積場所の管理とゴミ収集当番、ふれあい公園の清掃作業(3月～12月)
15	下養町自治会	<ul style="list-style-type: none"> ○ いきいきサロン、三乃神社(公園)の清掃 ○ マージャン大会、いきいきサロン 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 三乃神社(公園)の清掃 ○ パーベキュー ○ いきいきサロン、三乃神社(公園)の清掃 	<ul style="list-style-type: none"> ○ マージャン大会 ○ いきいきサロン 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自治会新年会 ○ いきいきサロン、マージャン大会
16	大野自治会	<ul style="list-style-type: none"> ○ 春の交通安全運動 ○ 自治会集会場の除草 ○ 資源ゴミ回収協力 ○ 班長会(自治会内の諸問題について) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自治会レクリエーション(バス利用) ○ 夏の交通安全運動 ○ 資源回収協力 ○ 福岡地区自治会体育祭 ○ 地藏祭り協力 ○ 資源回収協力 ○ 防災訓練 ○ 秋の交通安全運動 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 班長会議 ○ 防災研修 ○ 資源回収協力 ○ 自治会役員会 ○ 冬の交通安全運動 ○ 大野集会場大掃除 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 会計監査 ○ 新年度の総会及び自治会新年会 ○ 自治会役員会 ○ 班長会 ○ 青年報恩講協力(2年に一度)
17	大野新自治会	<ul style="list-style-type: none"> ○ 春の交通安全運動街頭指導、町内緑地帯雑草除去、草むしり(4月～9月まで毎月1回) ○ 初期消火訓練 ○ 町内側溝清掃、薬剤散布、花壇づくり、ふれあいサロン 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 夏の交通安全街頭指導、養川の草刈り ○ 納涼祭 ○ 秋の交通安全運動(街頭指導)、街路樹の剪定、ふれあいサロン 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 集会所修理箇所の見直し確認 ○ 日帰り懇親会、ふれあいサロン ○ 年末の交通安全運動(街頭指導) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 定期総会、新年会、新旧役員委員引継ぎ ○ 福祉マップ見直し(更新)作成 ○ 住宅地図の見直し修正、ふれあいサロン
18	下老子自治会	<ul style="list-style-type: none"> ○ 研修会 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 納涼祭 ○ 秋祭り 		<ul style="list-style-type: none"> ○ 初参り(神事)
19	一步二歩自治会	<ul style="list-style-type: none"> ○ 花壇作り ○ 朝間ソフトボール大会に参加 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 慰安旅行、河川清掃、草刈、ナイターソフトボール大会に参加 ○ 山王地区住民運動会に参加(優勝) ○ 秋季例大祭、防災訓練に参加 	<ul style="list-style-type: none"> ○ グランドゴルフ大会 ○ 大祓い、かがり火 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 定期総会 ○ 春季例大祭、用水清掃
20	西川原島自治会	<ul style="list-style-type: none"> ○ 春の交通安全運動 ○ 荒又川草刈り 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 住民運動会、ビーチバレーボール大会 ○ 秋の交通安全運動 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自治会総会 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新年会 ○ 江ざらい・ビーチバレー大会

No	団体名	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
21	小伊勢領自治会	<ul style="list-style-type: none"> ○ 花壇、いも畑、荒耕し、保全隊総会 ○ 北陸電力草刈（1回目）、さつまいも苗植、役員会議 ○ 山王川堤防草刈（1回目）自治会研修会役員会議、花植 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 北陸電力草刈（2回目）山王川の川中清掃、殺虫剤散布、役員会議 ○ 山王地区住民運動会、山王川堤防草刈（2回目）ビーチボール大会、役員会議 ○ 花壇草取り、花壇コンクール入賞役員会議 	<ul style="list-style-type: none"> ○ さつまいも収穫（母親クラブ）、収穫祭、敬老会三世代交流スポーツ大会 ○ 役員会議、自治会会費計算（万雑） ○ 新規役員選出、公民館大掃除 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 初参り、新年会、平成22年度会計監査 ○ 平成23年度総会、役員会議 ○ 見聞会、ビーチバレー、用排水清掃、児童クラブ空き缶拾い
22	江尻自治会	<ul style="list-style-type: none"> ○ 春の交通安全街頭指導 ○ 総人足（江ざらい、一斉清掃、クリーン作戦） ○ 花と緑花壇作り ○ 遊休地、堤防の草刈① 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自治会研修会 ○ 川清掃、遊休地草刈② ○ 納涼祭 ○ 山王地区運動会 ○ 秋交通安全街頭指導 ○ 秋季祭礼（みこし祭） ○ 遊休地草刈③ 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 川人足清掃 ○ 敬老会 ○ 自治会グラウンドゴルフ大会 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 定期総会 ○ 法話会、青年報恩講 ○ 自治会内検分
23	上叢自治会	<ul style="list-style-type: none"> ○ 用水清掃、花壇整備 ○ 用水堤防草刈りボランティア町内清掃 ○ 慰安会 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 虫送り神事・用水堤防草刈・藻切り他 ○ 山王運動会・上叢フェスティバル ○ 秋祭り 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 用水整備 ○ 大祓い 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新年総会 ○ 火祭神事 ○ 叢川藻切り他・老人報恩講
24	叢島自治会	<ul style="list-style-type: none"> ○ 用、排水の清掃・中田川堤防草刈 ○ 叢島自治会グラウンドゴルフ大会・地域振興研修会 ○ 田祭り・岸渡川堤防草刈 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 岸渡川藻刈り・夏のクリーン作戦 ○ 火祭り・山王地区住民運動会 ○ 秋祭り 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 忘年会・万雑・宮（初詣準備） 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 三野神社初参り・新年顔合わせ祝宴 ○ 自治会総会 ○ 報恩講・春のクリーン作戦・春祭り
25	矢部自治会	<ul style="list-style-type: none"> ○ 毎月1日定例会 春の交通安全週間街頭指導、各公園整備点検 ○ 婦人会集会所（毎月1回）、公園整備 ○ 高岡ソフトボール大会参加（高岡市、富山県陳情） 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 毎月1日定例会 自治会旅行、高岡ナイターソフトボール大会参加、夏の交通安全街頭指導 ○ 山王地区大運動会、リバーサイドフェスタへの協力、山王ナイタービーチボール大会 ○ 秋の交通安全街頭指導、つくりもんまつり参加 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 毎月1日定例会 ○ 日尾神社、各公園雪囲い ○ 自治会万雑、年末交通安全週間街頭指導 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 毎月1日定例会 ○ 1月10日総会 新年初総会、役員会 ○ 江ざらい、見聞、山王ビーチボール大会
26	開群自治会	<ul style="list-style-type: none"> ○ 用排水川人足、春祭り、交通安全祈願祭 ○ 岸渡川堤防草刈り 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 21号排水・岸渡川藻刈り ○ 大滝地区運動会 ○ 秋祭り 	<ul style="list-style-type: none"> ○ クリスマス会 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自治会総会、新年会 ○ 青年報恩講
27	木舟自治会	<ul style="list-style-type: none"> ○ 城跡草刈 ○ 花壇作り、自治会単独廃品回収、自治会研修会 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 江ざらい ○ 地藏祭り、運動会後の親睦会 ○ 江ざらい 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 月見の宵、廃品回収 ○ 自治会忘年会、廃品回収 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新年総会 ○ 江ざらい
28	大滝自治会	<ul style="list-style-type: none"> ○ 春祭り ○ 班別対抗ソフトボール大会（16班） 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 納涼祭 ○ 地藏祭、集会所大掃除 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 秋祭り ○ 万雑、集会所大掃除 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 初参り、班別新年会、総会、麻雀大会 ○ 新役員による合同委員会、囲碁・将棋大会 ○ 江ざらい

No	団体名	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
29	本領自治会	<ul style="list-style-type: none"> ○ 環境保全隊・耕栄会による地域調査、要望取りまとめ、集会所の清掃、春祭清掃、春の交通安全 ○ 河川の清掃計画、田植準備（営農組合） ○ 一級河川の清掃計画、大岡神社の清掃、花の植栽箇所の清掃 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地区防災会議、青田廻り、地区納涼祭 ○ 地区夏祭り、運動会、民生委員会議（招魂祭）、ラジオ体操指導、資源回収、集会所清掃 ○ 秋の祭礼清掃、地域一斉清掃（空き缶、ペットボトルetc.）、秋の交通安全 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 4世代交流準備 ○ 4世代交流 ○ 決算準備会議、集会所清掃、耕栄会、環境保全隊連絡会議 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新年祈願祭、自治会総会、監査会、民生委員会議（地域住民調査） ○ 環境保全隊会合、自治会研修会、老人会行事、餅つき大会 ○ 耕栄会会議、江ざらい、敬老会
30	荒屋敷自治会	<ul style="list-style-type: none"> ○ 春祭り ○ 黒石川堤防草刈、除蝗祭 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大滝地区民村まつり ○ 大滝地区民運動会 ○ 秋祭り 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 万雑、餅つき大会 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 総会 ○ 江ざらい、敬老会
31	上野自治会	<ul style="list-style-type: none"> ○ 春の江ざらい、交通安全週間の街頭指導、春祭り ○ 校下運動会、高齢者ふれあい交流会、公園草刈り ○ 防犯パトロール（月1回） 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 夏の草刈り、虫送り ○ 地藏祭り ○ 秋祭り、公園草刈り、空缶拾い ○ 防犯パトロール（月1回） 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日帰り研修会 ○ 防犯パトロール（月1回） 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自治会総会、左義長 ○ 火祭り（厄払い） ○ 報恩講、江見聞 ○ 防犯パトロール（月1回）
32	上向田自治会	<ul style="list-style-type: none"> ○ 江ざらい、春祭り ○ 空缶拾い ○ アジサイ植栽、校下運動会、西明寺川堤防草刈り 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 虫送り、道路愛護 ○ パーベキュー大会 ○ 秋祭り、空缶拾い 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 廃品回収 ○ 大祓い、万雑会議 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新年総会 ○ 火祭り ○ 江見聞、廃品回収
33	下向田自治会	<ul style="list-style-type: none"> ○ 江ざらい、里山再生事業（里山を守る会）、役員会 ○ 柏葉神社春季祭礼、里山再生事業（里山を守る会） ○ 田祭り、虫送り、里山再生事業、役員会 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 向田川用水他藻刈り、西明寺川堤防草刈り、資源保全向上活動 ○ おしょうらいと納涼祭、里山再生事業 ○ 柏葉神社秋季例大祭、里山再生事業、役員会 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 役員会 ○ 万雑資料作成、万雑、忘年会 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新年元旦祭、自治会総会 ○ 役員会
34	土屋自治会	<ul style="list-style-type: none"> ○ 五位神社春の大祭、大江浚い ○ 田祭り、自治会対抗朝間ソフトボール ○ 西五位地区民大運動会、土屋長寿会物故者追悼法要、共保財団山林等の手入れ、除蝗祭 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自治会対抗ナイターソフトボール、排水路の藻引き ○ 地藏祭り・納涼祭・カンナ祭り ○ 秋の大祭、氏子連合崇敬会 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 万雑役員会 ○ 新嘗祭・土屋長寿会三世代ふれあい大会 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新年祭、火祭り ○ 定例総会
35	鳥倉自治会	<ul style="list-style-type: none"> ○ 宮掃除、江ざらい、春祭り ○ 追悼会報恩講、西五位地区住民運動会、除蝗祭（虫送り） 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 山道刈り、川藻刈り ○ 地藏祭り ○ 宮掃除、秋祭り 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自治会慰安会 ○ 防災訓練 ○ 自治会万雑、新嘗祭・大祓い 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 初参り・厄払い、自治会総会 ○ 火祭り ○ 江回り
36	加茂自治会	<ul style="list-style-type: none"> ○ 総人足、春祭り ○ 西山丘陵整備 ○ 徐蝗祭、運動会、自治会懇親会 ○ 人足、排水路等 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地藏祭り ○ 秋祭り、西山丘陵整備 ○ 人足、排水路等 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大祓い ○ 人足、排水路等 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新年祭、火祭り ○ 見回り ○ 人足、排水路等
37	馬場自治会	<ul style="list-style-type: none"> ○ 神明宮春祭り、春交通安全街頭指導、江ざらい人足 ○ 神明宮虫送り、馬場親睦会日帰り旅行、西五位地区運動会参加 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 山林山道人足 ○ 地藏法要 ○ 神明宮秋祭り、空き缶ゼロ、秋交通安全運動街頭指導 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 西五位地敬老会参加 ○ 神明宮大祓い、神明宮清掃、集会所清掃 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 神明宮歳旦祭、自治会総会、新年初顔合せ（1月1日） ○ 神明宮火祭り厄払い

No	団体名	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
38	西自治会	<ul style="list-style-type: none"> ○ 春期祭礼、江ざらい、農道敷砂利整備 ○ 集会所前の花壇草むしり、花の植栽 ○ 役員会 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 納涼祭、稲作青田廻り ○ 地藏祭り、花壇除草 ○ 稲作についての反省会、秋期祭礼 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 西地内市道県道ぶちの空き缶拾い ○ 役員会 ○ 決算報告 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新年神社参拝、新年総会 ○ 火祭り ○ 農地診断
39	三日市自治会	<ul style="list-style-type: none"> ○ 江ざらい、春の交通安全運動、八幡宮春季例大祭、資源回収 ○ さつま芋苗植付け、フラワーライン花苗植え、田祭り ○ ふれあい・いきいきサロン、コスモス花種蒔作業、西五位地区民大運動会、甚徳川右岸法面雑草抑制作業、法面除草作業、八幡宮除蝗祭式典、甚徳川・大坪川・亀川藻引き 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ソフトボール大会 ふれあい・いきいきサロン、防災訓練 ○ ふれあいの集い、ふれあい・いきいきサロン、除草・清掃、地藏まつり、さつま芋掘り、八幡宮崇敬会 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ふれあい・いきいきサロン ○ 雪吊り作業、除草作業、八幡宮新嘗祭・大祓 ○ コスモス畑枯れ茎整理作業、歳末防犯パトロール 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 八幡宮歳旦祭 ○ 自治会定期総会、八幡宮火祭り式典 ○ 八幡宮雪吊り外し
40	西明寺自治会	<ul style="list-style-type: none"> ○ 春祭り（八幡宮）。江ざらい ○ ハリタ金属梱ゴミ処理場現地視察。自治会員パークゴルフ大会。 ○ 除蝗祭（八幡宮）。川草刈。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 市道草刈。転作確認。 ○ 農協座談会。自治会委員会、総会（集会所）。 ○ 秋祭（八幡宮）。自治会員パークゴルフ大会。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ハリタ金属梱ゴミ処理場現地視察。 ○ 自治会総会（集会所） ○ 万雑委員会（集会所）。中山間地事業役員会。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 元旦祭（八幡宮）。自治会新年会総会（集会所）。 ○ 火祭（八幡宮）。長寿会総会。農協座談会。 ○ 報恩講（集会所）。自治会員懇親会（日帰り、民宿等で）
41	栲丘自治会	<ul style="list-style-type: none"> ○ 春祭り ○ 竹の子祭り ○ 地区運動会 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 道路愛護（草刈）、花壇管理（除草等） ○ 秋道 ○ 秋祭り・防災訓練 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地区収穫祭 ○ 年末夜警 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新年会・私設消防団出初式 ○ 集落親睦会 ○ 無縁講・江ざらい
42	小野自治会	<ul style="list-style-type: none"> ○ ジャガイモ植付け ○ 竹の子まつり ○ 中山間地事業草刈り 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 道路愛護会 ○ 三世交流 ○ 小野八幡宮祭り 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中山間地事業（農道、休耕田草刈り） ○ 秋の収穫祭 ○ 小野八幡宮大歳 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自治会総会 ○ 五位山交流会 ○ 集落内道路点検
43	五位自治会	<ul style="list-style-type: none"> ○ 花見の宴 ○ 竹の子祭り（栲丘地内） ○ 長寿会総会、中山間地活動 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 桜の園、中山間地等の草刈、五位山地区ソフトボール大会 ○ ごい夏まつり、三世交流大演奏会及び懇親パーティー ○ 秋祭り、自主防災会訓練 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中山間地活動 ○ 秋の収穫祭（五位山地区） ○ もちつき大会、私設消防団年末警戒 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自治会総会、私設消防団出初式 ○ 五位山地区マージャン大会
44	沢川自治会	<ul style="list-style-type: none"> ○ 常会、ゴルフコンペ ○ 班長会 ○ 常会、集会所、お宮周辺草刈、清掃 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 班長会、地区対抗ゴルフコンペ、集落内道路草刈 ○ 常会、集会所、お宮周辺草刈、清掃 ○ 班長会、祭り、ゴルフコンペ 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 常会 ○ 班長会、祭り ○ 常会 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 常会、私設消防団出初式 ○ 班長会、集会所、お宮雪下ろし ○ 常会、祭り
45	向野自治会	<ul style="list-style-type: none"> ○ 江ざらい 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 江ざらい ○ 地藏祭り ○ 秋祭り 		<ul style="list-style-type: none"> ○ 総会
46	川原自治会	<ul style="list-style-type: none"> ○ 総人足 ○ 準用河川草刈 	<ul style="list-style-type: none"> ○ のぞみが丘児童公園草刈 ○ 地藏まつり ○ 神輿まつり 		<ul style="list-style-type: none"> ○ 新年懇談会 ○ 各班新年会

No	団体名	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
47	古村自治会	<ul style="list-style-type: none"> ○ 総人足、資源回収 ○ 青壮年ボーリング大会、朝間ソフトボール大会 ○ 自治会日帰りバス旅行、集会場清掃 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 夏の総大足 ○ 住民運動会、地藏祭り ○ 村神輿祭り 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 資源回収、集会所清掃 ○ 文化祭 ○ 年末大掃除、役員慰労会 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 総会、左義長 ○ 自治会婦人部役員顔合せ ○ 役員会、街路、ごみ集積所点検
48	鞍馬寺自治会	<ul style="list-style-type: none"> ○ 環境保全会としての点検活動・機能診断・江浚え・定期総会・第1回一斉草刈り、空き缶拾い、林道の江浚え、五位庄用水の江浚え、花壇にカンナの植込み、部落有林に杉の補植。「漆」の実験圃場の草刈り ○ 第2回空缶拾い、部落有林第1回草刈り ○ 第2回一斉草刈り、シバザクラの培土作業と植栽（路肩に384鉢）、シバザクラへの水やり（6/16～8/16）、一級河川「谷内川」の草刈り ○ 長寿会による資源ごみ回収、ふれあいいいききサロン年7回 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 蚊・ハエの一斉防除、「ホタルの郷」の草刈り、第3回一斉草刈り、第2回「漆」の実験圃場の草刈り、富山県高岡農林振興センターと赤丸地区土地総の設計協議 ○ 部落有林第2回草刈り、集会所の畳干し、地藏祭と第4回お達者会（「お達者会」は資源ゴミ収集奨励金を活用して長寿会が開催）、納涼祭、林道の草刈り ○ 森林組合による「水と緑の森づくり事業」対象範囲の調査、赤丸地区第29回住民運動会、富山県農林水産部新任技術職員が鞍馬寺環境保全会を現地視察、浅井神社の秋祭り ○ 長寿会による資源ごみ回収、ふれあいいいききサロン年7回 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自治会の日帰り旅行、小矢部伏木港線「赤丸公園前交差点改良に伴う用水路、横断歩道、道路標識、観光看板等について行政との最終調整、第3回「漆」の実験圃場の草刈り ○ 「カンナ」の球根掘り取り、赤丸地区土地改良総合整備事業（鞍馬寺の用水路4本、排水路4本）の改修に着手、赤丸総代決算会議、農道の砂利補充、第2回「漆」の植栽 ○ 資源ゴミの回収、環境保全会・自治会・総代の臨時総会 ○ 長寿会による資源ごみ回収、ふれあいいいききサロン年7回 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自治会・総代の定期総会、福祉マップづくり、農地・水・環境向上対策「体制整備構想」（案）の作成 ○ 福祉マップづくり、農地・水・環境向上対策「体制整備構想」（案）の作成、鍋祭り ○ 環境保全会・自治会・総代の平成23年度共同活動計画（案）の作成、第7回いきいきサロン ○ 長寿会による資源ごみ回収、ふれあいいいききサロン年7回
49	舞谷自治会	<ul style="list-style-type: none"> ○ 城ヶ平山のイベント ○ 総人足 ○ 草刈り人足 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 納涼祭 ○ 秋まつり 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 運動会（赤丸） ○ 赤丸文化祭 ○ 年末万雑総会 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新年万雑総会、新年会 ○ 春まつり
50	花尾自治会		<ul style="list-style-type: none"> ○ 防災訓練 ○ 秋祭り 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 祭り 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新年会 ○ 報思講 祭り

③ エコの取り組みに対する意向

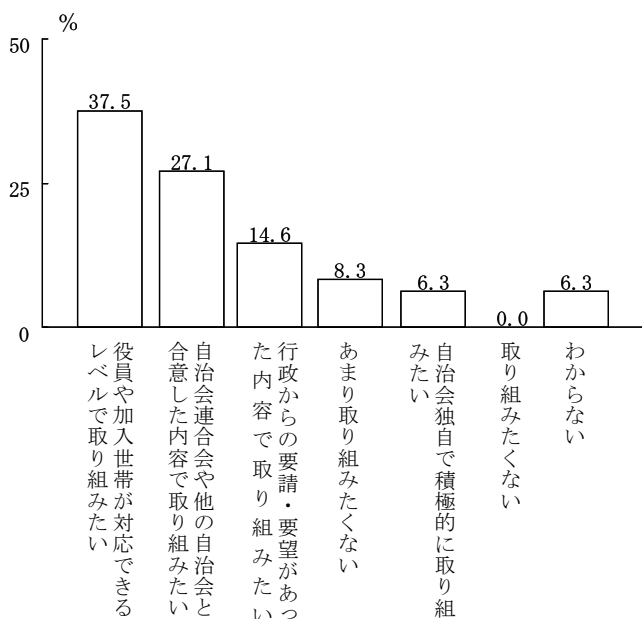
エコの取り組みについては、「役員や加入世帯が対応できるレベルで取り組みたい」(37.5%)が最も高くなっており、地域の実情に即したエコ活動を想定する自治会の割合が高くなっている。以下、「自治会連合会や他の自治会と合意した内容で取り組みたい」(27.1%)、「行政からの要請・要望があった内容で取り組みたい」(14.7%)が続く。エコの取り組みに何らかの関心がある自治会が8割を占めている。これに対して、「取り組みたくない」と回答した自治会はなかった。

④ エコ活動の阻害要因

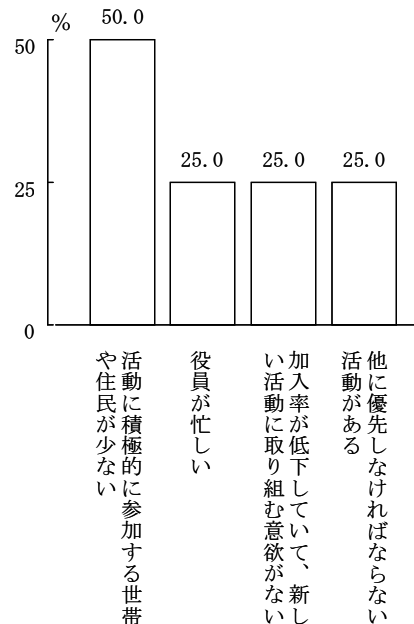
エコに取り組みたくない理由については、「活動に積極的に参加する世帯や住民が少ない」(50.0%)と最も多く、以下、「役員が忙しい」(25.0%)、「加入率が低下していて、新しい活動に取り組む意欲がない」(25.0%)、「他に優先しなければならない活動がある」(25.0%)が続く。

自由記入回答から、エコ活動を実施する上での問題点・課題をみると、少子高齢化・過疎化による担い手の不足や固定化、エコに関する情報不足、意識涵養等があげられている。

図表4-6 エコの取組に対する意向 (SA)



図表4-7 エコ活動の阻害要因 (MA3)



図表 4-8 エコ活動の実施上の問題点・課題

No	団体名	回答
1	堀川町自治会	自治会会員の高齢化及び少子化
2	清水町自治会	具体的な手軽にできるエコ活動の研修会等をやって欲しい。しかも土、日に。短時間で、手軽にできる内容がよい。
3	桜木町自治会	行政からの指導の元に各家庭で楽しく実施できるエコ活動を期待します。
4	大蔵町自治会	分別収集に取り組んでいるが、資源としての収集物の処理の状況を最終の段階まで、市民にたいへいに知らせていただければ、より一層取り組みに力が入ると思います。
5	中島町自治会	・エコ活動についての知識や情報がない。 ・団体としての活動の可能性が難しい。
6	大野自治会	取り組む時間、人員の確保
7	大野新自治会	エコ活動に対しての認識を深めてもらうこと
8	下老子自治会	住民に対する意識付け
9	一步二歩自治会	役員だけの活動となり、住民の参加があまり望めない
10	江尻自治会	意識、知識が薄い
11	木舟自治会	ゴミ、リサイクル品が一日にどれだけ出ているか、混入物等が多くなればなるほど処理するのにお金がかかっているかを市民に分かってもらうため処理施設等に見学することも必要だと思う。
12	大滝自治会	活動員（指導員）の固定化（世話する人が、決まってしまう）
13	本領自治会	分別区分を徹底したいが、なかなか実施してもらえない。
14	上野自治会	自治会員全員参加型のエコ活動が出来るのか、責任者だけの活動に終わらないか。
15	下向田自治会	このままでは地球がもたない、地球が悲鳴をあげているということを具体的によく知る事。短期的な利益を求めて競争している市場経済と環境問題は現在のところ相容れないといった矛盾を抱えている事。
16	土屋自治会	若い世代（30代、40代）に、活動に参加していただく事に苦勞する。
17	三日市自治会	各自多忙で、時間がない。（現状をこなすだけで、精一杯の状態、役割の分散化をはかり、無駄のない体制作りが必要）
18	西明寺自治会	「里山改善事業」「景観事業」を推進する為の課題。杉の木、伐採跡地の植林等の費用分担（苗木、植林、草刈、消毒、肥料等の育生費用）を自治会員にどう説明し、了解を得るか？行政からの知恵、助成等の協力が、得られればありがたい。よろしくお願いします。
19	五位自治会	エコについての知識が余りない
20	古村自治会	意識の高揚
21	鞍馬寺自治会	国、県、市のエコに関する長期ビジョン、特にCO2の削減に対する一国民、一市長としてのアクションプログラムが無いことが一番の問題。
22	舞谷自治会	人手不足
23	花尾自治会	活動できる人間が少ない

⑤ 実施しているエコ活動

現在、自治会として実施しているエコ活動については、資源ごみの分別、リサイクルの取組が多いほか、中山間地域では緑化活動、山林資源活用等が、農業地域では農林水産省の「農地・水・環境保全向上対策事業」を活用した取組がみられる。

図表4-9 実施しているエコ活動（F A）

No	団体名	回答
1	堀川町自治会	○資源ゴミの分別、資源回収協力、環境美化、歩道の除雪
2	中央通自治会	○資源ゴミの回収活動
3	清水町自治会	○ゴミの分別
4	大蔵町自治会	○年3回の廃品回収を行い、リサイクル活動に取り組んでいる。
5	中島町自治会	○地域の環境美化の推進として(公園愛護事業として)「福岡駅前通り、ふれあい公園」の清掃を自治会にて実施しています。
6	大野自治会	○リサイクル活動
7	大野新自治会	○花壇づくり(老人会と合同で行う) ○緑地帯の除草(4月～9月まで毎月1回)、県道の一部清掃、草むしり ○資源ごみ、不燃ごみ、容器包装、古紙等の収集日分別立合 ○小中学生缶、ごみひろい(町内)
8	一歩二歩自治会	○花壇の整備 ○ゴミ分別の徹底、収集後の片付け、清掃
9	矢部自治会	○緑化活動(一般家庭敷地、公園、道路、水田) ○行政に指導を受けているリサイクル活動(環境サービス課)
10	開群自治会	○緑化活動、資源ゴミの回収、農地・水環境保全向上対策、空缶ひろい、道路の草刈、用排水の川人足など
11	木舟自治会	○4月6月10月12月年4回自治会の家庭から出る農機具等を回収している。家庭からエコに取り組む様に指導している。
12	本領自治会	○緑化活動(河川側面の緑化)、リサイクル活動
13	上向田自治会	○アジサイ植栽、用水用地埋め、廃品回収、ゴミの分別
14	下向田自治会	○地域資源保全向上活動、里山再生整備事業
15	土屋自治会	○緑化活動 ○山林資源活用
16	西自治会	○緑化活動(三日市西村づくり実践会)農道などのフラワーライン
17	三日市自治会	○資源ゴミ、プラ容器ゴミの分別徹底。イベント時、子供達を引率して、ゴミ収集
18	西明寺自治会	○緑化活動・里山改善事業(=県の水と緑の森再生整備事業)自治会の単独事業として、集落、田畑周辺の杉の木の伐採事業、2年間で3,000本前後伐採予定。伐採後は広葉樹植林(5年前後かけて)予定。
19	栢丘自治会	○竹林整備
20	五位自治会	○リサイクル活動 ○桜の園、中山間地草刈など
21	向野自治会	○緑化活動
22	古村自治会	○資源回収
23	鞍馬寺自治会	○資源ゴミの回収 ○路肩へのシバザクラの植栽 ○杉の植林と管理 ○高岡漆器産業への生漆の供給と富大芸術文化学部・漆専攻生に対する漆実習圃場の提供 ○農地・水・環境保全向上対策事業を活用した農道・用排水路・遊休農地の一斉草刈や江ざらい、空缶ひろい、ホタルの生態観察会、親子菅刈り体験等
24	舞谷自治会	○農地・水・環境保全向上対策事業の中に農村環境向上活動として、景観形成の実践活動で課題がたくさんあります。 ○里山森林再生事業に取り組んでおり、いづれも多忙です。
25	花尾自治会	○リサイクル活動

⑥ 実施を検討しているエコ活動

今後、自治会として実施を検討しているエコ活動については、省エネ活動、エコ学習等についての取組意向がみられる。

図表 4-10 実施を検討しているエコ活動

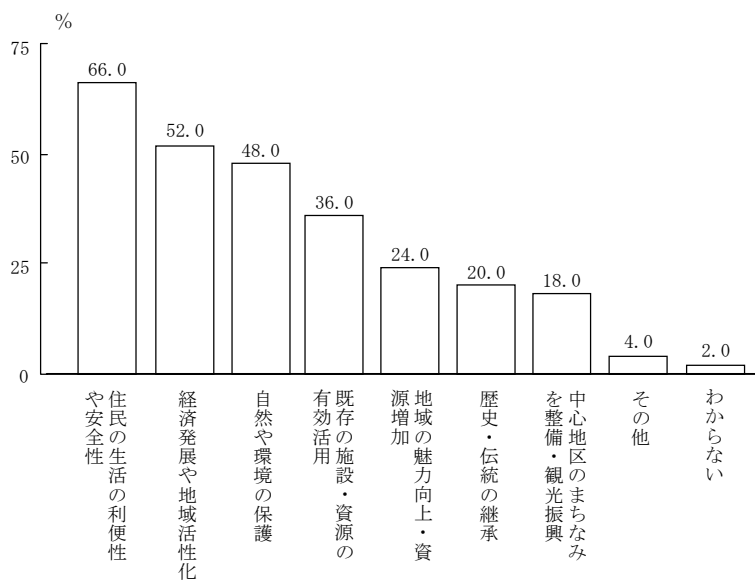
No	団体名	回答
1	西町自治会	○ゴミの分別化
2	堀川町自治会	○環境美化・緑化活動
3	大野自治会	○エコに関する学習会
4	大野新自治会	○菟川プロムナード整備事業完了後周辺各自治会と話し合い清掃美化活動を推進したい。
5	木舟自治会	○生ゴミを堆肥化にして少しでも生ゴミを出さない様に努力していきたい。
6	大滝自治会	○宅地（未着工）の草刈の徹底
7	本領自治会	○消灯活動
8	上向田自治会	○遊休田の有効利用、ポスター、看板等の掲示によるポイステ禁止活動。 ○現在もやっているがなかなか効果が出ない。
9	下向田自治会	○できれば地球が現在抱えている環境問題、「不都合な真実」の実態を勉強する機会を設ければいいと考えているが、小さな集落の問題ではなく、それこそ大きな政治の意志を、政治の判断・実行・指導を強力に推進してもらいたいものである。
10	土屋自治会	○里山の活用がエコにつながると思うので、より巾広く取り組む。
11	三日市自治会	○リサイクルセンターの見学等により、意識の高揚・自治会院全体対象のエコ学習会（出前講座利用したい）
12	西明寺自治会	○景観事業を推進する…市営の「西明寺パークゴルフ場」利用者の増大を目指す。上記の「里山改善事業」で、杉の木伐採跡地に景観を良くする為、県道、市道沿いの崖には椿、山茶花、山頂付近は山桜、紅葉の木。山頂には栗、どんぐり等の植林を計画。
13	古村自治会	○バザー
14	鞍馬寺自治会	○西山の清水山一帯を舞谷自治会と協力して、「水と緑の森づくり事業」に取り組み、風倒木等で荒れた里山を再生する計画である。

ウ 福岡町地域のまちづくりに係る意向

① まちづくりの考え方

福岡町地域のまちづくりの進め方については、「地区住民の生活の利便性や安全性を重視した取り組み」(66.0%)、が最も多く、以下、「福岡町地域の経済発展や地域活性化に結びつく取り組み」(52.0%)、「福岡町地域の自然や環境を保護する取り組み」(48.0%)が続く。

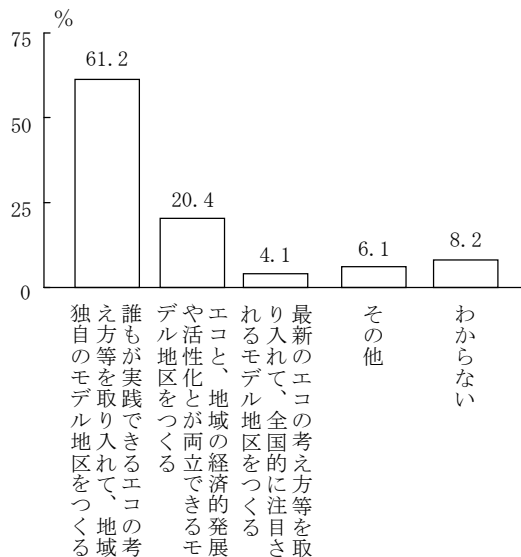
図表4-11 まちづくりの考え方 (MA3)



② 「環境モデル地区」の考え方

福岡町地域における「環境モデル地区」の形成については、「子どもからお年寄りまで、誰もが日常生活のなかで実践できるエコの考え方や方法を取り入れて、地域独自のモデル地区をつくる」(61.2%)が最も高く、以下、「エコと、地域の経済的發展や活性化とが両立できるモデル地区をつくる」(20.4%)が続き、「最新のエコの考え方や技術を取り入れて、全国的に注目されるモデル地区をつくる」(4.1%)は低い傾向がみられる。

図表4-12 「環境モデル地区」の考え方 (SA)

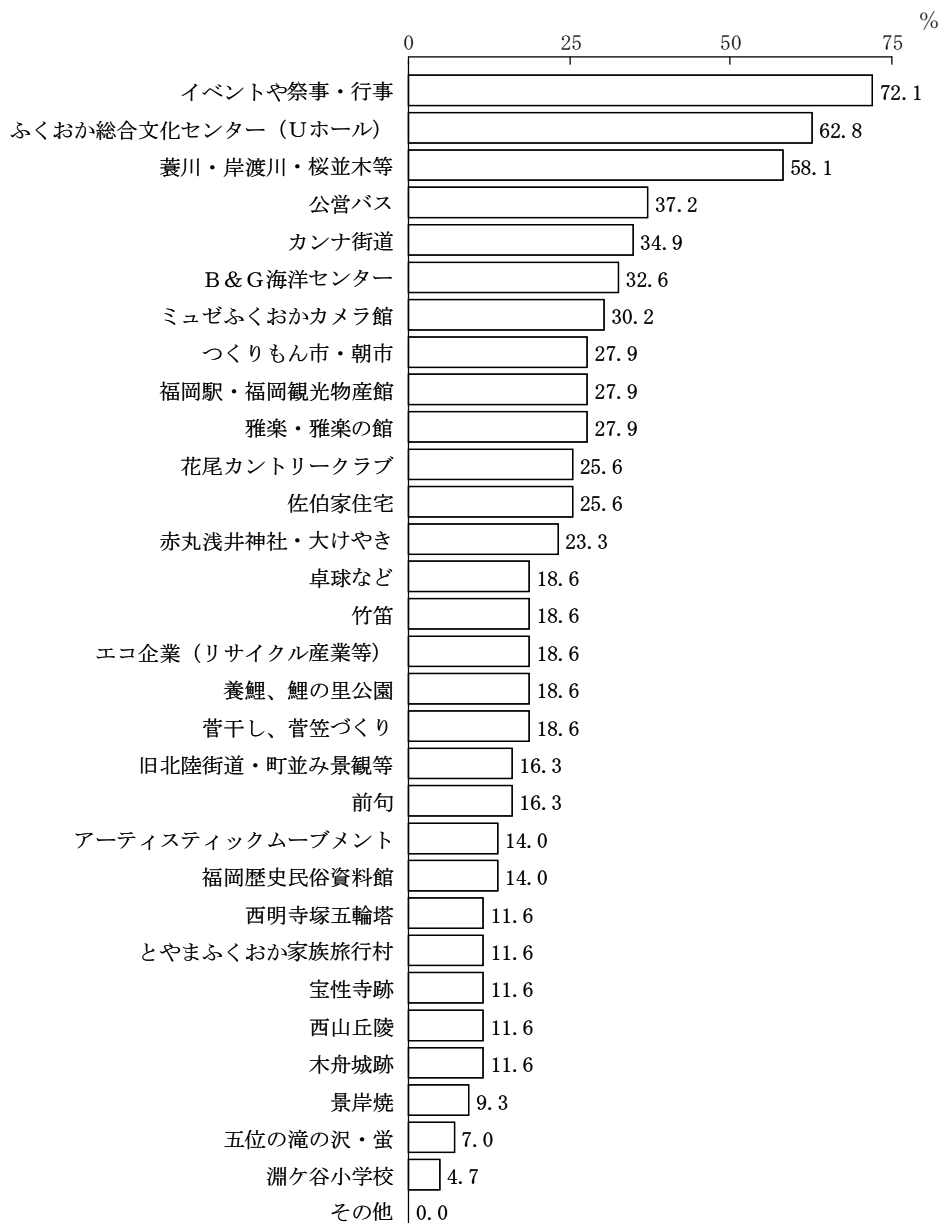


③ 地域資源の評価と活用（満足度）

福岡町地域は、さまざまな独自の地域資源を有している。こうした地域資源をまちづくりやエコ活動のなかで活用していくことが極めて重要である。そこで、福岡町地域の主要な30の資源をとりあげ、活用面におけるこれまでの満足度と今後の重要度について、各種団体へそれぞれ調査した。

まちづくりなどにおける地域資源の活用面での満足度については、「つくりもんまつりなどイベントや祭事・行事」(72.1%)が最も高く、以下、「ふくおか総合文化センター(Uホール)」(62.8%)、「蓑川・岸渡川・桜並木・せせらぎ公園・土屋親水公園等」(58.1%)が続く。

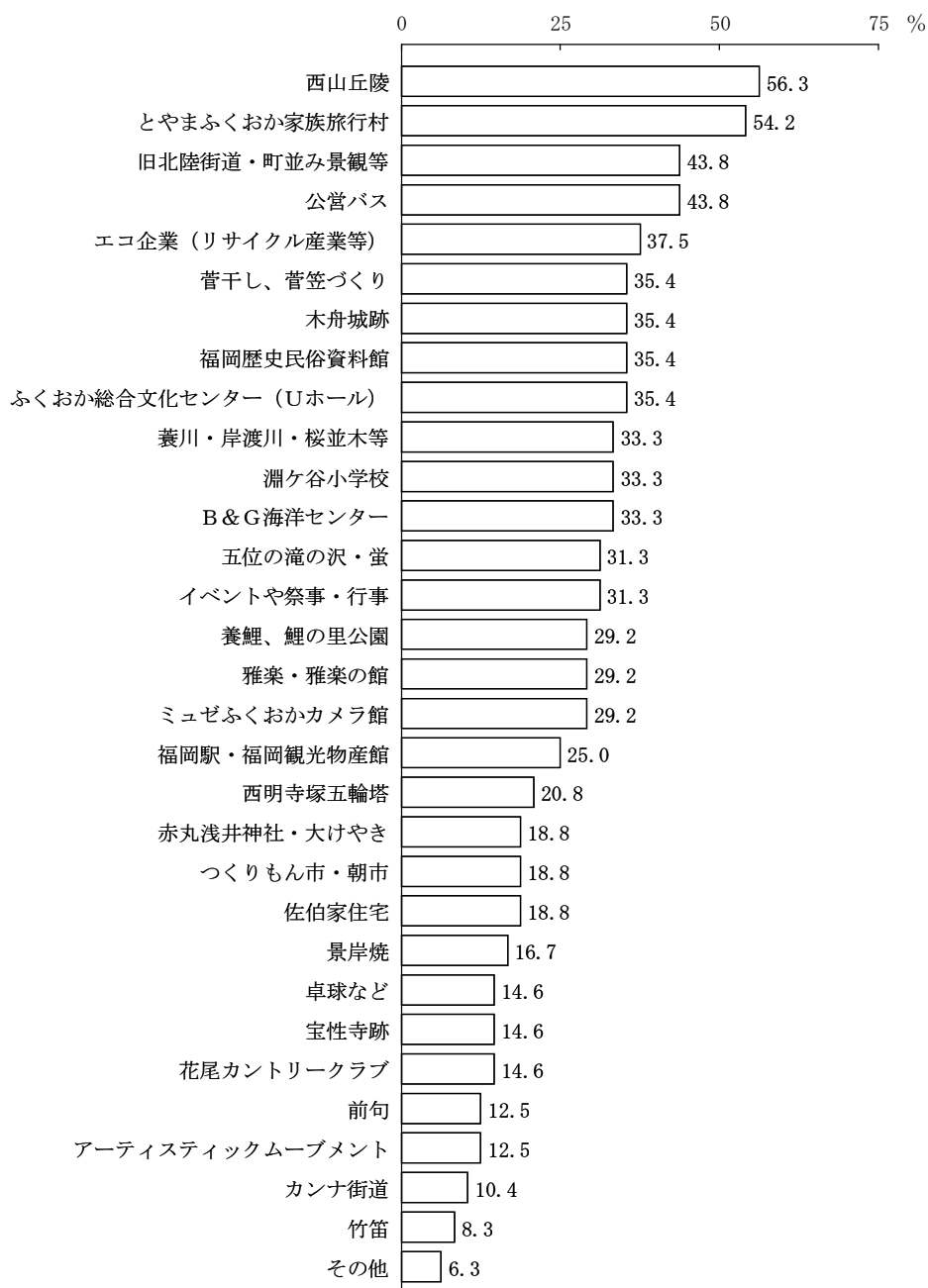
図表4-13 地域資源の評価と活用 —満足度— (MA)



④ 重要度

今後の地域資源の活用面での重要度については、「西山丘陵」(56.3%)が最も高く、以下、「とやまふくおか家族旅行村(五位ダム・山ぼうし)」(54.2%)、「菅干し、菅笠づくり」(38.7%)、「ふくおか総合文化センター(Uホール)」(37.4%)が続く。

図表4-14 地域資源の評価と活用 —重要度— (MA)



⑤ 「エコの町づくり」についてのアイデア・意見

調査票では、『「エコの町づくり」についてのアイデア・意見』として、①地域資源の活用、②活用可能な地域資源、③福岡町地域のまちづくりについての具体的な意見を自由に記入していただいた。

⑥ 地域資源の活用

回答のあった単位自治会は、11 団体であった。

図表 4-15 地域資源の活用アイデア・意見

No	団体名	回答
1	末広町自治会	書ききれないので、ディスカッション等があれば参加したい。
2	大野自治会	1つのテーマをかかげて子どもから大人まで取り組む
3	大野新自治会	1. 地域の要所、要所にエコのまちづくりについての看板を立て、住民に呼び掛けをし、意識の高揚をはかること 2. 地域資源を項目別に内容を調査検討すること
4	木舟自治会	アイデアを求めるのも必要かもしれないが、アイデアを探す事も必要である。地域等をまわり、いいものをどんどん取り入れることが必要である。行政の担当者も地域まわりをすることも大事である。目で確かめて、市民と共にエコに取り組んでほしい。
5	上向田自治会	山の豊富な資源を活用する。杉の枝、倒木等。 ご飯を炊くなど、五右衛門風呂の復活。
6	下向田自治会	<ul style="list-style-type: none"> 毎日の生活レベルは落とし難いものでありますから、これを水平、横這いで維持することを目標としながら、再生資源の活用、生ゴミの堆肥化などによる廃棄物を減らす方を、お年寄りから子供まで共有する。 中古車をリサイクルし電気自動車化する事業は中小企業でも可能で今後急速に進むとみられている。当地域にも中小企業間で連携を深め情報交換しチャレンジしてもらおうよう支援する（地域環境事業の目玉） 企業のエコ経営、炭酸ガスや産業廃棄物を減らす事業経営 蛍の保護出現環境の整備、コンクリートを出来るだけ減らす。小規模用水の通水（年間を通して） まちづくりについては、各施設と化石燃料中心から自然エネルギーに変える方向へ（中・長期）また、身の丈に合った運営を目指す。これ以上箱物は作らない。 エコは農業経営（簡単なことではありませんが）
7	土屋自治会	平成 21 年に県が立ち上げた竹資源ネットワークという組織があります。西山にある竹を利用したイベント・講習会を開き、勉強し活用まで持っていけたら良いと思う。これが里山の管理にも繋がり、自然との会話も出来る。
8	西自治会	ソーラパネル設置に当り、経費の一部負担しても進めてはどうか。
9	三日市自治会	里山の見直し→生活に密着できるような仕組み作り・休耕田を利用し、水を入れて、魚、鳥などの小動物を育てる
10	西明寺自治会	地域資源を活用した地域活性化について…福岡地域は山間部が 70%前後占めており、当自治会を含め、五つの自治会が山間部に存在しております。五自治会は孤立集落に認定され、限界集落に近付いている集落も有ります。幸いにも、地域資源がたくさん有り、やり方次第では充分活性化出来ると希望を持っております。「とやまふくおか家族旅行村」・「五位ダム」・「山ぼうし」・「西山丘陵」・「福岡歴史民族資料館」・「西明寺五輪塔」・「花尾カントリークラブ」・「西明寺パークゴルフ場」等の活性化をいかに進めるか・「旧測ヶ谷小学校の活用」も入ると思います
11	鞍馬寺自治会	菅笠の製作技術が国の重要無形民族文化財に指定されたが、菅笠地蔵や「はっぴ」を作っても、エコは勿論、生産者の生産意欲の増大にもつながっていない。このままでは高齢者のリタイヤとともに菅田が無くなってしまふ。輪島の「棚田」はどのような方法でマンパワーを育成しているか。行政や保存会が現地調査・視察を行うなど、勉強するべき。その上で、菅田、菅笠を「環境モデル地区」の一つの柱として位置づけし、地域の資源の有効活用と“エコの菅”として観光面にも力を入れる。

⑦ 活用可能な地域資源

回答のあった単位自治会は、8 団体であった。

図表 4-16 活用可能な地域資源の状況

No	団体名	回答
1	大野新自治会	1. 各種ボランティア団体に呼び掛けすること 2. 福岡まちづくり工房
2	木舟自治会	大滝地域連合自治会。木舟自治会。 大滝地域では毎年8月1回6自治会ぐるみで全家庭から出るリサイクル品を回収している。地元企業の協力をもらい実行している。お盆前の大掃除を行っている。
3	上向田自治会	小学生、高齢者の方に参加してもらい、山の大切さ、重要な役割を次世代に活動してもらおう。
4	下向田自治会	・ IPCC（世界の気候変動に関する政府間パネル）へのアクセス（ネットなど） ・ 山本良一先生のお話を聞く ・ 環境対策に熱心なヨーロッパの先進国に学ぶ
5	土屋自治会	山の所有者と各種関連する団体がいっしょに行動する事で、山地の住民の活性化が進むと思う。
6	馬場自治会	吉岡農園「農地・水・環境保全事業」でエコの取組、減農薬、減肥料の取組がある。
7	三日市自治会	小学校卒業までに子供1人に1本の植林を山間地で行う(落葉樹で)
8	鞍馬寺自治会	衰退の一途をたどっている菅田に焦点を当てて、エコ活動、地域資源の復活、伝統産業の再生に取り組みべきと考える。

⑧ 福岡町地域のまちづくり

回答のあった単位自治会は、15 団体であった。

図表 4-17 福岡地域のまちづくり

No	団体名	回答
1	中町自治会	太陽光発電の街。新築工事 4KW 全額補助売電は、自治体の収入会計になる様にする。
2	清水町自治会	現在、赤字経営となっている施設について、どうしたら減らせるか真剣に考える必要がある。税金のむだ使いという面を常に頭の中に入れておく必要がある。少子化で税収も少なくなる中、ボランティアの活用などで進めていく必要がある。いくらやっても大きな赤字、年間 1000 万以上の施設については、即運営方法を変えるべき。できないのであれば、思い切って閉鎖することも考える必要あり。いくら文化面で良いとしても、赤字それも膨大な赤字では話にならない。よくよく研究すべし。赤字経営での、活性化、エコなまちづくりなど考えもの。少子化で税収が少なくなることを頭に入れ、お金のかからないまちづくりや環境施策を考えるべき。土日の勉強会など大いにやるべき。市職員もボランティアでやるべき。
3	大野自治会	プロジェクトチームをつくり町全体で具体的取り組みを検討し、実践に移していく。
4	大野新自治会	1. 地域のさまざまな資源を項目別に調査検討し、活用の方向性（例 観光、文化、エコ面）を決め楽しめる、利用できる、参加できる、活動できる等人が集まって来るよう PR し順次拡大していくこと
5	木舟自治会	燃えるゴミ袋、プラ等の袋に名前を書いてもらう。なぜ書くかといいますと、他の人との搬出量が分かる。人間の心情は少しでも人に負けたくないと言う感情がある。いつも多く出す人は他人を見て少しでも出さない様になると思う。心情逆にとるのもいいのではないか。袋に名前を書くということを義務付けたい。

No	団体名	回答
6	荒屋敷自治会	エコの考え方について、市が想像している以上に市民はエコについて考えています。そして一般家庭内でも電気代燃料代等を少しでも節約できないか等、常日頃からエコについて考えており、それが実行されております。そもそもエコをするには、金と暇がいります。高岡市がエコについて更に推進しようとするならば、ほんの少しでも助成金を出された方が、効果があると思いますが、それには財源を作らなければなりません。エコの財源は市民税等で市民に負担頂いて、エコをした方に還元するという方策をとられたらどうかと思います。
7	上向田自治会	駅前の開発の一つとしてエコ旅館を作り、町の目玉とする。ご飯はかまど炊き、風呂は五右衛門風呂、暖かいいなかを作り、マキを炊く。堀りコタツも作る。お客様にはこれらを実際に体験してもらう。宿泊代はその分安く。
8	下向田自治会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 何故、今エコのまちづくりなのか、理由・原因を周知徹底することが基本、学ばなければならない。 ・ 国の施策がよくみえない。昨年9月鳩山首相が1990年比炭酸ガス削減25%達成を2020年に目指すと国際的に発表したが、首相がコロコロ変わり国際的に信頼性が薄い。国の意思が伝わってこない。国のビジョンを出させる。 ・ 長期的には（市場）経済と環境事業が両立する方向へと考え、持続可能なまちづくりをする。 ・ 結果としてどのような成果、効果がでたのか数値化したものを出す事ができればより励みになるものと思われる。
9	土屋自治会	西五位、赤丸、五位山の住民と、福岡町部、大滝、山王が交流をもつ事で福岡町地域全体の活性化が望めると思う。
10	三日市自治会	休耕地を出さない意識作りと組織作り。果樹を（自宅・所有地）植える運動展開。除草剤を極力使用せず、草刈りを行う。山野草を安心して食用にできる環境作り
11	西自治会	ソーラ、風力などの自然エネルギーの利用を進めて、真のエコ地域を目指すべきである。
12	西明寺自治会	福岡町、全地域の活性化について…「旧町部」「平坦地域部」「山間部」に3区分し、検討すべきではないか？それぞれ違う課題があり、各地域の解決すべき課題を、各地域で優先順位を決め、計画的に進める事が、活性化の具体策には必要と思います。旧町部の活性化のみでは、人口減の歯止めにはならず、衰退の道しかないのではないか？
13	川原自治会	交通手段を持たない住民に対する生活支援の強化。 問10(さまざまな地域資源)の中で大半が経費をかける必要がないと思われる。 費用対効果を再検討すべきと思われる。
14	鞍馬寺自治会	地域の資源を活用した市民に「エコポイント」を与え、子供からお年寄りまで、それぞれの体力、労力に応じたエコ活動ができるビジョンを作る必要がある。 エコ活動を実践するのは市民一人ひとりであることを忘れてはならない！
15	花尾自治会	町の中心にエコのモデルになるような施設を造ってはどうか

2 各種団体ヒアリング調査

(1) 調査の概要

持続可能で活力ある「環境共生のまち高岡」の実現を目指すため、市民（福岡町地域）の日常生活において、福岡町地域に立地する各種団体のまちづくり及び環境（エコ）に対する意向等を把握することを目的に、ヒアリング調査を実施した。調査の概要は下記のとおりとなっている。

図表4-18 調査の概要（ヒアリング調査）

区分	摘要
調査対象	平成22年9月末現在、福岡町地域に立地する、下記のまちづくり団体、事業所、農林水産系団体、学校 （福岡くらしっく街道の会、キラッと福岡ネット、福岡地域長寿会、福岡町観光協会、観光ボランティアさくらの会、越中福岡の菅笠製作技術保存会、株式会社ウエルカム福岡、高岡市商工会福岡支所、さくら愛し隊、小矢部川に学ぶ会、地域女性ネット高岡福岡地区婦人会、高岡市食生活改善推進協議会、福岡町地域自治会連合会、株式会社マスオカ、富士コン株式会社、三協化成株式会社、鉄道機器株式会社富山工場、ハリタ金属株式会社、アルピスタピス店、いなば農業協同組合福岡支店、富山県西部森林組合高岡支所、福岡町土地改良区、福岡地区水田営農実践組合、株式会社成田養魚園、高岡市立福岡小学校、高岡市立福岡中学校、富山県立福岡高等学校、ミュゼふくおかカメラ館、福岡リサイクルセンター、国交省福岡防災ステーション）
調査項目	(1) 団体（組織）属性 (2) エコに関する取組（事業活動、社会貢献活動、エコ活動） (3) 福岡町地域の今後のまちづくり (4) その他 ※団体属性により、上記の調査項目は異同あり
調査方法	事務局（高岡市、地方自治研究機構）担当者による訪問聴取調査
実施時期	平成22年8月～10月

(2) ヒアリング調査結果

ア まちづくり団体

福岡町地域自治会連合会
高岡市福岡町
調査担当者 福岡町地域自治会連合会役員
平成 22 年 10 月 6 日、福岡庁舎会議室にて聴取



【略歴等】合併時に旧高岡市・旧福岡町の両自治会の連合会が、新しく高岡市連合会自治会として再編。再編後、福岡町地域では、町内 6 地区（6 旧校下）53 自治会（平成 22 年度）で福岡町地域自治会連合会を構成。

【代表者】山田 儀作（福岡町地域自治会連合会長）

【会 員】加入率は 98%（平成 22 年 8 月末現在 4,036 世帯加入）

【活動理念・目的】一定の地域に住む人たちが、明るく住みよいまちづくりをめざして、地域におけるさまざまな問題を解決するために互いに交流し、知恵を出し合い、力を合わせて共通の生活環境を維持、発展させるとともに、地域でのふれあいの輪を広げ、人々の連帯意識の向上に努めている自主的な任意の団体。

【まちづくり活動の現状】

- 福岡町地域自治会連合会（会長 1 名 副会長 1 名、理事 8 名（平成 22 年 6 月現在））として、6 地区から選出され、役員を構成。
- 主たる活動として、①広報紙などの配布、②環境美化の推進、③地域安全安心活動や防犯活動、④交通安全運動、⑤自主防災組織の活動、⑥社会福祉の推進、⑦レクリエーション活動や各種団体の育成

【エコ活動の現状】

- 単位自治会ごとにごみの分別、資源ごみ回収等を実施。自治会として共同集積所を確保。市のごみ収集日を基本に、地区ごとに合理的・効果的な分別・収集方法を採用（例：資源ごみの常時受け付け、輪番制によるごみ集積当番の配置等）
- 農業地域については、農業関連の事業ごみ（木・草類）が混入しないよう配慮。また、生ごみについては、燃えるごみの相当量を占めることから、今後の減量化が課題
- 街路灯（防犯灯）については、市管理のため、LED等への付け替え転換は、基本的には市の対応に基づく。過去には、ナトリウム灯への転換を要望した実績がある。
- 各地区の自治会集会所施設等については、従来は節電、省エネの観点から、冷蔵庫の温度調整や撤去等を実施。LED等の取り組みについては、ほとんどの自治会ではまだ取り組んでいない。各自自治会が独自に取り組むため、ノウハウ等の共有はない。
- 「農地・水・環境保全向上対策事業」（農地や水、環境の良好な保全とその質の向上を図るため、平成 19 年度開始の農林水産省事業、該事業に対して 10 ㎡当たり 4,400 円補助）を活用した取り組みが増加。（例：江ざらい、農道の花弁植栽、虫観察、ピオトープ等）。地域の独自性ある事業としては、親子菅笠体験や桜の木を植林する活動等あり。

【まちづくり活動・エコ活動に関する課題等】

- 少子高齢化、限界集落の増加等により、地域活動の担い手・後継者等の不足
- 里山保全に向けた資源循環型まちづくり、鳥獣被害の解消等
- 生ごみの処理のしかたについて、再検討の必要性がある
- 旧高岡市と旧福岡町のごみの出し方や制度が異なっていること

【今後の高岡市並びに福岡町地域のまちづくり】

- 現在の流れを無理に崩さないような、長続きのするまちづくり
- 交流活動を通じた世代間のつながりづくり
- リタイヤして戻ってきた団塊の世代の役割

【ヒアリング要旨】 自治会連合会のメンバーに聞く

地域活動について？

地域活動は、長寿会なども含め地域の各種団体が一体となって取り組みを行っています。しかし、少子高齢化の影響から、地域づくりの担い手は60歳以上の高齢の方が中心となっている地区がほとんどです。限界集落に該当する地区が増えており、ここでは地域活動の担い手の減少、地域の行事が簡素化、里山の荒廃などが現実になってきています。



ごみの収集・資源回収について？

ごみの分別や資源回収は、自治会の基本的活動です。単位自治会ごとに共同集積所を管理していますが、地域によって収集方法を工夫している地区もあります。例えば、市の回収とは別に第1日曜りと第3日曜日に資源ごみを回収して市の助成金制度を活用している地域もあります。また、ごみ収集車が来る前の7時から8時の間に持ってきてもらい、地域の方5名程度が当番として分別などのサポートを行っているところもあります。ごみの分別はかなり複雑で、種類によって分別に苦労することが多くあります。ごみカレンダーを活用していますが、旧岡岡市域と福岡町域の分別方法が異なっているため、今後、どのようになるのか気になるところです。



ごみの減量化について？

共同集積場には大量のごみが出されますが、特に大きな課題は、燃えるごみ対策です。水分を含んだ生ごみが多く含まれていたり、農作業で出る草木が混じっていたりなど、燃えるごみが増加する課題があります。乾燥の徹底、堆肥化、事業系と家庭系のごみの区分けなど、減量化の方法を考える必要があると思います。例えば、砺波市では、スイカを出すときは乾かしてから入れているそうです。生ごみの処理をしっかりと行うことにより、ごみの量も減るしコストも減ると考えられます。生ごみについては、コンポスト等を利用するのがよいと思います。最近では、家庭の焼却炉でごみを燃やさなくなりました。昔は大変多かったのですが、ダイオキシン等が発生する危険等に配慮されているのではないのでしょうか。環境意識が高まっていると感じます。



地区の街灯について？

LED等の省エネ型の街灯に付け替えることが望ましいと思いますが、街灯の管理は市が担っているため、その判断や対応によって地域の取り組みも異なってくると思います。自治会から水銀灯をナトリウム灯に付け替えてほしいという要望が出たことがあります。また、不具合があれば交換等の要望を市に出しますが、自治会からLED等の省エネ型のものに切り替えることを独自に行うことはできません。



集会所など管理施設でのエコの取り組みは？

集会所などの施設については、各自治会で省エネ対策を実施しているのが現状です。エアコンの付け替えや冷蔵庫の温度調節や撤去等を行った自治会もあります。こうした取り組みは自治会ごとに行っていますので、連合会として共通の方法などは特にありません。



地域の緑化や環境づくりについて？

農地・農家が多い地区では、「農地・水・環境保全向上対策事業」を活用した取り組みが増えてきています。これは、10アールあたり4,400円が交付されるもので、地域のアイデアを活かしたエコ活動が多数生まれています。例えば、用水路の江ざらい、農道に花の植栽、生き物調査、蛍の生態観察のほか、越中福岡の菅笠製作技術は国の重要無形民俗文化財に指定されていますが、地域の伝統技術を学ぶため、菅を活用した親子菅笠体験なども行われています。

福岡町地域のまちづくりについて？

山間部を中心に限界集落が増えてきていますが、こうした地域は自然と人間社会の境界線が崩れ、熊やイノシシ、鹿などが人里に出現するようになってきました。里山の保全などの取り組みが重要だと思います。そのためには、魅力あるまちづくりを進め、福岡町から転出した人が、もう一度Uターンできるような体制が必要です。

※上記のご発言は、複数の方のご意見を整理集約してとりまとめました。



福岡くらしっく街道の会

高岡市福岡町福岡

調査担当者 石沢 紘一（会長）

平成 22 年 9 月 11 日、高岡市役所 福岡庁舎にて聴取



【略歴等】合併後、旧北陸街道（福岡区域）の拡幅計画（都市計画決定）が変更。現道の優れた景観を保全する観点から、福岡、下巻、福岡新の各一部、約 7.3ha が景観形成重点地区に指定。これに伴い、景観形成市民団体として平成 21 年 5 月設立。

【代表者】石沢 紘一（会長）

【会 員】役員 17 名、うち 5 地区（町内会長）の代表者 5 名が副会長。区域世帯 227 世帯

【活動理念・目的】旧北陸街道沿線の歴史的な趣のある景観に、住民一人ひとりが愛着と親しみと誇りを持ち、町並み景観を保全・誘導していくための活動を行う。

【まちづくり活動の現状】

- 旧北陸街道（福岡区域）が景観形成重点地区に指定されたことを契機に、景観形成市民団体として発足。
- 景観づくりの基本的考え方は「現道を活かし、車と歩行者が共存する。旧北陸街道の歴史的な趣のある町並み景観を守り育てていく」こと。
- 会の活動としては、地域にあった“景観”とは何かを調査・検討中。現在、先進事例調査、県の景観アドバイザーの招聘、有識者（堀繁東京大学教授）を講師とした景観講演会等を実施。

【エコ活動の現状】

- 景観づくりを目的とした花壇、植栽づくり等。
- 有識者（堀繁東大教授）からの助言等によって、地域の魅力やホスピタリティを高めるため、地域の資源である木材を使ったまちづくり等を検討（木デッキを活用した路面づくり等）。
- “エコ”を冠としたまちづくりや事業は実施可能。

【まちづくり活動・エコ活動に関する課題等】

- ハード面とソフト面の両面に配慮したまちづくりのアイデアづくりが必要。会のメンバーだけでのアイデア出しには限界あり。
- 景観形成は手遅れという意見も強い。以前あった銀行は 10 年以上前に取り壊したが、今あれば地域資源となった。
- 古い建物は、維持修繕に大きなコストがかかり、今後も景観形成に貢献している建物の建て替えや更地化が予想される。建物の正面部分だけでも残すための支援制度等が必要でないか。
- 景観づくりを含め地域のビジョンが共有されていない。
- 駅前、中心地区に旅行者等の滞留機能（飲食施設、交流施設等）が不足

【今後の高岡市並びに福岡町地域のまちづくり】

- 旧北陸街道の景観づくりを通じた観光客等へのホスピタリティの向上により、回遊性や滞留性の確保
- カメラ館、雅楽の館に加えて、地区に残されている旧家の活用（庭園化）。
- 旧家が所蔵する家宝や美術品などの展示
- 観光客向けの駐車場の整備（大型バス対応）

【ヒアリング要旨】 石沢会長に聞く

北陸街道については？

福岡町地域のなかで、景観形成重点地区に指定されているのは中心部の旧北陸街道約1300mの周辺地区で、地区一帯が閑静な住宅地を形成しています。明治時代には旧北陸街道沿いに菅笠問屋が約60戸建ち並び、戦後もこうした歴史的な風情が色濃く残されていました。しかし、中心地区の人口減少や少子高齢化などにより、空家・空地の増加が進み、街道は連続性に乏しい町並みになりつつあります。これからの見通しも楽観できる状況にありません。今後、建て替えや更地化を考えている世帯もありますので、今以上に景観が変わってしまう恐れがあると心配しています。



景観形成の取り組みについては？

当時の面影を残す古い建物は維持修繕に大変な手間やお金がかかります。高齢者などは、生活するうえで大変なことも多くあります。また、地区に住んでいない建物のオーナーの方もいて、こうした方々は家の手入れに苦労されています。個人や地区だけで景観を守っていくことには限界があります。このため、まちづくりとしての取り組みがとても重要です。これまでのまちづくりは、道路の整備等が優先され、景観の保全が見落とされてきました。特にこの地区では、県道を拡幅して16m道路にする都市計画が未着工のまま推移したことも景観が変わってしまった大きな原因です。私たちの会は発足したばかりです。まず、地域でどのような景観を保全していくのか、景観のあり方そのものについても勉強中です。

エコのまちづくりについては？

景観づくりのなかでエコの視点も重要だと思います。会の活動でも“エコ”を冠した事業などを行うことが考えられます。東京大学の堀繁先生をお招きして、今後のまちづくりについてお話をうかがっていますが、地元の資源である木材などを活用する取り組み、例えば、木デッキを使用した路面づくりを行うと、観光客の皆さんのホスピタリティを高める効果があるなどのお話をいただきました。こうした地域の自然資源を活用することもエコの取組になると聞いています。具体的にどのような取り組みを行うかは決まっていますが、地域の魅力を高める上で、エコに取り組む方法もあると思います。

今後の福岡町のまちづくりについては？

駅前や中心地区には、過去と比べて魅力が低下しているだけではなく、飲食店や観光施設など、観光客等がゆっくりと時間を過ごしたり、地域の魅力を体感したりなどの滞留機能、交流機能が絶対的に不足していると思います。今後のまちづくりには、こうした課題の解決に向けてハードとソフトの両面から進めていく必要があるのではないのでしょうか。例えば、地区の中には未活用の資源がたくさんあります。素晴らしい建物・庭園を有する個人の邸宅、個人の収集家が所有するクラシックカメラや絵画などのコレクションなど、これらを公開していくことは地域の魅力を高めると思います。このためには、地域のまちづくりの方向や将来ビジョンを定めて、所有者と地域、行政とが活用について話し合いをもつことや信頼関係を構築することが重要です。

キラッと福岡ネット

高岡市福岡町

調査担当者 梁瀬 温子（代表）

平成 22 年 9 月 10 日、梁瀬代表宅にて聴取



【略歴等】女性の地位向上を目指して昭和 55 年に富山県が婦人地域活動推進員を委嘱。旧福岡町の推進員が昭和 57 年に福岡町地域活動推進員連絡会を結成し、昭和 61 年には旧福岡町が婦人地域活動推進員推進委員制度を発足した。合併後、団体として活動を継続していくため、新たに「キラッと福岡ネット」を立ち上げた。

【代表者】梁瀬 温子（代表）

【会員】約 40 名

【活動理念・目的】福岡町の豊かな水と緑を大切に、「子や孫にきれいな環境を残したい」と願い、河川の水質調査、子育て支援、環境学習、女性問題への取り組み、などを通じて、地域交流や社会貢献活動を行う。

【まちづくり活動の現状】

- 男性料理教室
- サロン活動により交流活動
- 子育て支援活動など
- 小矢部川の水生生物による水質調査
- つくりもん体験

【エコ活動の現状】

- 小矢部川の水質調査並びにリサイクルセンター及び焼却場の見学、地域の子どもたちと一緒に生き物調査など

【まちづくり活動・エコ活動に関する課題等】

- 地域活動の分散や重複により、メンバーが減少。活動者を集めるのも難しくなっている。
- エコ活動は難しい。例えば、包装紙やペットボトルなどのリサイクルだけではなく、包装紙やペットボトルを増やさない、使わないことが大事である。大量生産・大量消費の経済活動との連動をどうしていくか。リサイクルできるからといって、いくらでも使っているのか。

【今後の高岡市並びに福岡町地域のまちづくり】

- 自転車道を整備するなど、自転車の市民権を確立して欲しい。
- 福岡地域には、何でもそろっている大きい店が少ない。また、商品の品質、品揃え、価格など、消費者ニーズに対応した店を誘致しないといけない。
- 福岡の自然などきれいな環境を残したまちづくりをすることが重要
- 自転車文化、自然との共生などヨーロッパの取り組みを参考にするのもよい。

【ヒアリング要旨】 梁瀬温子氏に聞く

「キラッと福岡ネット」とは

もともと「福岡町女性ネットワーク」という団体でした。そこに、男女共同参画という考え方が広まり、旧福岡町の男女共同参画を推進する推進員として活動を行って来ました。会員の中に男性もいたことから、「福岡町女性ネットワーク」という名称を「キラッと福岡ネット」に変えたという経緯があります。団体の活動内容は、女性問題から入っていきましましたが、そこからリサイクル・ごみの分別などの環境問題や少子高齢化、その他様々な問題について学習し、さまざまな地域の活動に参加しながら活動の輪を広げています。



エコへの取り組み意識については？

住みやすい現在の福岡を守るために、自然環境への配慮に対する意識が高いのではないのでしょうか。最近では、エコだエコだとよく言われておりますが、エコに取り組む意義は何なのかをよく考える必要があるのではないかと思います。例えば、エコだからリサイクルに取り組まなければいけないと言われてますが、なぜリサイクルに取り組む必要があるのか、リサイクルに取り組むことによってどのような恩恵があるのか、を最初に学ぶ必要があると感じております。間違った認識でエコに取り組んでしまうと、例えば、商品の包装について、リサイクルするから過剰に包装しても大丈夫なのではないかという考え方が出てくる可能性があるのではないのでしょうか。また、福岡町地域の方は、ごみの分別に対する意識はとても高いのではないかと思います。この背景には、みんなで呼びかけ、力を合わせることによって、実現したのではないかと思います。

エコ活動の状況について

「小矢部川に学ぶ会」などの団体や、小学校の先生や生徒と一緒に、継続して一年に一回、7月の最終土曜日に、水質調査と生物の観察を行っております。最近では、水生生物の生息状況からみて、水がきれいになっていると感じています。この活動を通して、子どもたちも大人も、環境を守ることの大切さを学んでほしいと思います。今年は、国土交通省の化学水質調査員とも連携して活動を行いました。

また、福岡リサイクルセンターの見学や、富山市のクリーンセンター等の施設見学などを行っております。

福岡町地域のまちづくりについて

自転車で買い物にいけるような、自転車の市民権を確立してほしいと考えております。

ドイツに行った際に、歩道と自転車道を色分けする等して、しっかりと分けているのを見てきました。福岡のまちづくりにもそのような取り組みをしては、どうでしょうか。そうすることによって、自転車に乗る人が増え、意識が変わるのではないかと考えます。これからの高齢化社会では、高齢者の足の確保が課題でもあります。

水田をいかに守るのが大事だと考えます。水田は治水機能を持っています。昔よりも水田が少なくなった所は洪水が起こりやすくなったという現実があります。福岡町地域の自然などきれいな環境を残したまちづくりをすることが重要なのではないのでしょうか。

商店が街なかで発展するのは難しいと思います。車社会にあって消費者は利便性を優先し、地元の店を優先するわけではありません。この福岡町地域には、何でもそろうような大きなショッピングセンターがありません。消費者は、車で自分の好きな店に行ってしまう現状があります。車ですぐに移動できるということも要因なのではないのでしょうか。

多くの人にもっと地元の良いところに気付いてほしいと思います。福岡には良いところがたくさんあり、より多くの人がそれを知ることで、もっとふるさと福岡が好きになるのではないのでしょうか。ここにお嫁に来た頃は、きれいな清水の川があり、蛍がたくさん飛び交っていました。それを見たときのあの感動は今も忘れられません。暗渠化などで蛍はいなくなりましたが、最近また環境の見直しがされつつあり、少しですが、昔いたハグロトンボが飛んでいるのを見かけるようになりました。福岡の素晴らしい自然や環境を孫や未来の子どもたちに残していきたいと思います。子どもたちと学びながら環境を守り伝えていくことが私たちのつとめだと考えています。

福岡地域長寿会

高岡市福岡町

調査担当者 堀澤 幸夫（福岡地域長寿会長）

平成 22 年 9 月 10 日、堀澤会長宅にて聴取



【略歴等】平成元年設立

【代表者】堀澤 幸夫（福岡地域長寿会長）

【会 員】3,000 人（高岡市老連に届けた会員数、高岡市へ未届けの会員を含む場合 4,600 人）

【活動理念・目的】健康、友愛、奉仕を目的に、地域交流、貢献活動を行う。

【まちづくり活動の現状】

- 健康教室
- 体育大会
- 一人暮らし高齢者への家庭訪問と引きこもり解消、子ども見守り
- 地藏祭り
- 親睦会活動
- 料理教室
- 展示会（地藏祭りの紙細工による花の作成）

【エコ活動の現状】

- 除草活動
- 花の植樹活動
- 山百合の観察
- 山でのごみのポイ捨て防止運動

【まちづくり活動・エコ活動に関する課題等】

- 資金面が難しい。会費のほかに、イベントごとに負担金を徴収することがある。
- 各地域の老人クラブごとに、地域活動に向けた活動スタンスや意識が、異なり統一性がない。

【今後の高岡市並びに福岡町地域のまちづくり】

- まちの特産物の資源開発や活用
- 福岡らしい駅前開発
- 球技ができるような場所が欲しい。（その代わりに、その場所の草むしりなどの取組みを長寿会の活動として行う。）

【ヒアリング要旨】 堀澤会長に聞く

「長寿会」について

26の単位老人クラブをもとに構成されております。各単位クラブの中に3から4の小さな老人クラブがあります。活動内容としましては、①健康、②友愛、③奉仕という活動の柱が3本ございます。どこの老人クラブもこの3本柱をもとに活動しております。

3本柱の具体的な内容としては、①健康では、健康教室や体育大会などの健康に関する活動を行っております。②友愛では、一人暮らしの高齢者の家庭訪問や、閉じこもり老人を活動へ参加させる活動を行っております。家庭訪問では、毎年訪問する方を10名程度決めて訪問しております。③奉仕では、グラウンドの草むしりや公民館等の除草、花壇に花を植えたり、社会福祉協議会と連携したりした活動を行っております。

勤めに出ている若い世代はこの活動には参加することができないため、ほとんど高齢者が中心の活動となっております。

長寿会に加入するための要件としては、60歳になると加入することができます。加入については、任意となっておりますが、福岡町地域は田舎ということもあり、加入率は70～80パーセントととても高い数値となっております。そのため、加入を促すような活動の必要性はありません。地域によっては異なりますが会費は年間平均1,000円でございます。



エコ活動等の取り組みについて

エコ活動といいますと、3本柱の③奉仕活動に、草むしりがあります。草むしりをやるという連絡をしますと、大体3分の1の方が参加していただけるため、参加率はとても高いのではないかと思います。この活動は、年に何回も行いますので、草むしりというエコ活動というだけでなく、健康、情報交換、親睦、家庭に閉じこもって出てこない高齢者を参加させるということにもつながります。

また、昔からある山道の山百合を絶やさないために、ずっと育てていく活動を行っており、次世代に自然や環境を残していくという意識で活動しております。山でのごみのポイ捨てを防ぐ取り組みや、山にさつまいも等を植える活動も行っております。

エコへの取り組み意識については？

今までは、ごみのポイ捨て防止などの活動をしてきましたが、エコを主要目的とした活動ではなかったかもしれません。来年度からは、環境保全などのエコ意識を周知していきたいと考えております。

エコのまちづくりに対する社会的取り組みについては？

これからは、①郷土を守る、②環境を保全する、③伝統を守る、ということの大切さを次世代に伝え、つないでいくことが大切であると思います。長寿会としては、このような意識をもって様々な活動に取り組んでいきたいと考えております。

まちづくりやエコ活動に対する課題について

課題という、やはり、予算の問題があります。例えば、地藏まつりをする場合に、一人5,000円程度かかります。会費は1,000円ですが、実際にはそれ以上かかっております。

老人クラブごとに、集まりが悪いという問題があります。各老人クラブのリーダーのリーダーシップによって会員の意識の違いが出てくるのではないかと思います。統一性がないのが悩みの種です。

福岡町地域の今後のまちづくりについて

福岡町地域の菅笠だったり、山沿いの米等はとてもおいしいので、まちの特産物を用いた取り組みをするのもよいのではないかと思います。また、福岡町地域にあった駅前開発をする必要があるのではないのでしょうか。

福岡町観光協会

〒939-0016 高岡市福岡町下蓑 255-1 電話番号 0766-64-0009

調査担当者 山崎 博（事務局長）

平成 22 年 9 月 10 日、福岡観光物産館にて聴取



【略歴等】

【代表者】

【会 員】

【活動理念・目的】 観光行政に携わることによる福岡地域の地域振興。

【まちづくり活動の現状】

- 岸渡川の桜の維持・管理
- 桜まつり、竹の子まつり、リバーサイドフェスタ、つくりもんまつり、収穫祭、産業フェスティバルなど、イベント・祭りの宣伝や運営
- 観光案内や観光ボランティア育成と活動支援
- 観光施設や文化財の美化・保護に関する活動

【エコ活動の現状】

- リバーサイドフェスタの開催に伴う清掃活動、小矢部川河川敷の除草活動

【まちづくり活動・エコ活動に関する課題等】

- 観光予算の減少のため、資金面が難しい。

【今後の高岡市並びに福岡町地域のまちづくり】

- 西山丘陵など、地域の人が福岡町の自然を観光資源として活用し、おもてなしをしていくことが重要。
- 駐車場などを整備して中心市街地を歩いて楽しんでもらう
- 鯉、きれいな水、米、竹林、竹のチップなども地域づくりをする上で、もっと活用できるのではないか。
- 地域イベントなどに民間事業者も参入させ、地域の商売を盛り上げるのも一つの手かもしれない。

観光ボランティアさくらの会
〒939-0016 高岡市福岡町下蓑 255-1 電話番号 0766-64-0009
調査担当者 山崎 博（会長）
平成22年9月10日、福岡観光物産館にて聴取

【略歴等】 平成20年2月21日設立
【代表者】 山崎 博（会長）
【会員】 約20名
【活動理念・目的】 福岡町地域の歴史や文化を学び、地域の魅力を再発見し、交流の輪を広げていく

【まちづくり活動の現状】
<ul style="list-style-type: none"> ○ ボランティアによる観光案内 ○ 研修会 ○ 他の観光ボランティアグループとの意見交換 ○ 他の観光地の視察・見学など

【エコ活動の現状】
<ul style="list-style-type: none"> ○ 岸渡川の桜の保存による環境保全

【まちづくり活動・エコ活動に関する課題等】
<ul style="list-style-type: none"> ○ 一部、桜が老朽化しているものがある。

【今後の高岡市並びに福岡町地域のまちづくり】
<ul style="list-style-type: none"> ○ 桜などの景観を守り、環境に配慮したまちづくり ○ 岸渡川の川舟の取り組みや、ビュースポットなどを探し、その場所を楽しんでもらうまちづくり

株式会社ウエルカム福岡（まちづくり会社・TMO）
〒939-0016 高岡市福岡町下蓑 255-1 電話番号 0766-64-0009
調査担当者 山崎 博
平成 22 年 9 月 10 日、福岡観光物産館にて聴取

【略歴等】 平成 12 年 6 月に TMO 構想の認定を受け、旧福岡町・旧福岡町商工会・地元商業者・地元金融機関等が出資し、資本金 1,000 万円で設立
【代表者】 山崎 博（代表取締役）
【職 員】
【活動理念・目的】 福岡町中心市街地の活性化

【まちづくり活動の現状】
<input type="radio"/> 福岡観光物産館・まちづくり福岡工房・雅楽の館の維持管理（指定管理者） <input type="radio"/> 館内での物産品の販売、空き店舗対策 <input type="radio"/> ふるさと雇用創出事業等による賑わいづくり

【エコ活動の現状】
<input type="radio"/> 福岡観光物産館の天窓を開放することにより、風通しをよくしている。

【まちづくり活動・エコ活動に関する課題等】
<input type="radio"/> 人手が足りない。

【今後の高岡市並びに福岡町地域のまちづくり】
<input type="radio"/> 様々な福岡地域の特産品を活用したまちづくり

【ヒアリング要旨】 山崎さんに聞く

山崎博氏は、福岡町観光協会、観光ボランティアさくらの会、㈱ウエルカム福岡の役員を兼務しているため、3つの取組みについてまとめて伺った。

福岡町観光協会の取組みは？

行政・地域の自治体が主体となり、地域の民間企業や個人が参加し、一体となって、観光行政に取り組んできました。主な活動としましては、旧来から行われてきたイベントをずっと守っていくという活動がメインです。また、町内外から来られた方に対する観光案内や観光施設・文化施設の活用にも取り組んできました。

福岡町地域には、「さくらまつり」、「リバーサイドフェスタ」、「つくりもんまつり」、「産業フェスティバル」の4大イベント・祭りがあり、このイベントを地域住民と関係団体、行政が一体となって取り組んでおります。そのほかにも地域には、古くから伝わる「獅子舞い」や「地藏まつり」など伝統ある行事や祭事があり、観光協会が協力しております。観光地の案内板の整備等にも取り組んでおります。

「つくりもんまつり」については、経費もかなりかかるため、この地域に関係のある企業や、行政にも協力をお願いしております。毎年無理をさせていただきまして、一定額を保っている状態でございます。個人商店の方にも寄付をお願いしております。



福岡町観光協会のエコの取組みについて

福岡町観光協会としては、エコの取組みを主目的とした意識で活動は行っていないと思いますが、「リバーサイドフェスタ」の開催に伴う清掃活動は行っております。地域の資源を観光資源として活用することが、重要であり、そのためには、地域資源を活かす人材の確保も必要となると思います。

観光ボランティアさくらの会の取組みは？

設立してから3年がたちます。旧高岡市と旧福岡町の合併に伴い、福岡町外から訪れる方が増えたため、案内ができる人材を育成するため、有志が集まり、観光ボランティア「さくらの会」ができました。岸渡川にはさくらの木が3,000本あり、福岡町を代表する花で観光の名所になっていることから名前をつけました。具体的な取組みとしては、観光案内がメインですが、月一回は会合をひらいて福岡町の観光地や歴史を学んだり、他の観光施設の見学や意見交換をしたりなどの活動をしています。

観光ボランティアさくらの会のエコの取組みについて

岸渡川の桜は、50年以上経っているため、一部、老朽化しているものがあります。その中でも、完全に枯れてしまったものは、新しい桜を植え代えています。桜や緑などを守ることによって、自然環境の配慮しており、子どもたちにもエコ活動をさせて意識を芽生えさせる必要があります。

また、市内外の観光ボランティアや来訪者にも桜の維持・管理に伴う活動に参加してもらい、岸渡川や桜を生かしたまちづくりを広げていきます。

㈱ウエルカム福岡の取組みは？

福岡観光物産館やミュージックおかカメラ館など点在する観光施設を回遊しても休憩する場所がないため、まちづくり会社「ウエルカム福岡」が設立されました。休憩所の運営や物産品を販売などを行う中心市街化活性化のための会社です。まちづくりの情報発信や、物産品のPRだけではなくエコ活動についても情報発信をしていきたいと思っています。

高岡市商工会 福岡支所
〒939-0117 高岡市福岡町福岡新 579 番地 1 電話番号 0766-64-3088
調査担当者 坂本 重夫（福岡支所長）
平成 22 年 9 月 10 日、高岡市商工会福岡支所（さくら会館 1 階）にて聴取

【略歴等】 平成 21 年、高岡市内の戸出、福岡、中田の 3 商工会が合併し高岡市商工会が誕生
【代表者】 高岡市商工会会長 石澤義文
【会 員】 会員約 1,100、うち福岡支所約 500
【活動理念・目的】 経営問題の解決、事業資金の融資斡旋、コンピュータによる記帳代行、経営に関する研修・講習会の開催、調査・意見活動、まちづくりの推進、店舗診断、企業診断の斡旋、後継者の育成、共済制度等、地域の総合経済団体として会員事業所等をサポート

【まちづくり活動の現状】
○ 商工関係者の経営コンサルタント
○ 必要に応じた研修会の開催

【エコ活動の現状】
○ エコポイントの活用による福岡町共通商品券の利用。

【まちづくり活動・エコ活動に関する課題等】
○ 後継者問題や、地域活動の温度差がある。
○ 商売を第一義的としているため、エコに対する意識が薄い。

【今後の高岡市並びに福岡町地域のまちづくり】
○ 福岡の川、水（自噴）などの自然環境を活用したまちづくり
○ 矢部の鯉を活用したまちづくり
○ 官民一体としてまちづくりを行うことが重要

【ヒアリング要旨】 坂本支所長に聞く

高岡市商工会福岡支所の取り組みは？

主な取り組みとしては、零細企業、中小企業、大企業の全てをひっくるめて、支援団体として経営革新事業や活性化事業、経営上の問題点について相談を受ける団体です。会費は、今年度の実績ですが、3,000円～30,000円となっており、個々の企業との対応が基本で、必要に応じて講演会・研修会等の活動でまちの活性化の一助になればと思います。

エコに関する取り組みについて

エコポイントに関する取り組みでは、エコ家電・エコ住宅などを購入された方が獲得したエコポイントを「福岡町共通商品券」に交換できます。この商品券は、福岡町地域の独自の取り組みとして申請して認可されています。現在取り扱うエコポイントは、住宅と家電の二種類で、この商品券は、福岡町地域のみで使用でき、他の地域では使用することができません。

エコ活動等に関する課題について

後継者問題や地域間での温度差が大きいことがあり、具体的にいうと、地域柄だとは思いますが、やる気が全く違います。商売にを第一に考えているということもあり、エコに対する意識が薄いと感じております。地域経済の問題から、エコに対してお金をまわす余裕がないことも考えられます。後継者がいないため、借金をしてまで設備投資をすることがいいのかどうか二の足を踏んでおられるようです。

また、個人でソーラーシステムを導入するなどされている方は、私の知っている限りでは、数人いらっしゃるのではないのでしょうか。その方についても、お客さんにPRするために、導入されているのが現状です。

エコまちづくりに商工関係者を参加させるには？

経済効果を優先する商工関係者を取り込むには、まず、どれだけ電気代が安くなるのかなど、エコの効果を目に見えるものとするのが大事だと考えます。そもそも、各個人のエコに対する意識の底上げを行うことが必要だと思います。

福岡町地域のまちづくりについて

福岡町地域は、とてもいいところだという人が多いです。その理由は、自然がとても多いことがあげられ、このような市街地と自然が程よく混在している町は、あまりないと思います。福岡町地域の特徴は、水がとてもきれいなところもあります。このような自然環境を活用したまちづくりや、町特産の鯉を活用したまちづくりはどうか。



福岡町共通商品券

さくら愛し隊
高岡市福岡町
調査担当者 中山 欣一
平成 22 年 9 月 11 日、中山さん自宅にて聴取



【略歴等】3年ほど前から、商工会福岡支部の青年部が主体となって桜を愛する人が集まり結成
【代表者】中山 欣一
【会 員】20～30名
【活動理念・目的】岸度川のさくらを後世に残すこと

<p>【まちづくり活動の現状】</p> <p>○ 岸度川の桜に肥料を与えたり、枯れ枝の整備を行う。</p>

<p>【エコ活動の現状】</p> <p>○ 岸渡川の桜の活かしたエコ啓発活動等</p>

<p>【まちづくり活動・エコ活動に関する課題等】</p> <p>○ 現在は、福岡町の商工会青年部が行っているが、ゆくゆくは、町全体の取り組みにしたい。</p>

<p>【今後の高岡市並びに福岡町地域のまちづくり】</p> <p>○ 岸度川周辺のさくら並木を見るために、高岡市全体から人が来たいと思うような取り組みや環境の整備が必要。</p>

【ヒアリング要旨】 中山さんに聞く

「さくら愛し隊」とは？

福岡町の商工会青年部が主体となって、岸度川の桜を後世に残したいという思いから、活動をはじめました。小さい頃から見ている桜が、大人になって、まじまじと桜を見たときに寿命がきていることを感じました。なんとか桜を残していきたいと考えようになりました。実際に活動を行っているのは10名程度です。活動を初めてから、3年程度経過いたしました。肥料を与えたり、枯れ枝を切るなどの活動をしています。

岸渡川のさくらの状態は？

岸渡川の桜は、戦後、植樹されましたが、現在は、大分老朽化してきています。以前は若く樹勢のあった桜が、現在は花の色も白く、枝ぶりも枯れ枝が目立つようになりました。岸渡川に植樹された桜はソメイヨシノですが、樹齢60年を超えると樹勢が弱ってくるのが指摘されています。ちょうど現在その60年を迎えようとしています。桜の本数は、今は、約1,000本ですが、昔は、3,000本の苗を植えていたそうです。桜は枯れやすいため、年々、岸渡川の桜は、本数が減ってきています。

今後の目標は？

この福岡町地域が大好きなため、商工会青年部の活動でとどまることなく、ゆくゆくは地域全体での取り組みになっていくことが目標です。商工会の青年部は40歳で定年ですが、30代の方が沢山おり、子どもづれで家族での参加に発展していけばよいと思います。子どもたちが桜に触れる経験は、自然に対する関心を高めることにもつながると思います。福岡町地域の豊かな自然で育った子どもたちは、大人になってもまた戻ってこようと思うようになるのではないのでしょうか。

今後の福岡町のまちづくりは？

桜を主体とした、周遊コースをつくり、看板を立て、福岡町地域の歴史や昔の風景と一緒に掲載すれば、他の地域から来た人たちも、楽しむことができるのではないかと思います。段差をなくして、誰もが歩きやすい道路を整備することで、お年寄りから、子どもまで自然や歴史に触れ合いながら、散歩を楽しむことができるのではないのでしょうか。その中で、自然に対する意識も高まると考えられます。また、養川については、子どもたちが遊べる親水空間をつくり、桜と水の自然に触れ合う空間を造るのもいいかもしれません。さくら愛し隊としての要望として、高岡市全体から人が来てくれるような、来たいと思うような環境の整備をお願いしたいと思います。



小矢部川に学ぶ会
高岡市福岡町
調査担当者 吉田 孝（代表）
平成 22 年 9 月 11 日、吉田代表自宅にて聴取



【略歴等】 平成 14 年設立
【代表者】 吉田 孝（代表）
【会 員】 13 名
【活動理念・目的】 河川環境の調査、環境学習の推進

<p>【まちづくり活動の現状】</p> <p>○ 観察する活動を通して、小矢部川を子どもたちの自然への興味・関心を高める。</p>

<p>【エコ活動の現状】</p> <p>○ 年間 5 回の自然観察活動を行っている。</p>

<p>【まちづくり活動・エコ活動に関する課題等】</p> <p>○ 何年間も参加する子どもがいる反面、続けて参加する子どもたちが少ない。</p>

<p>【今後の高岡市並びに福岡町地域のまちづくり】</p>

【ヒアリング要旨】 吉田会長に聞く

「小矢部川に学ぶ会」の活動については？

この会は、防災センター竣工を機に、防災センターを拠点として子どもたちが小矢部川の自然について学習を進めることを目的に設立しました。

会員は、福岡町に関係のある人たち 13 名で、小・中・高校の教員や富山県認定のナチュラリスト（自然解説員）、バードマスター（野鳥観察指導員）などを含め自然に関心を持っている人たちが構成しています。

主な活動の一つとして、小・中学生を対象にテーマを変えながら年間 5 回の自然観察会を行っています。5 回参加した子どもには、本会が「水辺のジュニアナチュラリスト」として認定をしています。その中には、富山県の認定する「ジュニアナチュラリスト」になっている子どもたちもいます。毎年 6 月初旬、世界環境デーにあわせて全国一斉水質調査が行われていますが、本会も「水辺のジュニアナチュラリスト」に呼びかけて小矢部川 8 箇所で COD（化学的酸素要求量）のパックテストを実施しています。

また、堤防や河川敷の動植物について調べた結果を、防災センターの展示室に展示しています。



活動から見てくる課題については？

「水辺のジュニアナチュラリスト」は、①学習する②体験する③協力するという 3 つのねらいを持っています。学習や体験活動で続けて参加する子どもたちが少ないのは、学習を積み上げるという面では課題の一つです。また、親水公園の清掃活動に協力してくれる子が少ないのも残念です。子どもたちが土曜、日曜でもいろいろな活動で忙しかったり、川は危険だという大人の心配などが原因と思われる。防災のための川の改修などで、子どもたちの遊べる場所が無くなったことも原因の一つかと思えます。子どもたちがもっと水辺の自然に親しみ、遊べる機会と場所があればよいと思います。

福岡町地域のまちづくりについては？

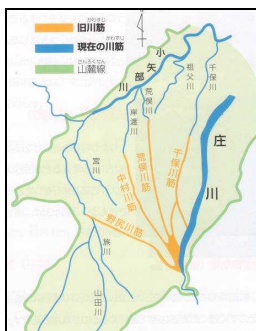
福岡小学校の総合的な学習の時間で、4 年生が「小矢部川の自然」について学習を行っています。現地学習で、私の出番があるときは、最初に小矢部川で見られる動植物や川の歴史などをスライドで紹介する機会をとってもらいます。特に絶滅危惧種に指定されている魚や植物について、中には福岡にしか見られないものもありますので、子どもたちに知らせておきたいと思っています。

地域の施設との連携という面から、入館者数を増やすために写真愛好家の作品をどんどんカメラ館への意見も聞きますが、カメラ館は全国的に珍しい博物館として年間の運営構想を持っていますので、主催する応募展への出品や撮影教室の成果発表などのつながりは持つことができると思いますが、その他の作品展示については U ホールの活用がよいのではないかと思います。

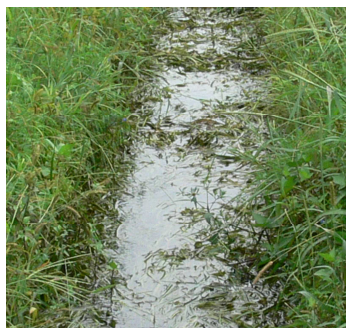
また、JR 駅前の公園構想については、まだ具体的な案は持っていません。

今後の目標については？

本会の活動を通して、「自然が大好きな子どもたち」が大勢増えて欲しいと思っています。それがエコ活動を推進・実践する力にもなるかと思っています。そのためには、マンネリ化しかけている活動内容に工夫を加えることや、構成メンバーの若返りも必要かと思っています。



福岡町地域の川筋



生物にとってすみやすい川



サイカチの花



メダカ